

多良間村へき地教員宿舎新築工事 設 計 図

令 和 6 年 度
多良間村教育委員会

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺・
A-01	図 面 目 録	——	A-25	展開図 (3) 2F 脱衣室・浴室	1 : 60
A-02	特記仕様書 (1)	——	A-26	金属製建具表・KEYPLAN	1 : 100
A-03	特記仕様書 (2)	——	A-27	木製建具表・KEYPLAN	1 : 100
A-04	特記仕様書 (3)	1 : 200	A-28	1階天井伏図	1 : 100
A-05	特記仕様書 (4)	1 : 100 1 : 200	A-29	2階天井伏図	1 : 100
A-06	案内図・配置図	——	A-30	雑詳細図 (1)	1 : 20 1 : 30 1 : 10
A-07	求積図	1 : 100	A-31	雑詳細図 (2)	1 : 20 1 : 30 1 : 10
A-08	内外部仕上げ表	1 : 100	A-32	外構詳細図	1 : 20 1 : 30
A-09	1階平面図	1 : 100			
A-10	2階平面図	1 : 100			
A-11	R階平面図	1 : 100			
A-12	立面図	1 : 50	S-01	構造設計標準仕様	——
A-13	基本断面図	1 : 50	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	——
A-14	1階平面詳細図	1 : 50	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	——
A-15	2階平面詳細図	1 : 50	S-04	柱状図・基礎伏図・基礎詳細図	1 : 50 1 : 100
A-16	断面詳細図 (1)	1 : 40	S-05	1階 梁伏図(見下図)	1 : 50 1 : 100
A-17	断面詳細図 (2)	1 : 30	S-06	2階 梁伏図(見上図)	1 : 50 1 : 100
A-18	階段詳細図	1 : 60	S-07	R階 梁伏図(見上図)	1 : 50 1 : 100
A-19	矩計図	1 : 60	S-08	軸組図 (1)	1 : 100
A-20	展開図 (1) 1F 寝室・洗面室	1 : 60	S-09	軸組図 (2)	1 : 100
A-21	展開図 (2) 1F LDK・玄関・便所	1 : 60	S-10	軸組図 (3)	1 : 100
A-22	展開図 (3) 1F 脱衣室・浴室	1 : 60			
A-23	展開図 (1) 2F 寝室・洗面室	1 : 60			
A-24	展開図 (2) 2F LDK・玄関・便所	1 : 60			

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423 番地	図面名称	図面目録
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=N
適 用		図面番号	A - 01
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	パセオ建築設計室	
	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
	登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
	所 在 地	うるま市字喜屋武311-4	

建築工事特記仕様書「建築工事編」沖縄県土木建築部

令和5年7月改定版

1 工事概要

(1) 工事名：多良間村へき地教員宿舍新築工事

(2) 工事場所：多良間村字仲筋 423番地（地域地区等 都市計画区域外・用途地域指定無し）

(3) 敷地面積：350.98 ㎡

(4) 工事種目：新築工事

ア 建築物

建築物の名称	多良間村へき地教員宿舍		
主要用途	共同住宅		
構造及び階数	RC造2層建		
工事種別	新築工事		
建築面積	127.76㎡	㎡	㎡
延べ面積	227.35㎡	㎡	㎡
イ 工作物及び立木			
工作物等の名称			
数量			

2 本工事の設計時期

本工事の設計書は、令和 6年5月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 建築工事仕様

(1) 標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」[令和4年版](以下「標準仕様書」という。)による。

(2) 特記仕様

ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。

「・」に○印がつかない場合は「※」のついたものを適用する。

「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。

ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。

4 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力

ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。

エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策

受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に關する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。

ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。

ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に關する協議を行うこと。

(3) ワンダーレスポンスの実施

ア この工事はワンダーレスポンス実施対象工事である。

「ワンダーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまで「回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合は及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。

エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

(4) 工事監理業務への協力等

ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。

章

項目

特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等

・ 建築工事監理指針(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

・ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

・ 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

・ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和4年版)(一社)公共建築協会

・ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)

・ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部

・ 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に關する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部

・ 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部

登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。

② 工事実績情報の登録(1.1.4)

③ 工事の一時中止に關する事項(1.1.9)

工事の一時中止に係る計画の作成

(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に關する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。

なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に關すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に關すること及び工事現場の維持・管理に關する基本的事項を明らかにする。

(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

4 工事の余裕期間

・ 余裕期間を設定する工事 【 方式】

【以下から選択:発注者指定方式/任意着手方式/フレックス方式】

(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。

なお、余裕期間の設定にかける積算上の割増は考慮しない。

(2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。

このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式ー1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。

(3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。

5 概成工期(1.2.1)

図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。

⑥ 品質計画等(1.2.2)

建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。

(1) 風速:V0= 46m/s (平12建告第1454号第2)

(2) 地表面粗度区分:Ⅱ(8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.14.5)(23.5.4)

⑦ 施工図等(1.2.3)

(1) 施工図等の著作権に關する当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。

(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。

⑧ 工事の記録(1.2.4)

沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。

⑨ 電気保安技術者(1.3.3)

電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。

⑩ 施工条件(1.3.5)

施工順序等の制約 ・無し

・有り【・現場説明書による・図示・】

工事車両の駐車場所：・図示・現場説明書による・資材、機材置場：・図示・現場説明書による・建設発生の土の仮置場：・図示・現場説明書による・その他の施工条件：・図示・現場説明書による・

⑪ 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.10)

12 交通安全管理(1.3.8)

⑬ 発生材の処理等(1.3.11)

(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に關する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。

(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5〜260kW)

ア バックホウ

イ 車輪式トラクタショベル

ウ ブルドーザ

エ 発動発電機

オ 空気圧縮機

カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)

キ ローラ類

ク ホイールクレーン

国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号)

(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

	発生材の種類
発生者に引き渡すもの	
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	
現場において再利用を図るもの	セメント、コンクリート塊、鉄、アルミ屑

(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場へ搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。

(3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(GOBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。

また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(GOBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。

(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。

(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件の合う中から運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。

(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について

ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

「適正に処理」とするとは、「廃棄物処理及び清掃に關する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPIに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。

なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。

イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。

ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年度
工事場所	多良間村字仲筋 432番地	図面名称	建築工事特記仕様書(その1)
発注機関	多良間村教育委員会	縮 尺	A1=NO SCALE A3=NO SCALE
摘 要		図面番号	A - 02
検 印	管理建築士	設 計	名 称バセオ建築設計室
	設 計	製 図	
			設計登録番号 バセオ建築設計室 第139-2803号
			所 在 地うるま市字喜屋武311-4 2F

①
一般
共通
事項
へ
続
き
▼

14
主任技術者・監
理技術者

(1) 工事請負代金額が4,000万円以上(建築一式工事の場合8,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。

ア 現場施工に着手するまでの期間
【現場施工に着手する日が確定している場合】
請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。
【現場施工に着手する日が確定していない場合】
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。

イ 検査終了後の期間
工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について
ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。

イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。

15
主任技術者等
の資格

(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。

- ・ 1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの
- ・ 1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの

ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3ヵ月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。

ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。

(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。

16
監理技術者の
業務(特例監理
技術者の配置)

※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。

- ・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認めない。

17
工事の保険等

(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。
①火災保険 ②建設工事保険 ③相保保険 ④請負業者賠償責任保険

(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。

(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。
ア 樹金収納書を契約後原則一ヶ月以内(電子申請方式による場合にあっては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。

イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。

ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。

エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。

18
ゆいぐる材につ
いて

(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいぐる材に限り、原則「ゆいぐる材」とする。それ以外を原材料とするゆいぐる材は率先して使用することとする。ただし、ゆいぐる材がない離島等での工事の場合は、ゆいぐる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいぐる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいぐる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいぐる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。

(2) ゆいぐる材の品質管理
ア ゆいぐる材の品質管理にあたっては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいぐる材品質管理要領」に基づいて行うこと。

イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいぐる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいぐる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。

ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。

エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。

19
技能士(1.5.2)

20
化学物質の濃
度測定(1.5.9)

21
完成時の提出
図書
(1.7.1)(1.7.2)
(1.7.3)

22
設計図CAD
データの貸与

23
情報共有システ
ム

24
墜落制止用器
具

25
「労務費見積り
尊重宣言」促進
モデル工事

26
建設キャリア
アップシステム
(CGUS)活用につ
いて

適用工事種別

技能検定作業

鉄筋工事、コンクリート工事

鉄筋施工(鉄筋組立作業)、型枠施工、コンクリート圧送施工

鉄骨工事、防水工事

とび、シーリング防水

屋根及びい工事、左官工事

建築板金(内外装板金施工)、左官

建具工事

建具制作、サッシ施工、ガラス施工

塗装工事

建築塗装、金属塗装

(1) 測定時期、測定対象室及び測定箇所数

測定対象室

測定箇所数

測定時期

備考

1階・2階居室

4検体

(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

※完成図 ※保全に関する資料

(1) 本工事は完成時の提出図書は、「営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領(案)」による。

(2) 完成図は、(表1.7.1)に次表を含むものとする。

種類

記入内容

詳細図

監督員との協議による。

(3) 本工事は電子納品対象工事とする。
電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等(以下、「要領」)に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。
なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督員と協議するものとする。

(4) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっている(一財)沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納品確認登録証」の発行を受けること。
業務成果品(工事完成図書)は、電子媒体(CD-R等)で(正)1部提出すること。
「要領」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定すること。
なお、「紙」による提出物は、監督員と協議の上決定すること。

(5) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。
ア ゆいぐる材利用状況報告書
イ ゆいぐる材出荷量証明書

(6) 建築物等の利用に関する説明書について
・「建築物等の利用に関する説明書」を作成する。作成の手引き(国土交通省ホームページに掲載)を参考にして、記載事項は監督員との協議により決定する。

(7) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。
なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。

本工事は発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用してはならない。

(1) 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等に より当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。
【インターネット環境】 :ブロードバンド回線
【パソコンOS】 :Microsoft Windows 8.1/10
【推奨ブラウザ】 :Microsoft Edge
情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。

(2) 受注者は、沖縄県GALSシステムの利用にあつては、沖縄県とGALS運営会社で定めた使用承諾料を沖縄県GALSシステムを運営している者に支払うこと。

(3) 沖縄県GALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること。(支払いの事実を証明する書類(銀行振込みの写し等)を提出)
・ 墜落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、墜落時に着用者が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の使用を認めるものとする。また、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)を遵守すること。

・ 本工事は、「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事の対象工事である。
実施については、「沖縄県「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事試行要領」及び「「労務費見積り尊重宣言」実施要領」(2018.12.21 日本建設業連合会)等を参照し実施するものとする。

・ 本工事は、建設キャリアアップシステム(以下「CGUS」という。)活用工事の試行対象であり、実施については、受注者における希望型とする。
受注者は、工事着手前までにCGUS活用について、実施の有無を工事打合簿にて発注者へ報告するものとする。
実施については、「沖縄県 建設キャリアアップシステム(CGUS)活用工事試行要領」及び「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」(一般財団法人建設業振興基金)等を参照し実施するものとする。

②
仮設
工事

① 工事用水

② 工事用電力

3 環境対策について

④ 足場その他
(2.2.4)

⑤ 監督員事務所
(2.3.1)

③ 土工
工事

① 埋戻し及び盛土
(3.2.3)(表3.2.1)

② 建設発生土の
処理
(3.2.5)

④ 地業
工事

1 載荷試験
(4.2.3)(4.2.4)

2 杭地業

構内既存の施設①・利用不可 ・利用できる(・有償 ・無償)】

構内既存の施設①・利用不可 ・利用できる(・有償 ・無償)】

(1) 受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調査、検討を十分に行い、監督員の確認を得た上で施工すること。

(2) 赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示による。

- ・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

規模(m)

仕上げ

床

内壁・天井

屋根

備品の種類及び数量

埋戻し及び盛土の種類:
【

- ・ A種 適用場所()
- ・ B種 適用場所()
- ・ C種 適用場所()
- 土質() 受渡場所()
- ・ D種 適用場所()

】

建設発生土の処分は次による。
※ 構外搬出適切処理
搬出先名称()
搬出先所在地()
運搬距離(km)
搬出先基準(条件)()

- ・ 構内堆積 ・ 構内敷きならし

載荷試験の種類

試験の方法

試験の位置

載荷荷重

報告書の記載事項

杭

・水平試験・図示

・図示

・図示

・図示

・図示

・鉛直試験・

・

・

・

・

・平板載荷試験

・図示

・図示

・図示

・図示

・

(1) 杭地業の種類と工法 (4.3.1)(4.4.4)(4.5.1)

杭地業の種類

工法

・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)

・セメントミルク工法

・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)

・特定埋設杭工法

・中掘り拡大根固め工法

・鋼杭地業

・()工法

・場所打ちコンクリート杭地業

・アースドリル工法

・()工法

(2) 杭の寸法等 (4.2.2)(4.3.3)(4.4.3)(4.5.4)

杭径

杭長(m)

種類

継手数

先端部の形状

備考

試験杭

位置は図示による

本杭

(3) 杭の品質等 (4.3.4)~(4.3.8)(4.4.4)~(4.4.6)

設計支持力

推定支持力の算定方法

水平方向のずれ精度

継手工法

杭頭の処理

(4) 支持層 (4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6)

支持層の位置

支持層の種類

支持層への掘削深さ

支持層への根入れ深さ

(5) 場所打ちコンクリートにおける材料等 (4.5.4)

ア 鉄筋

帯筋

鉄筋の最小かぶり厚さ

備考

【・(参-2.2)・図示】

イ セメントの種類

【・普通ポルトランドセメント・図示】

ウ コンクリート

設計基準強度

種別

備考

③ 床下防湿層
(4.6.5)

防湿層の範囲は、図示による。

⑤ 鉄筋
工事

① 鉄筋(5.2.1)

2 溶接金網
(5.2.2)

③ 継手及び定着
(5.3.4)

④ 鉄筋のかぶり厚
さ及び間隔
(5.3.5)

⑤ 各部配筋
(5.3.7)

6 機械式継手

⑥
コン
クリ
ート
工
事

① コンクリートの
強度

② コンクリートの
材料

③ コンクリートの
強度試験

④コンクリート打
放し仕上げ
(6.2.5)(6.8.1)

⑤コンクリートの
品質管理

⑥ 打雑ぎ(6.6.4)

⑦ 型枠
(6.8.1)
(6.8.2)

8 軽量コンク
リート
(6.10.1)
(6.10.2)

⑨ 暑中コンク
リート

⑩ 品質確保

種類の記号

呼び名(mm)

備考

SD295A

D10~D16

JIS G 3112

SD345

D19~D25

JIS G 3112

網目の形状

寸法

鉄線の経

備考

(1) 継手の種類等

施工部位

継手の種類

備考(重ね継手の長さ等)

柱及び梁の主筋

ガス圧接

D19~D25

その他

重ね継手

D10~D16

(2) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。

(3) 鉄筋の定着長さ【※図示による。 ・ 】

(1) 軽量コンクリートの場合の最小かぶり厚さ:

(2) 塩害を受けるおそれのある部分等の位置及び最小かぶり厚さ:

(3) 機械式継手及び溶接継手の場合のあきの寸法:

施工箇所

配筋の方法

その他特記すべき事項

【・(参-)による。○・図示】

【・(参-)による。○・図示】

機械式継手の種類: ・ 図示 ・

気乾単位容積
質量による種類

類別等

設計基準強度
(F_o)

施工部位

・普通コンクリート

※Ⅰ類

S-01構造設計標準仕様による。

・軽量コンクリート

・Ⅱ類

・普通コンクリート

※Ⅰ類

・軽量コンクリート

・Ⅱ類

(6.2.1)(6.2.2)(6.2.3)(6.10.1)(6.13.1)(6.14.1)(6.15.1)

(1) セメントの種類
【※普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種・ 】

(2) フライアッシュセメントB種の適用箇所: 【・ 図示 ・ 】

(3) 骨材のアルカリシリカ反応性による区分: ※A ・ B (6.3.1)

材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。

仕上げの種類

打増し厚さ

施工部位

備考

B種

+20

柱・壁

C種

+50

基礎・地中梁

工事に使用するコンクリートは事前に試し練りを行い、その品質等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報告する。

打雑ぎ目地の寸法は、図示による。

(1) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ
【・20mm ・()mm】

(2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。

(3) MCR工法の適用: ・有り【使用箇所: ・図示 ・ 】

水又は土に接する軽量コンクリートの使用
・有り【使用箇所: ・ 図示 ・ 】

暑中コンクリートの適用は【多良間村】の日平均気温の平年値が25℃を超える【5月1日】から【10月31日】までとする。
(注) 適用する場合は、気象庁HPより日平均気温の平年値を確認し、【 】を記載すること。

レディー・ミストコンクリートの品質確保については、「レディー・ミストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建第95号)及び「レディー・ミストコンクリートの品質確保について」の運用について」(平成15年11月10日付け国営技第71号)を適用する。

工事名称

多良間村へき地教員宿舍新築工事

工事年度

令和 6 年度

工事場所

多良間村字仲筋 423番地

図面名称

建築工事特記仕様書(その2)

発注機関

多良間村教育委員会

縮 尺

A1=NO SCALE A3=NO SCALE

摘 要

図面番号

A - 03

設計者

名 称

バセオ建築設計室

資格者氏名

荷川 取 勝彦 第232007号

登録番号

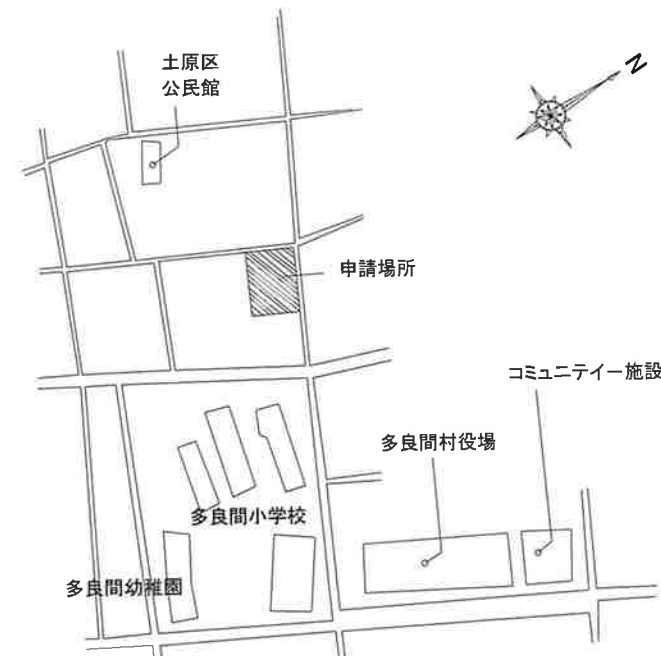
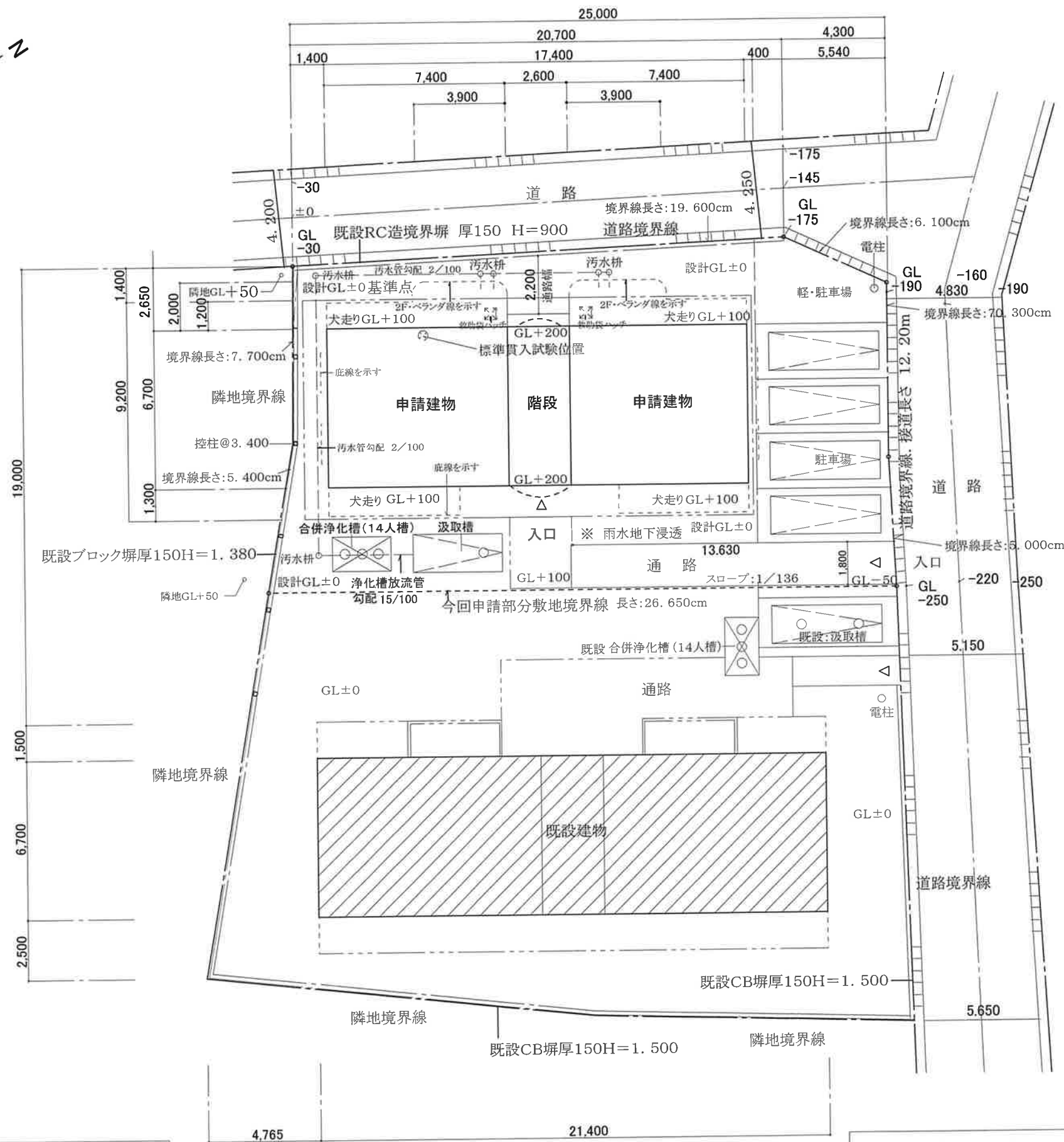
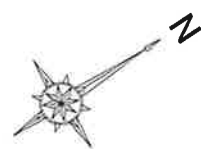
バセオ建築設計室 第139-2803号

所 在 地

うるま市宇喜屋敷311-4 2F

⑮ 左官工事 へ続き	④ 仕上塗材仕上げ(15.6.2) (表15.6.1)	<table><tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上りの形状・工法等</th></tr><tr><td>複層塗材</td><td>エマルジョン系E</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	呼び名	仕上りの形状・工法等	複層塗材	エマルジョン系E					⑩ 錠 (16.8.4)	(1) マスターキー：○ 製作する ・ 製作しない】 (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの錠鍵にまとめて納品する。	5 フローリングボ ードの特殊張り	体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。	2 側塊、排水枡等 (21.2.1)	(3) グレーチング <table><tr><th>材質</th><th>用途</th><th>適用荷重</th><th>メインバーピッチ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考						⑳ 舗装工事	3 基床(21.2.2)	(4) 地盤の材料：【 基床の厚さ及び種類：図示による。 コンクリート緑石及び側溝 <table><tr><th>名称</th><th>規格名称</th><th>形状</th><th>寸法等</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名称	規格名称	形状	寸法等	備考						1 路床(22.2.2) (22.2.3)(22.2.5) (表22.2.1)	(1) 路床の種類等 <table><tr><th>層の種類</th><th>厚さ</th><th>盛土の材料</th><th>路床安定処理</th><th>試験</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) ジオテキスタイルの適用及び品質：	層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験						2 路盤 (22.3.2)(22.3.5)	(1) 路盤の厚さ：【 (2) 締固め度試験：【 】	3 アスファルト舗 装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5)	(1) 構成及び厚さ：【・図示による(A- (2) 加熱アスファルト混合物等の種類： 【・密粒度アスファルト混合物(13) ・再粒度アスファルト混合物(13)】 (3) シールコートの適用：【・有り ・無し】 (1) 構成及び厚さ：【・図示による(A- (2) 種類：【・加熱系((3) 添加する着色骨材又は自然石 【・図示による(A- (4) その他【・ 構成及び厚さ：【・図示による(A- 】	④コンクリート舗 装(22.5.2)	(1) 構成及び厚さ：【・図示による(A- (2) 種類：【・加熱系((3) 添加する着色骨材又は自然石 【・図示による(A- (4) その他【・ 構成及び厚さ：【・図示による(A- 】	5 カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【・図示による(A- (2) 種類：【・加熱系((3) 添加する着色骨材又は自然石 【・図示による(A- (4) その他【・ 構成及び厚さ：【・図示による(A- 】	6 透水性アスファ ルト舗装 (22.7.2)	(1) ブロック系舗装の適用：【・コンクリート平板舗装 ・イン ターロック型ブロック舗装 ・鋪石舗装】 (2) 種類及び寸法等：【・図示による(A- (3) ジオテキスタイルの適用及び品質：【	7 ブロック系舗装 (22.8.1)	(1) ブロック系舗装の適用：【・コンクリート平板舗装 ・イン ターロック型ブロック舗装 ・鋪石舗装】 (2) 種類及び寸法等：【・図示による(A- (3) ジオテキスタイルの適用及び品質：【	23 植栽及び屋上緑 化工事工事	1 植栽地の確認 (23.1.3) (23.2.2) (23.2.3)	(1) 植栽地の土壌試験： (2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。 (3) 土壌改良材： (4) 植込み用土：	2 植樹 (23.3.2) -(23.3.4) (23.3.6)	(1) 種類等 <table><tr><th>樹木の種類</th><th>樹高(m)</th><th>有効土層の厚さ(cm)</th><th>支柱の形</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>整備範囲は図示による</td></tr></table> (2) 新植樹木の枯損償の期間：【※1年・()年】 (3) 移植樹木の枯損処理を行う期間：【※1年・()年】 (1) 芝の種類： (2) 種子の種類及び量： (3) 地被類 <table><tr><th>樹種</th><th>芽生数</th><th>コンテナ径</th><th>単位面積当たりのコンテナ数</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 土壌層の厚さ 排水層の厚さ 樹木の樹種、寸法、数量 支柱の形式 かん水装置 ※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。 ※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。	樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考					整備範囲は図示による	樹種	芽生数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数					3 芝張り等 (23.4.2)	(1) 芝の種類： (2) 種子の種類及び量： (3) 地被類 <table><tr><th>樹種</th><th>芽生数</th><th>コンテナ径</th><th>単位面積当たりのコンテナ数</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 土壌層の厚さ 排水層の厚さ 樹木の樹種、寸法、数量 支柱の形式 かん水装置 ※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。 ※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。	樹種	芽生数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数					4 屋上緑化 (23.5.2)(23.5.3) (23.5.4)	(1) 種類等 <table><tr><th>樹木の種類</th><th>樹高(m)</th><th>有効土層の厚さ(cm)</th><th>支柱の形</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>整備範囲は図示による</td></tr></table> (2) 新植樹木の枯損償の期間：【※1年・()年】 (3) 移植樹木の枯損処理を行う期間：【※1年・()年】 (1) 芝の種類： (2) 種子の種類及び量： (3) 地被類 <table><tr><th>樹種</th><th>芽生数</th><th>コンテナ径</th><th>単位面積当たりのコンテナ数</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 土壌層の厚さ 排水層の厚さ 樹木の樹種、寸法、数量 支柱の形式 かん水装置 ※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。 ※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。	樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考					整備範囲は図示による	樹種	芽生数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数					24 その他	1 重量がある扉等 (23.6.2)	(1) 重量がある扉等 (23.6.2)	工事名称 工事年度 工事場所 免注機関 摘 要 検 印	多良間村へき地教員宿舍新築工事 令和 6 年度 多良間村字仲筋 423番地 建築工事特記仕様書(その4) 多良間村教育委員会 縮 尺 A1=NO SCALE A3=NO SCALE 図面番号 A - 05 名 称 バセオ建築設計室 資格者氏名 河川取 勝彦 第 232007 号 登録番号 バセオ建築設計室 第 139-2803 号 所 在 地 うるま市宇喜屋敷 311-4 2F
種類	呼び名	仕上りの形状・工法等																																																																																																																								
複層塗材	エマルジョン系E																																																																																																																									
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																																																																																																																						
名称	規格名称	形状	寸法等	備考																																																																																																																						
層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験																																																																																																																						
樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考																																																																																																																						
				整備範囲は図示による																																																																																																																						
樹種	芽生数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数																																																																																																																							
樹種	芽生数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数																																																																																																																							
樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考																																																																																																																						
				整備範囲は図示による																																																																																																																						
樹種	芽生数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数																																																																																																																							
④ 仕上塗材仕上げ(15.6.2) (表15.6.1)	5 マスチック塗料 塗り(表15.7.2)	6 せっこうプラ スター塗り (15.8.2)(15.8.3)	7 しっくい塗り (15.10.2)	8 ロックウール吹 付け(15.12.3)	① 壁紙張り (19.8.2)	② 断熱及び防露 (19.9.3)(19.9.4)	③ 断熱及び防露 (19.9.3)(19.9.4)	④ 断熱及び防露 (19.9.3)(19.9.4)	⑤ ユニ ット 及び そ の 他 工 事	⑥ 排水工 事	⑦ 排水工 事	⑧ 排水工 事	⑨ 排水工 事	⑩ 排水工 事	⑪ 排水工 事	⑫ 排水工 事	⑬ 排水工 事	⑭ 排水工 事	⑮ 排水工 事	⑯ 排水工 事	⑰ 排水工 事	⑱ 排水工 事	⑲ 排水工 事	⑳ 排水工 事	㉑ 排水工 事	㉒ 排水工 事	㉓ 排水工 事	㉔ 排水工 事	㉕ 排水工 事	㉖ 排水工 事	㉗ 排水工 事	㉘ 排水工 事	㉙ 排水工 事	㉚ 排水工 事	㉛ 排水工 事	㉜ 排水工 事	㉝ 排水工 事	㉞ 排水工 事	㉟ 排水工 事	㊱ 排水工 事	㊲ 排水工 事	㊳ 排水工 事	㊴ 排水工 事	㊵ 排水工 事	㊶ 排水工 事	㊷ 排水工 事	㊸ 排水工 事	㊹ 排水工 事	㊺ 排水工 事	㊻ 排水工 事	㊼ 排水工 事	㊽ 排水工 事	㊾ 排水工 事	㊿ 排水工 事	㋀ 排水工 事	㋁ 排水工 事	㋂ 排水工 事	㋃ 排水工 事	㋄ 排水工 事	㋅ 排水工 事	㋆ 排水工 事	㋇ 排水工 事	㋈ 排水工 事	㋉ 排水工 事	㋊ 排水工 事	㋋ 排水工 事	㋌ 排水工 事	㋍ 排水工 事	㋎ 排水工 事	㋏ 排水工 事	㋐ 排水工 事	㋑ 排水工 事	㋒ 排水工 事	㋓ 排水工 事	㋔ 排水工 事	㋕ 排水工 事	㋖ 排水工 事	㋗ 排水工 事	㋘ 排水工 事	㋙ 排水工 事	㋚ 排水工 事	㋛ 排水工 事	㋜ 排水工 事	㋝ 排水工 事	㋞ 排水工 事	㋟ 排水工 事	㋠ 排水工 事	㋡ 排水工 事	㋢ 排水工 事	㋣ 排水工 事	㋤ 排水工 事	㋥ 排水工 事	㋦ 排水工 事	㋧ 排水工 事																												

[illegible]



案内図 NOSCALE

※ 建築計画・設計概要

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	
建築主	住所	多良間村字仲筋99-2
	氏名	多良間村長 伊良皆 光夫
敷地概要	地名地番	多良間村字仲筋 423 番地
	都市計画区域	都市計画区域外・用途地域指定無し
	敷地面積	350.98㎡
	建ぺい率	
	容積率	
道路 前面道路幅員 4.83m～5.15m 接道長さ 12.20m		
建築概要	建物用途	共同住宅
	工事の種別	新築
	構造	壁式鉄筋コンクリート造
	階数	2階建
	平均地盤面高	GL+0.11m
	最高高さ	6.24m
	軒高さ	6.04m
	床面積	1階 118.03㎡ 2階 109.09㎡
設備概要	延べ面積	227.12㎡
	建築面積	127.76㎡
	給水	給水本館より
	排水	合併浄化槽へ接続
	給温水	ガス湯沸器
	換気	自然給気・第3種機械換気
	住宅用防災機器	住宅用火災警報器設置 煙式
	電気	本柱引込線

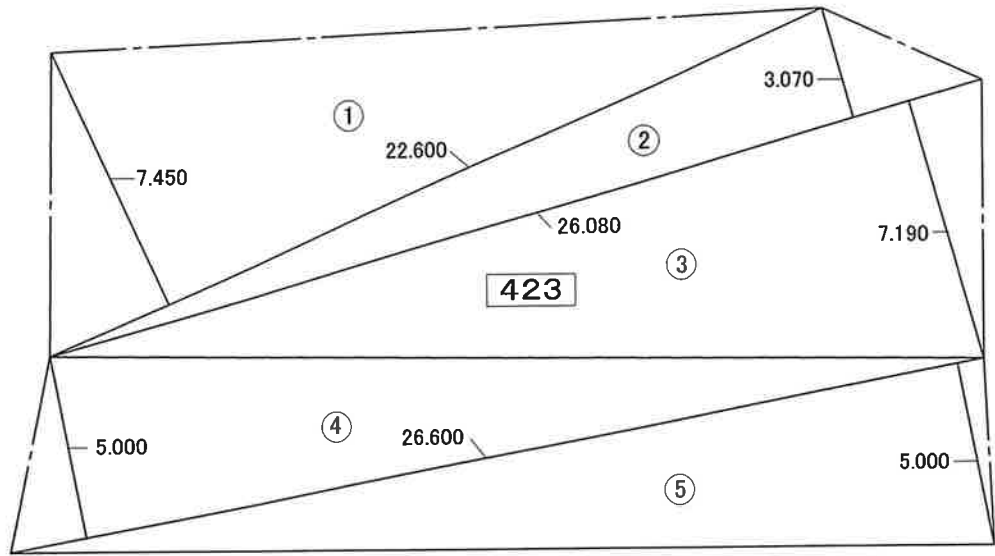
※ 既設ブロック塀仕様
所有者:多良間村
高さ:1.38m 厚さ:15cm
控え柱:@3.4m以下
基礎:コンクリート造
ブロック塀の外観:塀に傾き、
ひび割れは目視確認上はない。

配置図 S=1/200

法第35条 (技術的基準)

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1. 避難・消火施設等
施行令115条の3:116条の2
117条～128条の3:129条
適用除外 | 3. 排煙設備
施行令126条の2
適用除外 |
| 2. 非常用照明
施行令126条の4
適用除外 | 4. 非常用の進入口
施行令126条
適用除外 |

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423 番地	図面名称	配置図・案内図	縮尺	S=1:200
発注機関	多良間村教育委員会	図面番号	A - 6		
適用	管理建築士	設計	製図	設計者 名称 パセオ建築設計室 資格者氏名 荷川取 勝彦 第232007号 登録番号 パセオ建築設計室 第139-2803号 所在地 うるま市宇喜屋武311-4	
検印					

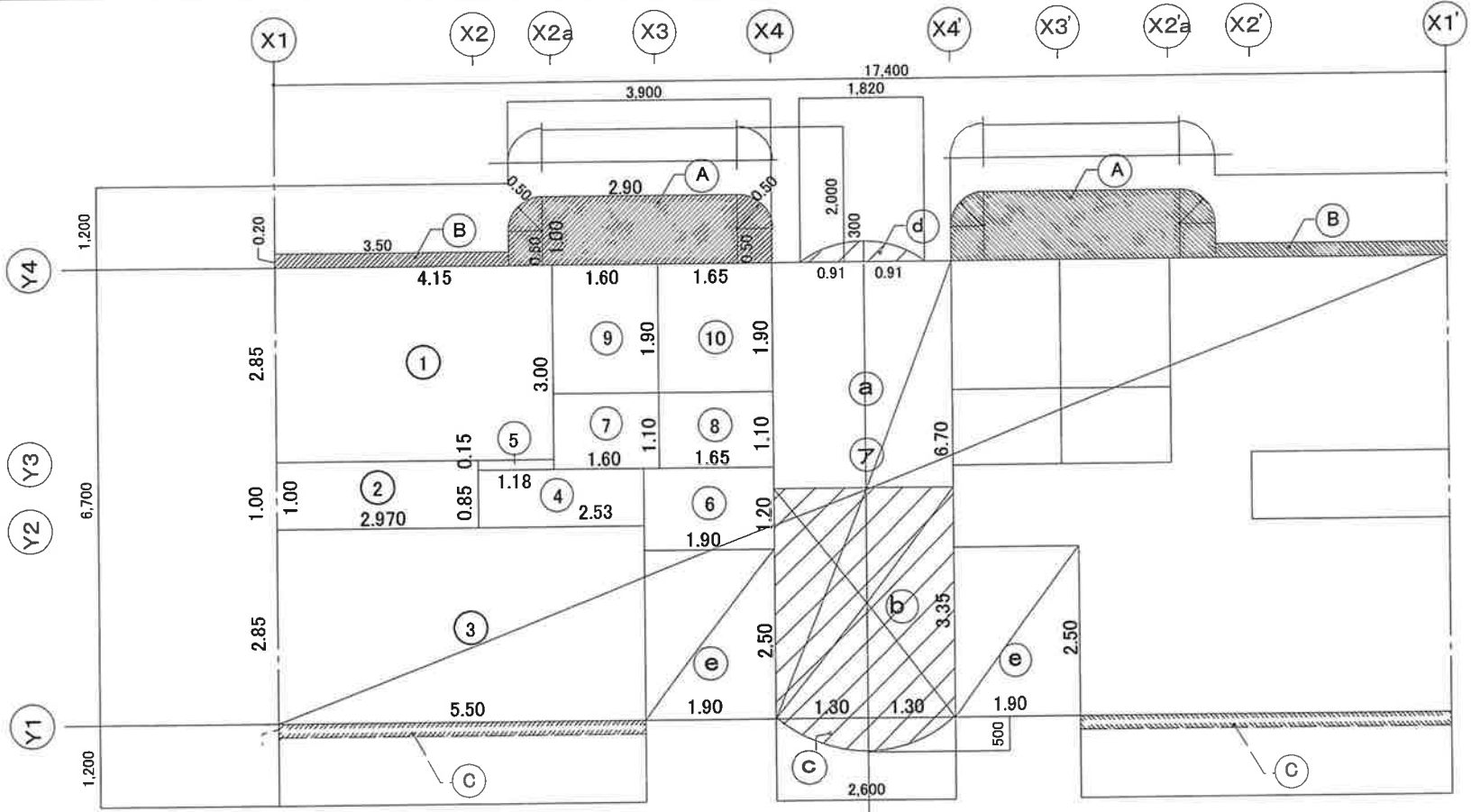


求積図 S=1:200

敷地面積算定表		
423番地（今回確認申請部分）		
記号	計算式	
①	$22.60 \times 7.45 \div 2$	84.19㎡
②	$26.08 \times 3.07 \div 2$	40.03㎡
③	$26.08 \times 7.19 \div 2$	93.76㎡
④	$26.60 \times 5.00 \div 2$	66.50㎡
⑤	$26.60 \times 5.00 \div 2$	66.50㎡
合計		350.98㎡

1 階床面積
居住部分 $44.831 \times 2 \text{世帯} = 89.662 \text{㎡}$
1階階段室 $= 18.868 \text{㎡}$
ポーチ $1.90 \times 2.50 \times 2 \text{世帯} = 9.500 \text{㎡}$
計=118.03㎡

2 階床面積
居住部分 $44.831 \times 2 \text{世帯} = 89.662 \text{㎡}$
2階階段室 $= 10.158 \text{㎡}$
ポーチ $1.90 \times 2.50 \times 2 \text{世帯} = 9.500 \text{㎡}$
計=109.32㎡

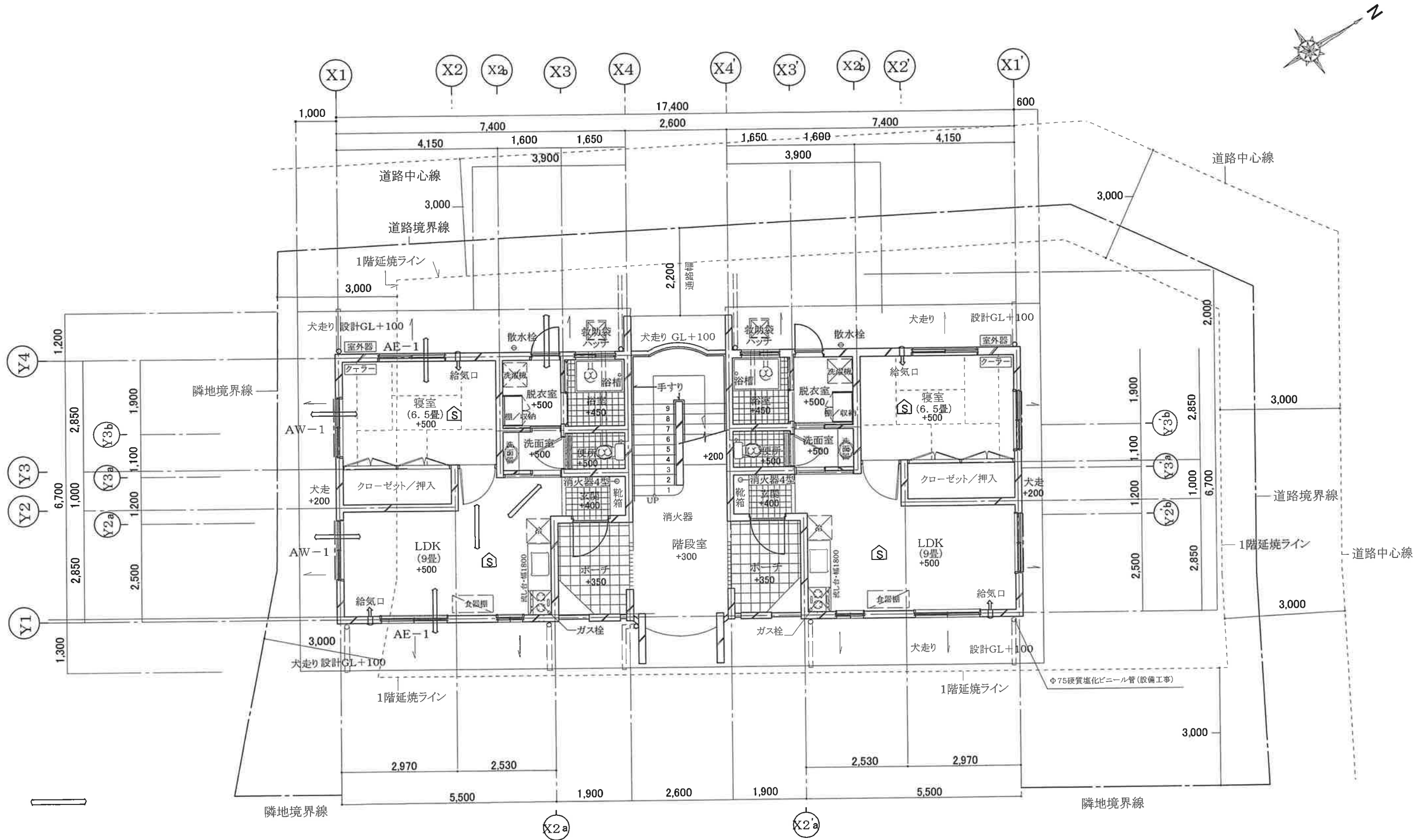


床面積算定表(居住面積)			
	室名	計算式	
①	寝室	4.15×2.85	11.828㎡
②	ダンス	2.97×1.00	2.970㎡
③	LDK	5.50×2.85	15.675㎡
④	LDK	2.53×0.85	2.151㎡
⑤	〃	1.180×0.15	0.177㎡
⑥	玄関	1.90×1.20	2.280㎡
⑦	洗面室	1.60×1.10	1.760㎡
⑧	便所	1.65×1.10	1.815㎡
⑨	脱衣室	1.60×1.90	3.040㎡
⑩	浴室	1.65×1.90	3.135㎡
	小計		44.831㎡
	合計	$44.831 \times 4 \text{世帯} =$	179.324㎡
床面積算定式(ピロティ等)			
a	階段室(1F)	2.60×6.70	17.420㎡
c	〃	$1.30 \times 0.50 \times 3.14 / 2$	1.020㎡
d	〃	$0.91 \times 0.30 \times 3.14 / 2$	0.428㎡
b	階段室(2F)	2.60×3.35	8.710㎡
c	〃	$1.30 \times 0.50 \times 3.14 / 2$	1.020㎡
d	〃	$0.91 \times 0.30 \times 3.14 / 2$	0.428㎡
$1F(18.868 \text{㎡}) + 2F(10.158 \text{㎡}) =$			29.026㎡
e	ポーチ	$1.90 \times 2.50 \times 4 \text{世帯}$	19.000㎡
合計(階段室)29.026 + (ポーチ)19.000 =			48.026㎡
延床面積算定式			
合計(居住部分)179.324 + (ピロティ部分)48.026 =			227.35㎡ (68.773坪)

床・建築面積算定図 S=1:100

建築面積		
	計算式	
A	17.40×6.70	116.580㎡
A	$\{(2.90 \times 1.00) + (0.50 \times 0.50 \times 2 \text{ヶ所}) + (0.50 \times 0.50 \times 3.14 / 4)\} \times 2 \text{ヶ所} = 3.790 \text{㎡} \times 2 = 7.580$	7.580㎡
B	$3.50 \times 0.20 \times 2 \text{ヶ所}$	1.400㎡
C	$5.50 \times 0.20 \times 2 \text{ヶ所}$	2.200㎡
合計		127.76㎡

工事名称		多良間村へき地教員宿舍新築工事		工事年度		令和 6 年		
工事場所		多良間村字仲筋 423番地		図面名称		求積図	縮尺	S=1:100 S=1:200
発注機関		多良間村教育委員会		図面番号		A - 7		
適 用				設計者	名 称		パセオ建築設計室	
検 印	管理建築士	設 計	製 図		資格者氏名		荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号		パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所 在 地		うるま市字喜屋武311-4	



凡 例

- 自然換気経路を示す
- 自然給気口 高さ床面から1,600～1,800mm程度とする。
- 機械排気口※ 24 時間換気(各トイレ及び浴室に設置する換気扇は 70 m³/hとする。) 通気経路に有るドアには、通気上有効な通気ガラリ又はアンダーカットを設ける。
- 住宅用火災報知器(煙感知式)(電池式)
- 天井又は壁の屋内に面する部分。いずれかの位置に設ける事。
 - 壁又は、梁から0.6 m以上離れた天井の屋内に面する部分。
 - 天井から下方 0.15 m以上 0.50 m以内の位置に有る壁の屋内に面する部分。
 - 換気口等の空気吹出し口から、1.5 m以上離れた位置に設ける事。

屋外階段:19段
有効幅:1050
蹴上:142.5
踏み面:260
踊り場:1100

1 階 平 面 図 S=1:100

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423 番地	図面名称	1階 平面図 縮尺 S=1:100
発注機関	多良間村教育委員会	図面番号	A - 9
適用		名称	パセオ建築設計室
検 印	管理建築士 設 計 製 図	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第189-2803号
		所 在 地	うるま市字喜屋武311-4

内 部 仕 上 表

場所 室名		床	巾木	腰 壁	使用面積	壁	使用面積	天 井	廻り縁	天井高		備 考
	玄関	タイル下地モルタル 磁器質タイル 150角 上り框:	H=50ヒバ CL仕上 F☆☆☆☆	_____	_____	ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆	_____	コンクリート打ち放し下地処理の上 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆☆	木製 OS	2,600		靴箱(規格品)固定
1階	LDK (厨房)	ア)15チークフローリング張り(塗装品)PU F☆☆☆☆	H=75ヒバ CL仕上 F☆☆☆☆	_____	_____	ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り 角150磁器質タイル張り F☆☆☆☆	_____	コンクリート打ち放し下地処理の上 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆☆	木製 OS	2,500	水切り欄:SUS-304 (二段)	コンロ(BL型 L=600) 流し台(BL型 L=1200) 吊り棚 L=1200 レンジフード(設備工事)
	寝 室	下地ア)15杉板張りタタミ敷込み 規制対象外	タタミ寄せ(杉1等材)	_____	_____	ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆	_____	コンクリート打ち放し下地処理の上 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆☆	木製 OS	2,500		押入れ・天袋(図面参照)
	便 所	タイル下地モルタル 磁器質タイル 150角 排水ピット(SUS-304) 敷居:御影石(30×120)	規制対象外	_____	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		
	洗面室	厚2. 5mm長尺塩化ビニール床シート張り 目地棒(SUS-304) (4×12×1. 820)	規制対象外	H=75ヒバ CL仕上 F☆☆☆☆	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		化粧鏡(600×700)
	脱衣室	厚2. 5mm長尺塩化ビニール床シート張り 規制対象外	RC巾木 CL仕上げ F☆☆☆☆	_____	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		洗濯パン
	浴 室	タイル下地モルタル 角150磁器質タイル 敷居:御影石(30×120)	規制対象外	_____	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		
2階	玄 関	タイル下地モルタル 磁器質タイル 150角 上り框:	H=50ヒバ CL仕上 F☆☆☆☆	_____	_____	ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆	_____	厚50スタイロフォーム下地 F☆☆☆☆ (スラフ`同時打ち) 複層吹付仕上げ(E)	木製 OS	2,500		靴箱(規格品)固定
	LDK (厨房)	ア)15チークフローリング張り(塗装品) PU F☆☆☆☆	H=75ヒバ CL仕上 F☆☆☆☆	_____	_____	ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り 角150磁器質タイル張り F☆☆☆☆	_____	厚50スタイロフォーム下地 F☆☆☆☆ (スラフ`同時打ち) 複層吹付仕上げ(E)	木製 OS	2,400	水切り欄:SUS-304 (二段)	コンロ(BL型 L=600) 流し台(BL型 L=1200) 吊り棚 L=1200 レンジフード(設備工事)
	寝 室	下地ア)15杉板張りタタミ敷込み 規制対象外	タタミ寄せ(杉1等材)	_____	_____	ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆	_____	厚50スタイロフォーム下地 F☆☆☆☆ (スラフ`同時打ち) 複層吹付仕上げ(E)	木製 OS	2,400		押入れ・天袋(図面参照)
	便 所	タイル下地モルタル 磁器質タイル 150角 排水ピット(SUS-304) 敷居:御影石(30×120)	規制対象外	_____	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		
	洗面室	厚2. 5mm長尺塩化ビニール床シート張り 目地棒(SUS-304)×12×1. 820)	規制対象外	H=75ヒバ CL仕上 F☆☆☆☆	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		化粧鏡(600×700)
	脱衣室	厚2. 5mm長尺塩化ビニール床シート張り 規制対象外	RC巾木 CL仕上げ F☆☆☆☆	_____	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		洗濯パン
	浴 室	タイル下地モルタル 角150磁器質タイル 敷居:御影石(30×120)	規制対象外	_____	_____	角150磁器質タイル張り 規制対象外	_____	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	塩ビ製	2,200		

外 部 仕 上 表

玄関ポーチ	床:角150磁器質タイル張り(スリップ止めタイル張り)
屋根・	コンクリート金こて仕上げ 塗膜塗膜防水仕上げ(遮熱防水) 最上階部分は、厚50断熱材打込み F☆☆☆☆
軒裏・	コンクリート打放し下地処理の上 EP 仕上
堅樋・	φ75硬質塩化ビニール管 SOP仕上げ(金物ステンレス ¹⁾ 設備工事)
外壁・	コンクリート打放し下地処理の上 複層カット仕上げ塗装(E) エマルジョン系吹付 誘発目地15×15 シーリング詰メ
換気口・	床下換気孔(丸型)SK-2000型(防虫網付)
犬走り・	コンクリート打放し木こて仕上げ
ベランダ 物干し場	物干し金物(別図参照) Ø19 ステンレス タラップ (W303×H250)
階段室	コンクリート木こて下地 階段モルタル金こて仕上げ(スリップ止めタイル張り) ステンレス製 BL集合郵便受箱(2段2列、4戸用) 排水溝、幅120

特 記 事 項

1	造作材は、ヒバ`材を使用する事。 構造下地材は、メラビ材とし、胴縁 野縁材は杉材を使用する事。
2	玄関 上がり框は100×50はチーク材とする。
3	厚9. 5 石膏ボード 準不燃材(QM-9B28)とする。
4	壁クロスは 準不燃(QM-0803)とし F☆☆☆☆とする。

シックハウス対策の特記事項

室内に使用する建材は全てVOC対応型を使用する事

ホルムアルデ`ヒド`対策として内装材・建具・内部造作類および接着材・塗料などはすべてF☆☆☆☆の建材を使用する事。
シックハウス対応の部屋の換気は第三種換気設備とする。また、必要なガラー等を取り付ける事。
使用材料の等級・種類・種別・またはJAS・JIS認定書の写し等をファイルにまとめて提出する事。

使用材料の搬入時および施工時の写真をファイルにまとめて提出する事。
使用材料の出荷証明書をファイルにまとめて提出する事。

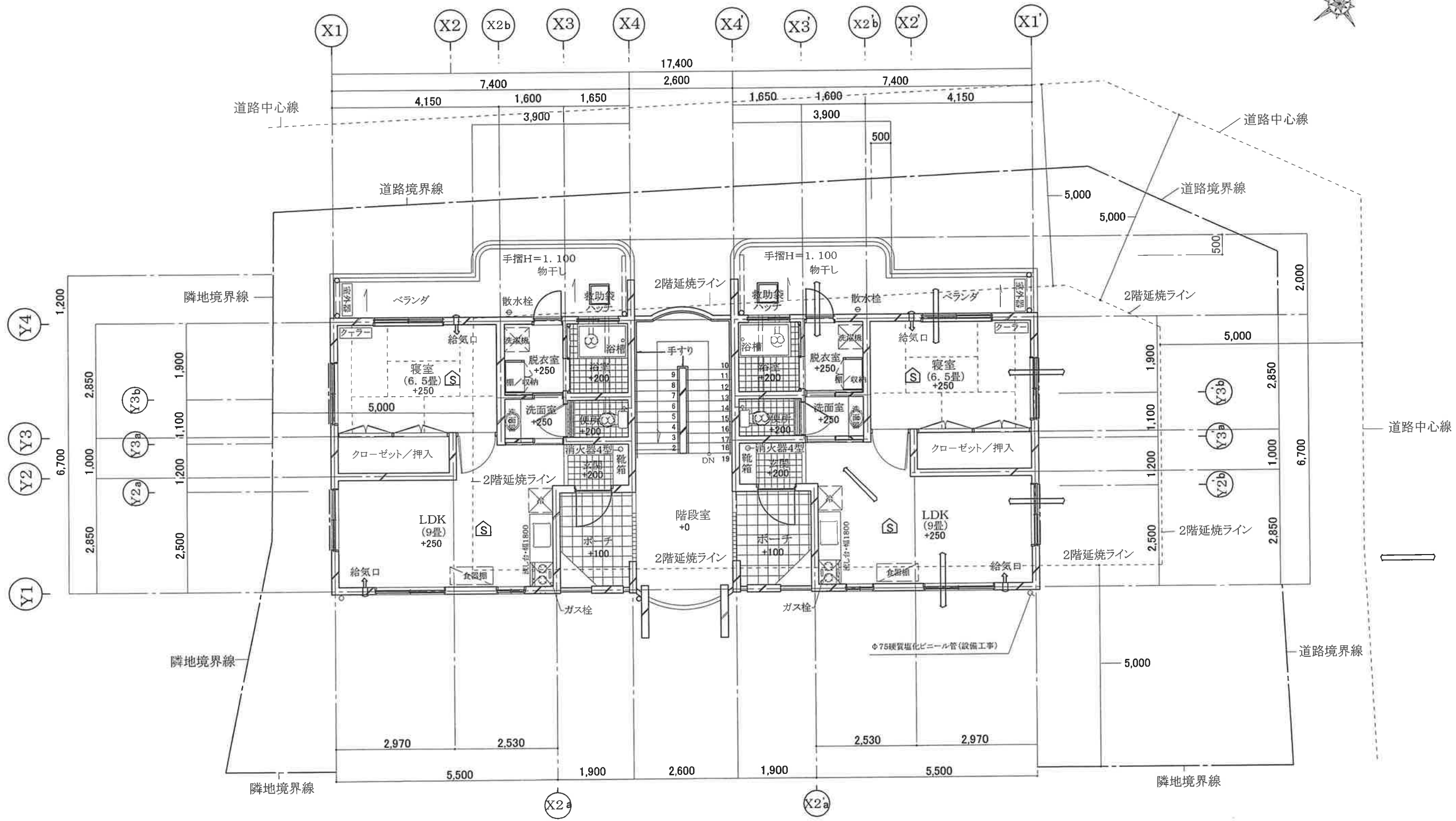
防火認定番号

厚 5. 0mm無石綿ケイ酸カルシウム板 不 燃: NM-8576

*すべての材料は、アスベスト含有建材は使用しないものとする。

略 記 号		
塗 装	PU	ポリウレタン塗
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗
	VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗
	EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント塗
	CL	クリヤラッカー塗・
	OS	油性ステイン塗・
	E	厚付け仕上げ塗装 外、内装:エマルジョン系吹付
LGS		軽量鉄骨下地・
VP管		硬質塩化ビニールパイプ(一般管)・
*ホルマリン不検室のもので、水性形のものとする F☆☆☆☆		

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度	令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423 番地			図面名称	仕 上 表	縮尺	S=N
発注機関	多良間村教育委員会			図面番号	A - 8		
適 用				設 計 者	名 称	パセオ建築設計室	
検 印	管理建築士	設 計	製 図		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所 在 地	うるま市宇喜屋武311-4	

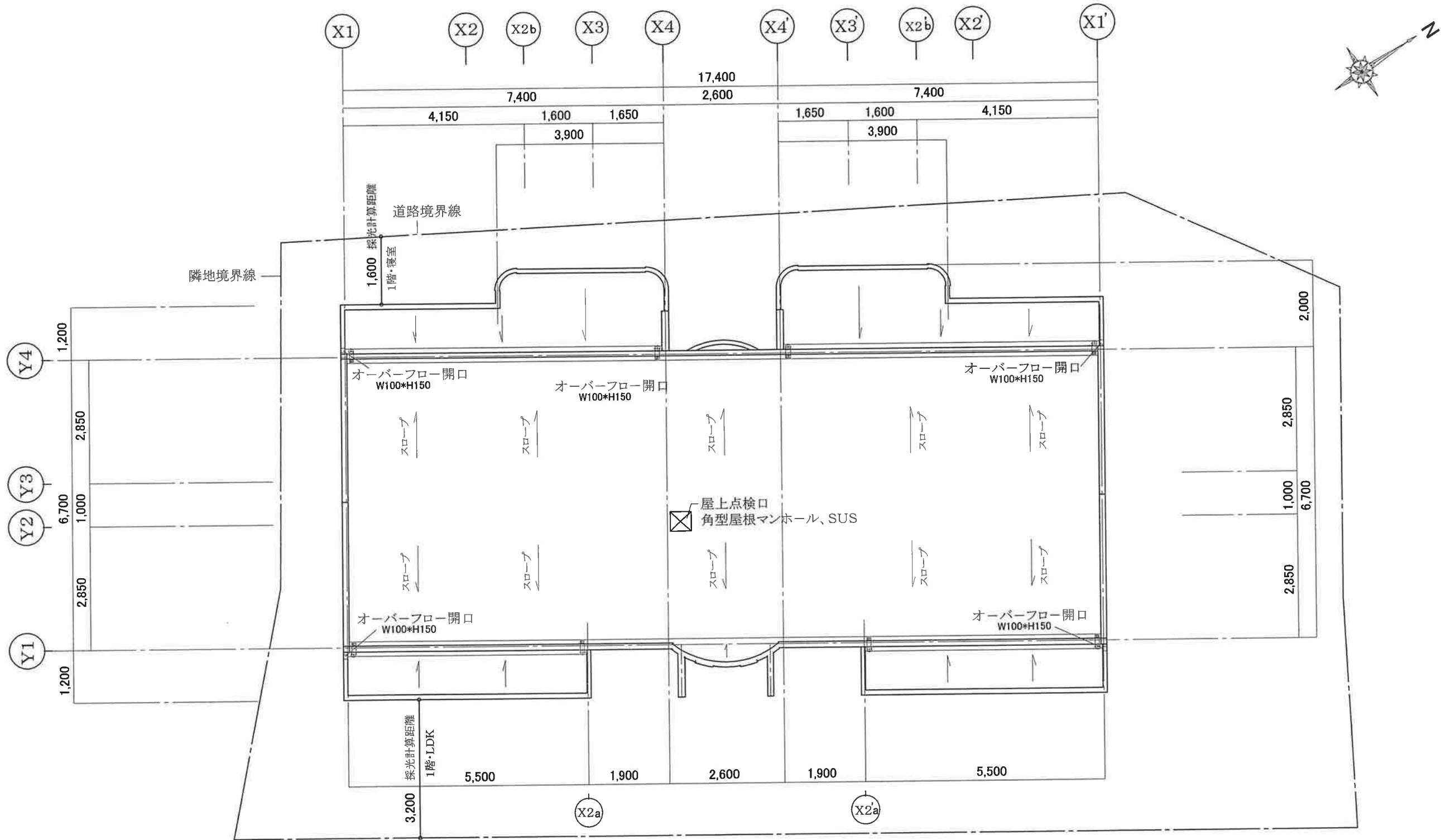


- 凡 例
- 自然換気経路を示す
 - 自然給気口 高さ床面から1,600～1,800mm程度とする。
 - 機械排気口※ 24 時間換気(各トイレ及び浴室に設置する換気扇は 70 m³/hとする。) 通気経路に有るドアには、通気上有効な通気ガラリ又はアンダーカットを設ける。
 - 住宅用火災報知器(煙感知式)(電池式)
 - 1 天井又は壁の屋内に面する部分。いずれかの位置に設ける事。
 - (1) 壁又は、梁から0.6 m以上離れた天井の屋内に面する部分。
 - (2) 天井から下方 0.15 m以上 0.50 m以内の位置に有る壁の屋内に面する部分。
 - 2 換気口等の空気吹出し口から、1.5 m以上離れた位置に設ける事。

屋外階段:19段
有効幅:1050
蹴上:142.5
踏み面:260
踊り場:1100

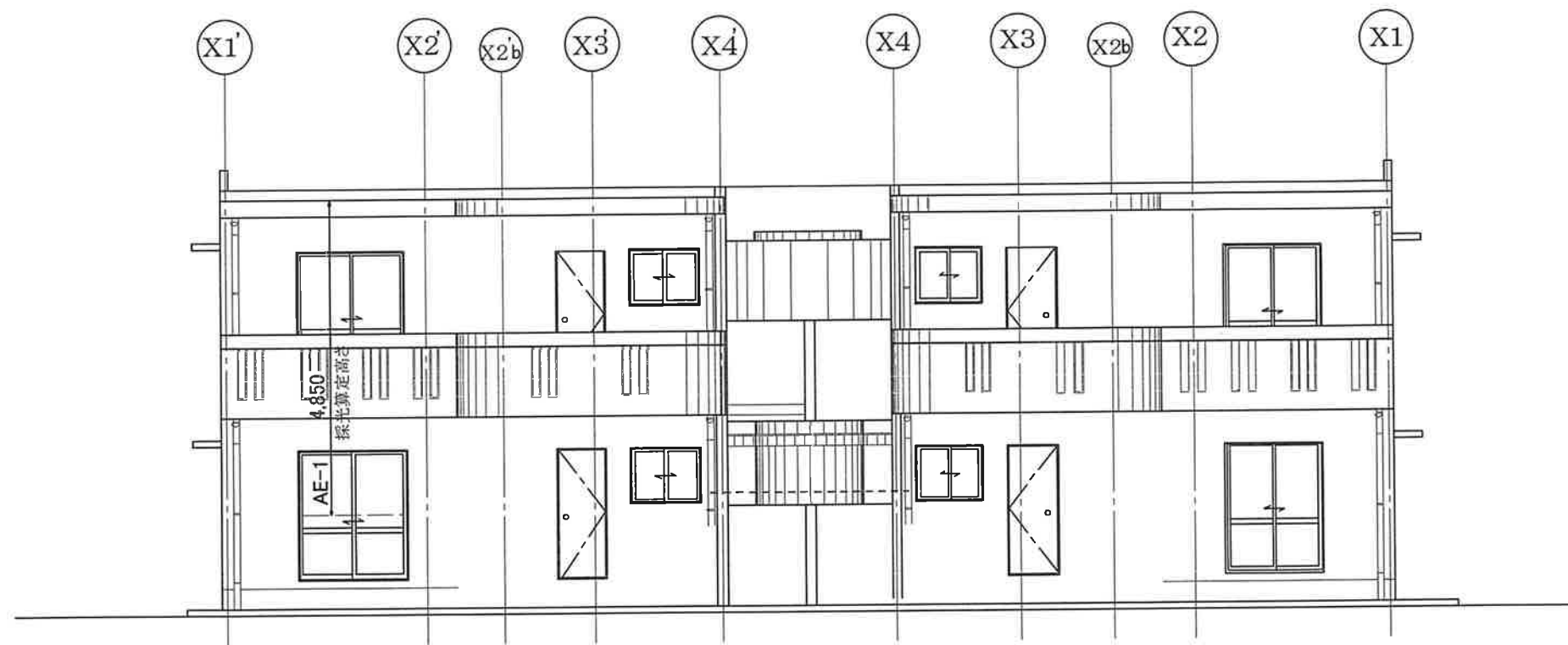
2 階 平 面 図 S=1:100

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	2階 平面図 縮尺 S=1:100
発注機関	多良間村教育委員会	図面番号	A - 10
適 用	管理建築士 設 計 製 図	設 計 者	名 称 パセオ建築設計室
検 印		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所 在 地	うるま市宇喜屋武311-4

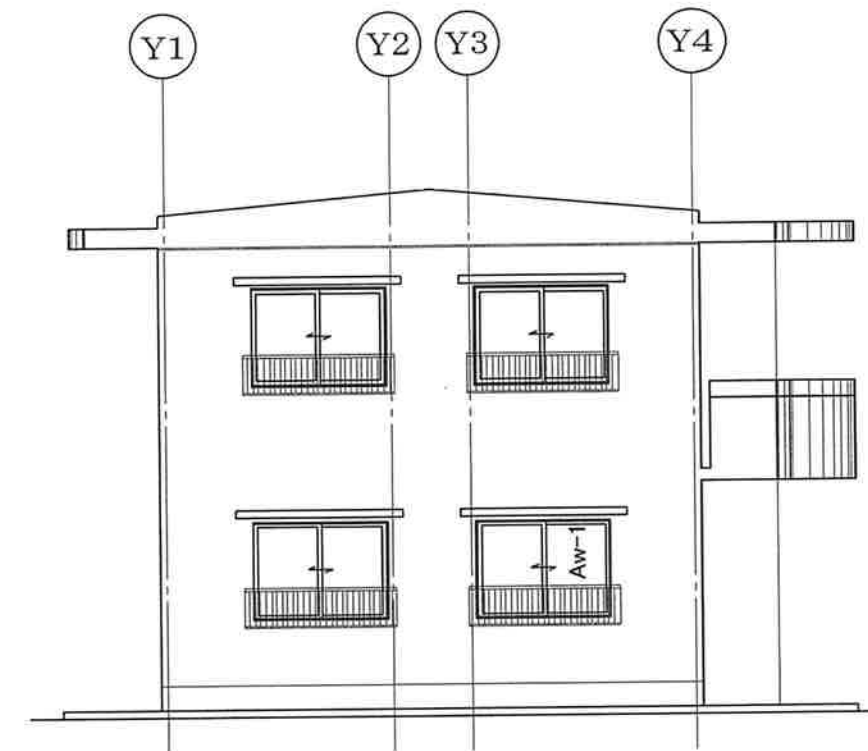


R 階平面図 S=1:100

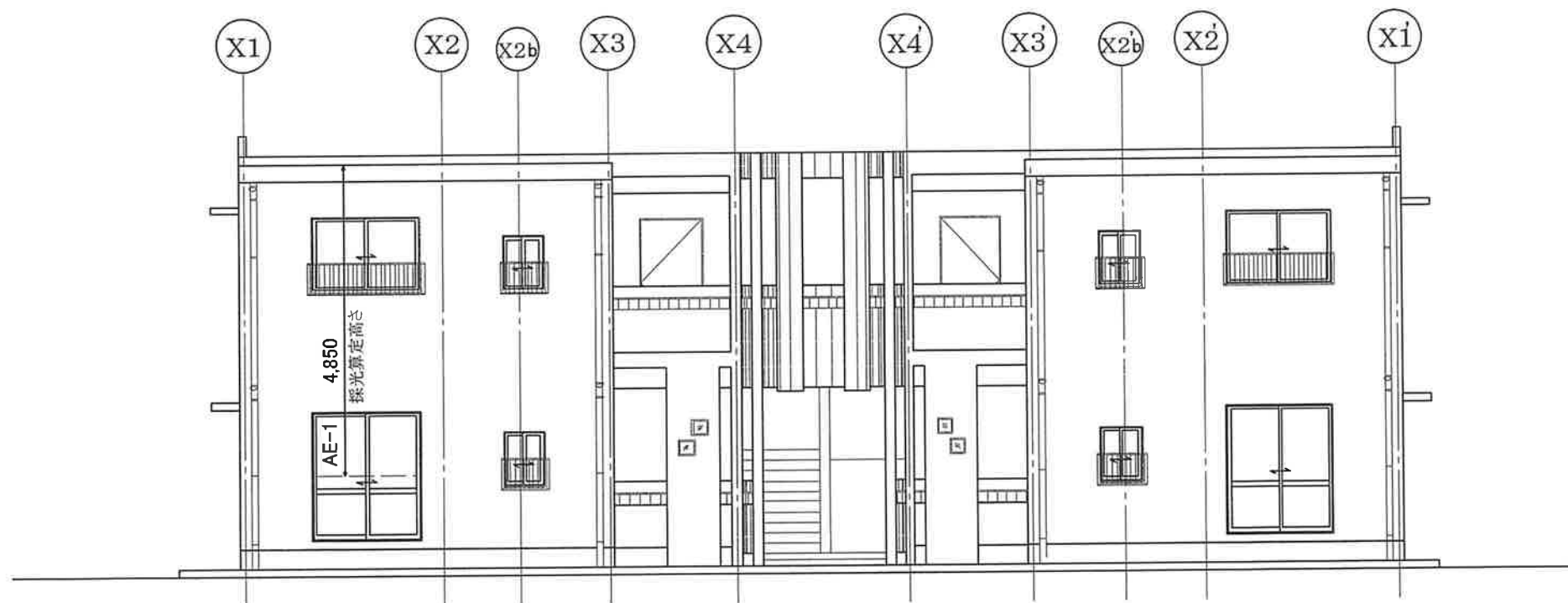
工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度	令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423番地			図面名称	R階平面図	縮尺	S=1:100
発注機関	多良間村教育委員会			図面番号	A - 11		
適用				設計者	名称	パセオ建築設計室	
検印	管理建築士	設計	製図		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所在地	うるま市字喜屋武311-4	



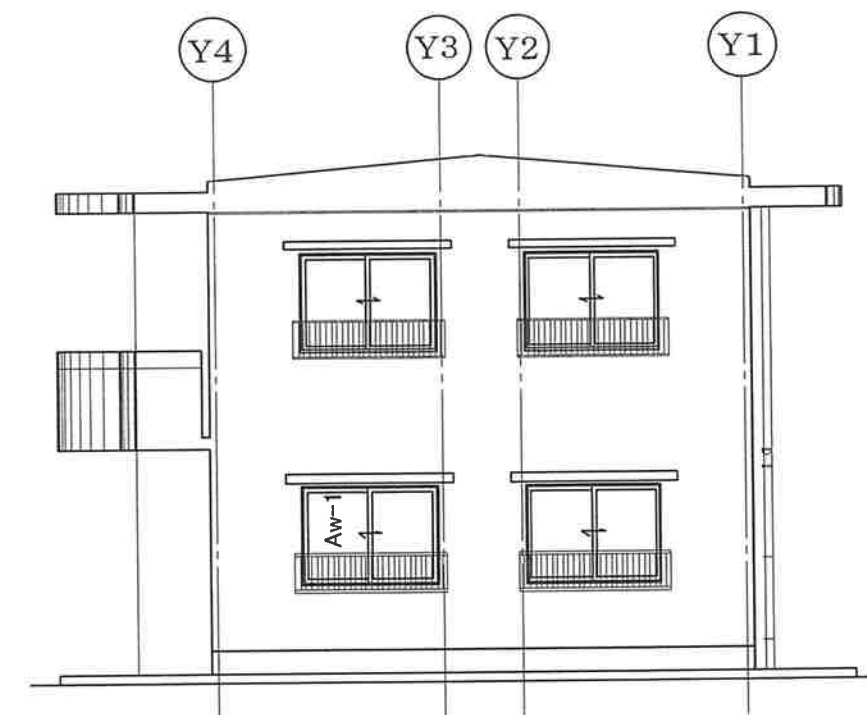
西側立面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100

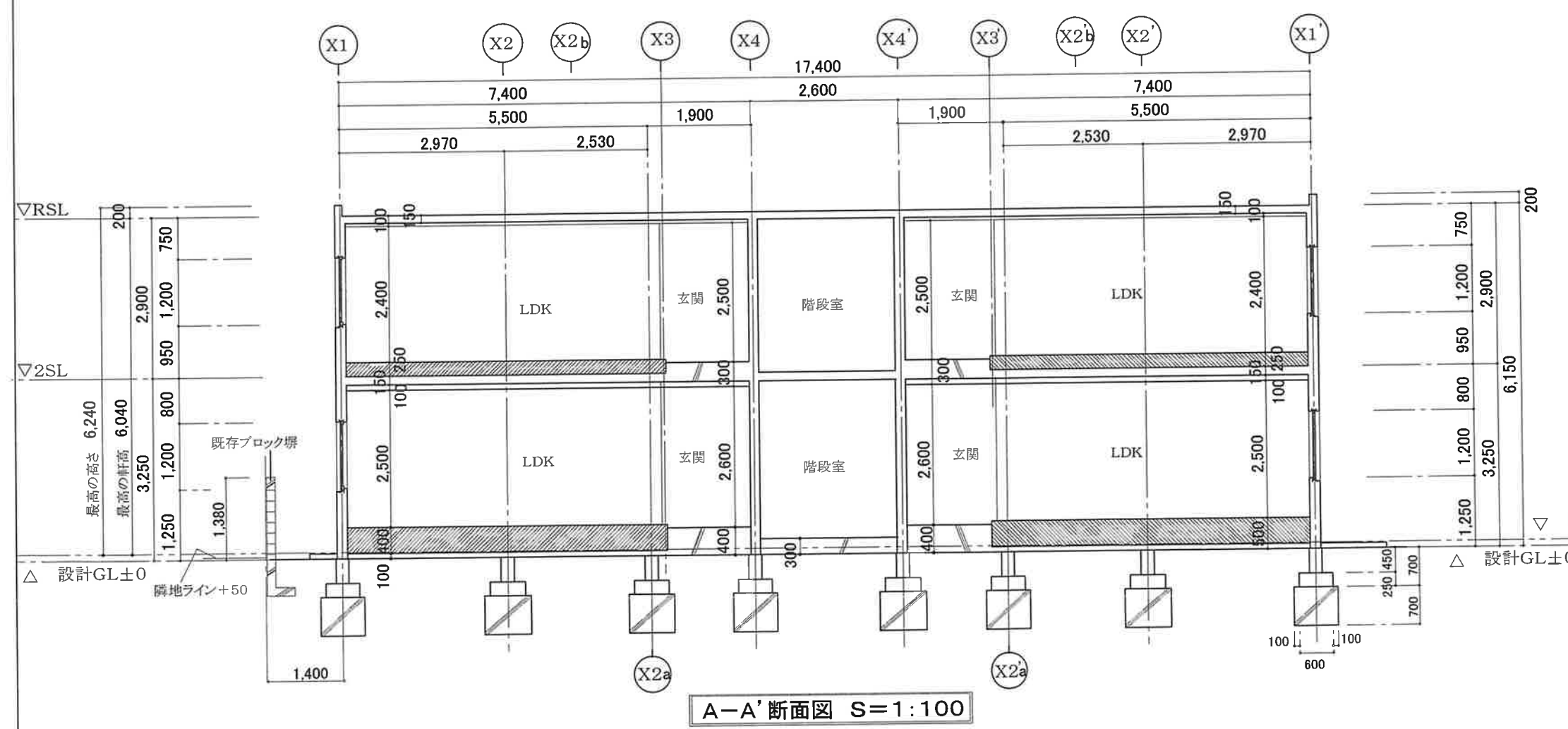
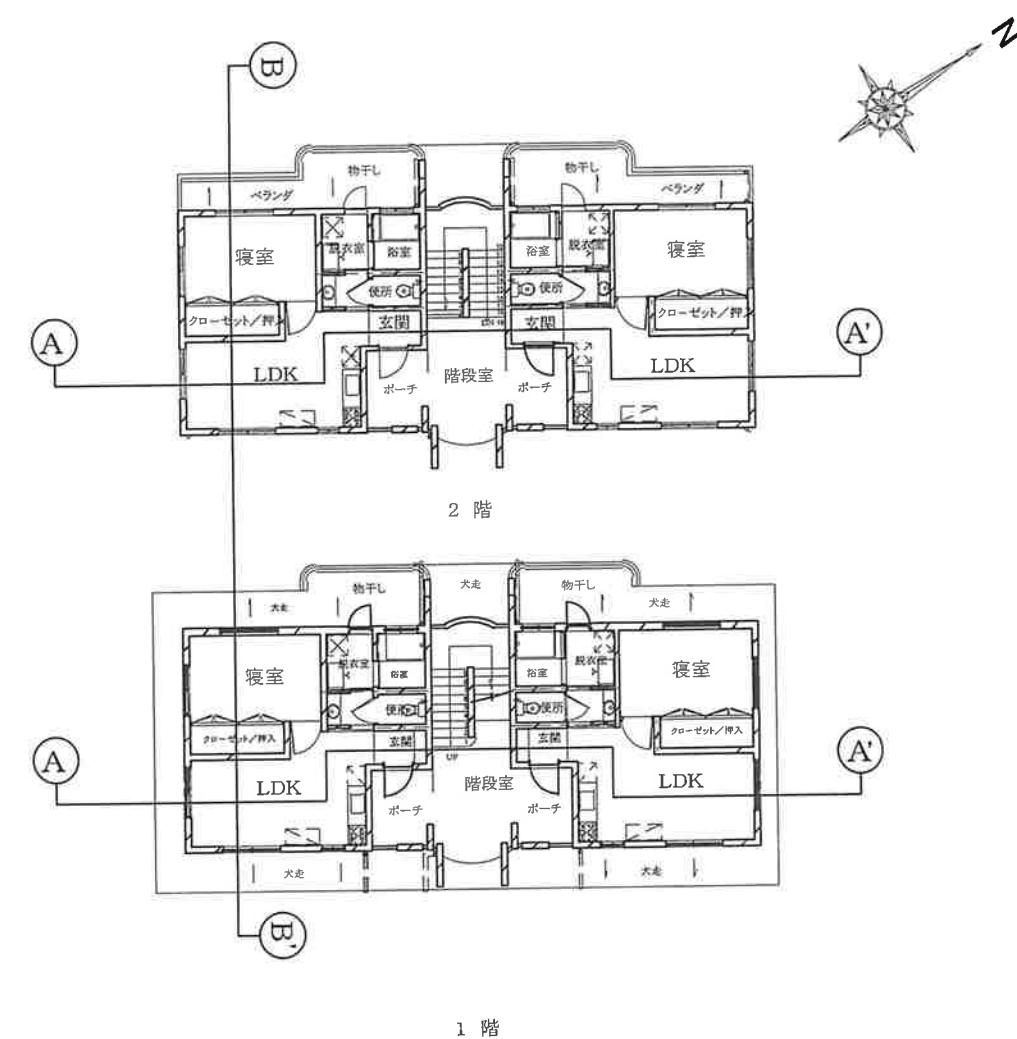
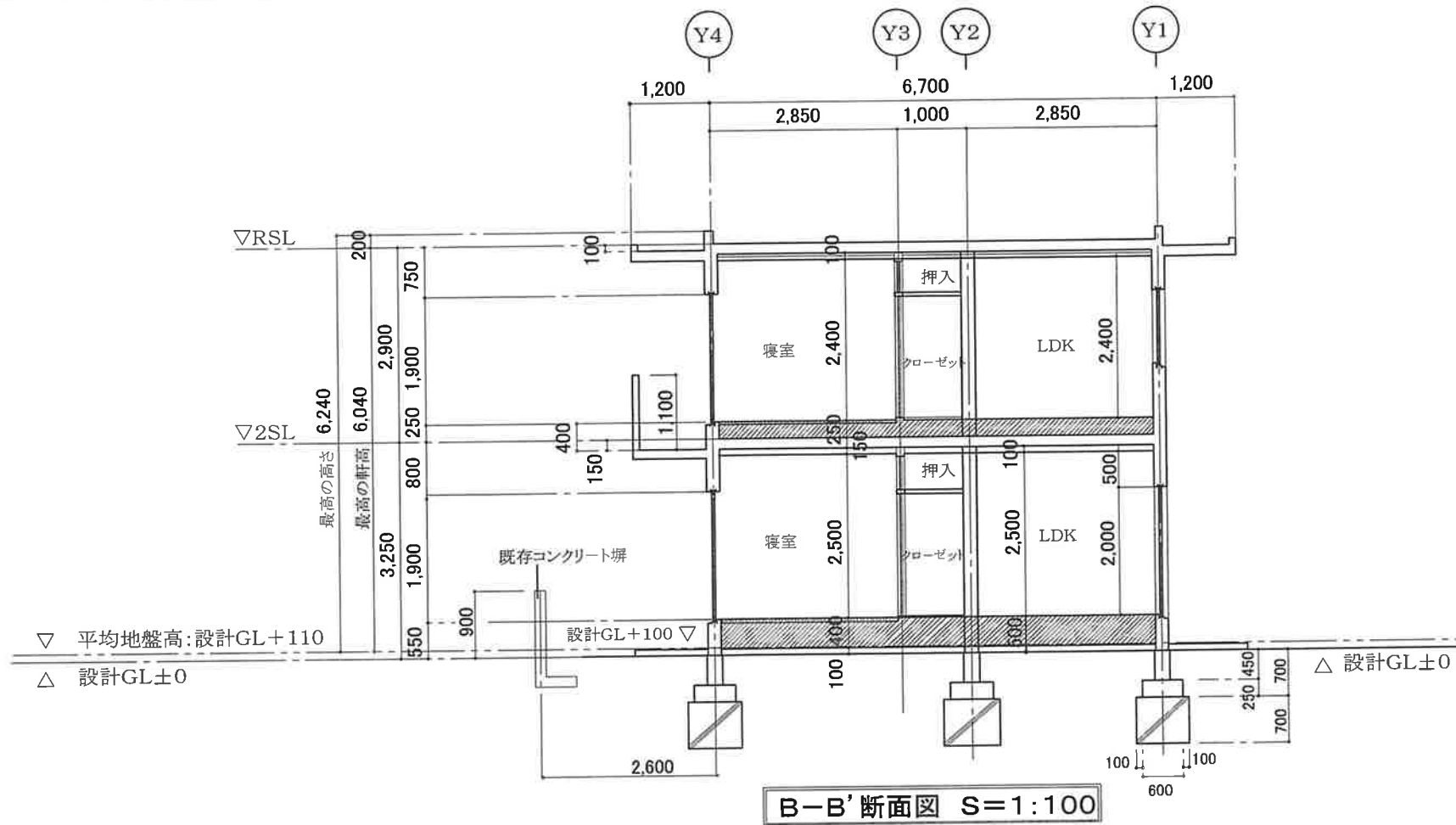


東側立面図 S=1:100

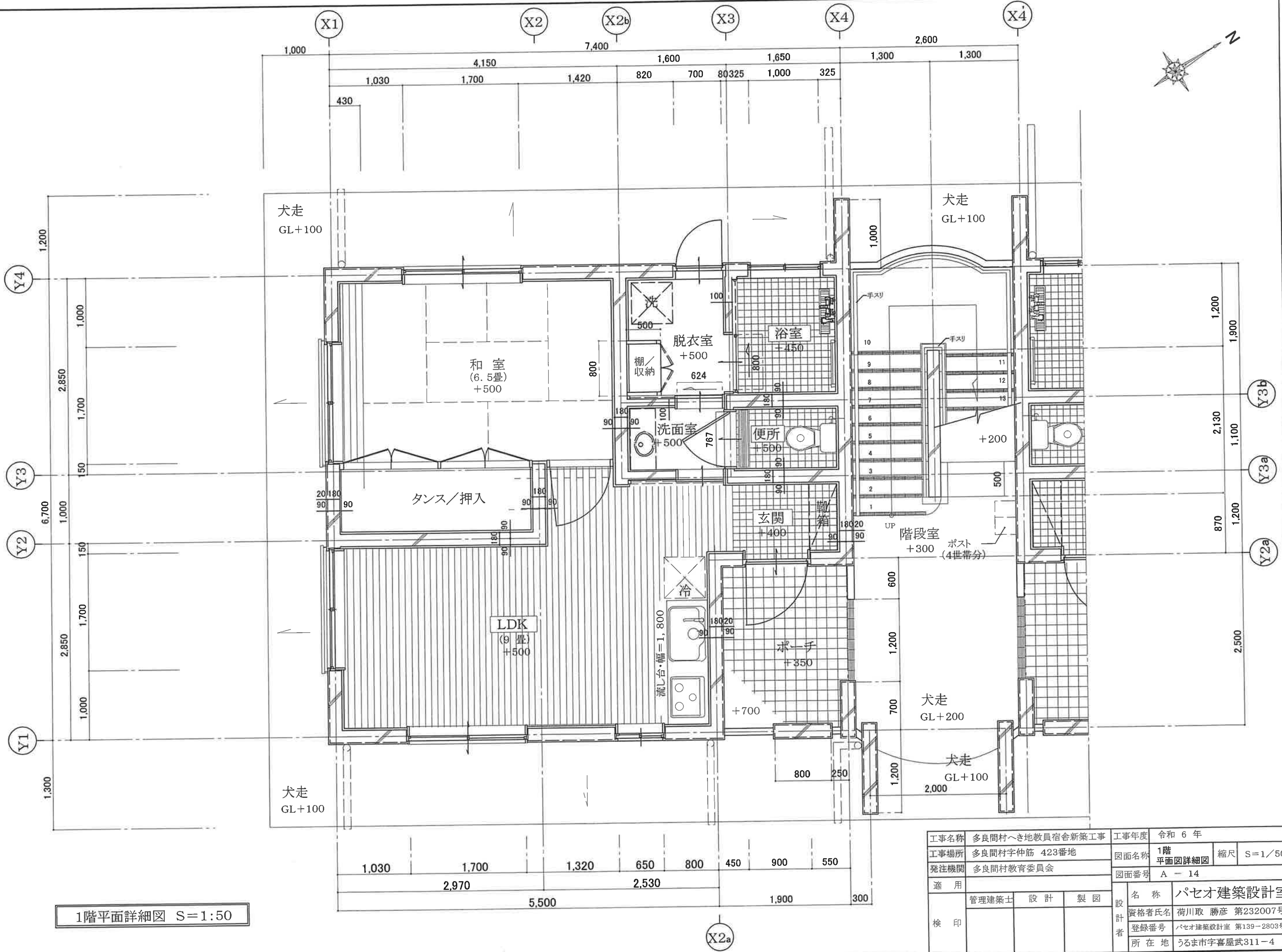


南側立面図 S=1:100

工事名称		多良間村へき地教員宿舎新築工事		工事年度	令和 6 年		
工事場所		多良間村字仲筋 423番地		図面名称	立面図	縮尺 S=1:100	
発注機関		多良間村教育委員会		図面番号	A - 12		
適 用				設 計 者	名 称 パセオ建築設計室		
検 印	管理建築士		設 計		製 図	資格者氏名 荷川取 勝彦 第232007号	
						登録番号 パセオ建築設計室 第139-2803号	
						所 在 地 うるま市字喜屋武311-4	

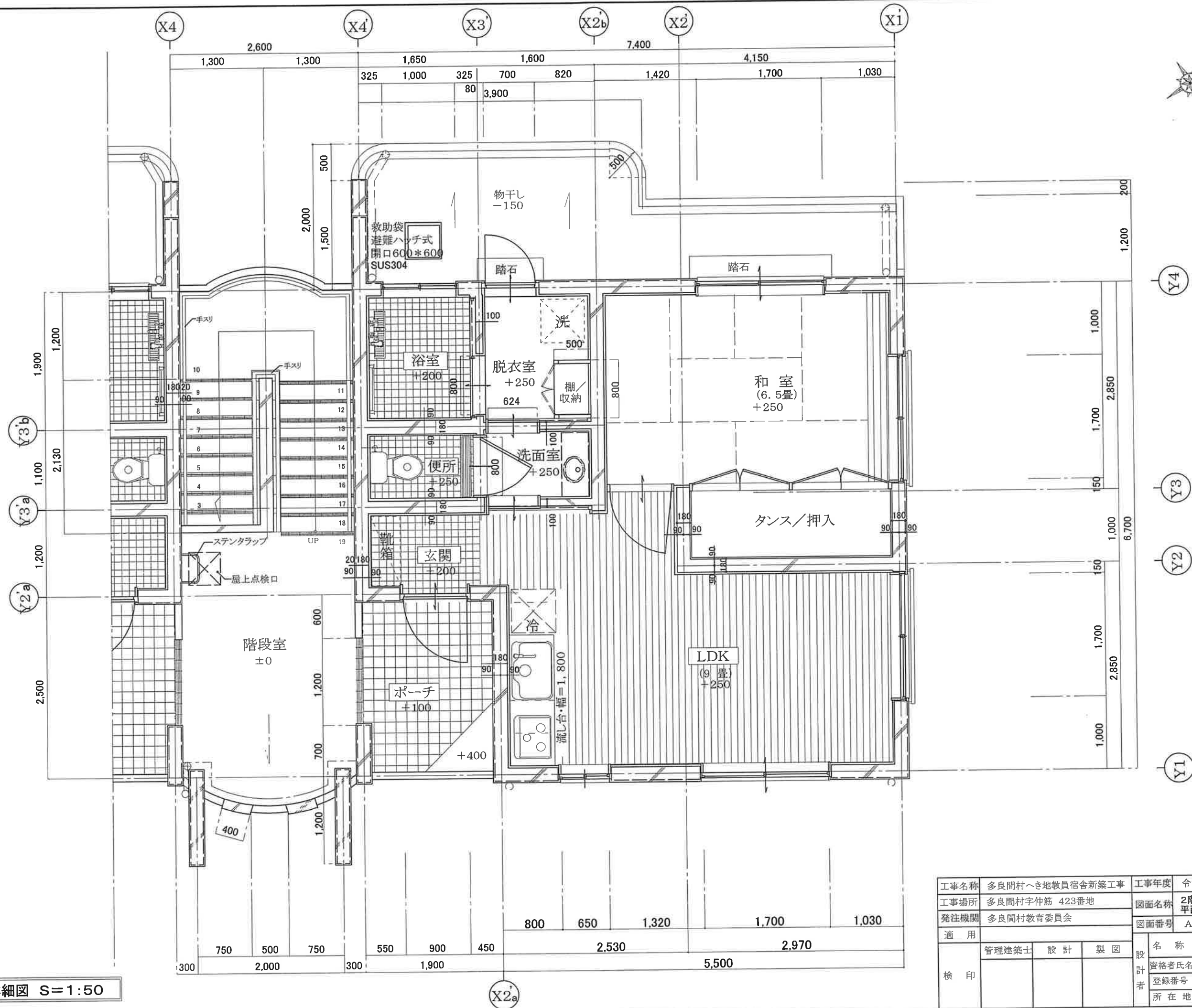


KEY PLAN			
1 階			
2 階			
KEY PLAN			
平均地盤高: 設計GL+110			
設計GL±0			
A - 13			
令和 6 年			
多良間村へき地教員宿舍新築工事			
多良間村字仲筋 423番地			
多良間村教育委員会			
管理建築士 設計 製図			
パセオ建築設計室			
パセオ建築設計室 第139-2803号			
うるま市字喜屋武311-4			



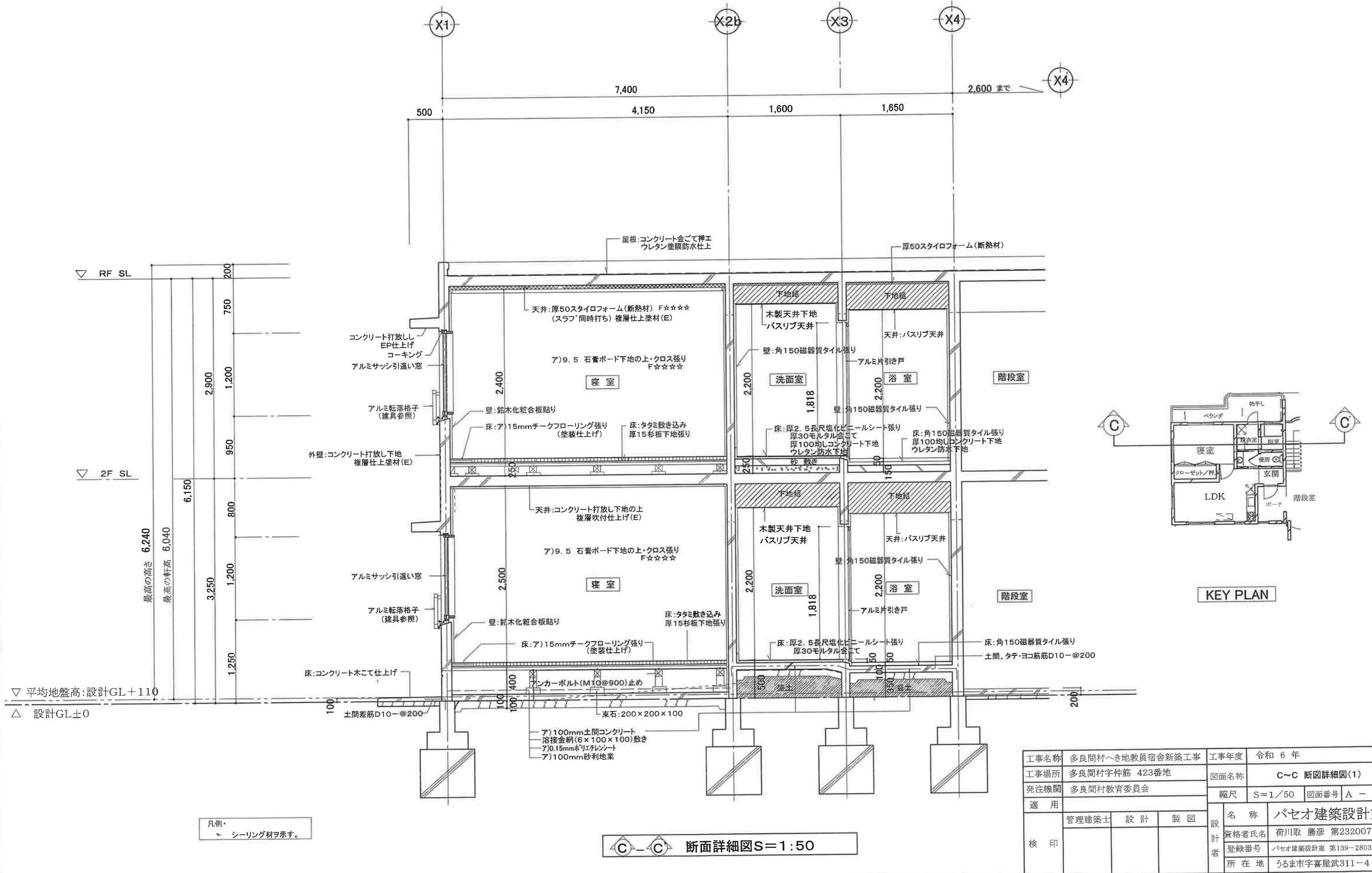
1階平面詳細図 S=1:50

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	1階平面図詳細図
発注機関	多良間村教育委員会	図面番号	A - 14
適用	管理建築士	設計	製図
検印		名称	パセオ建築設計室
		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4

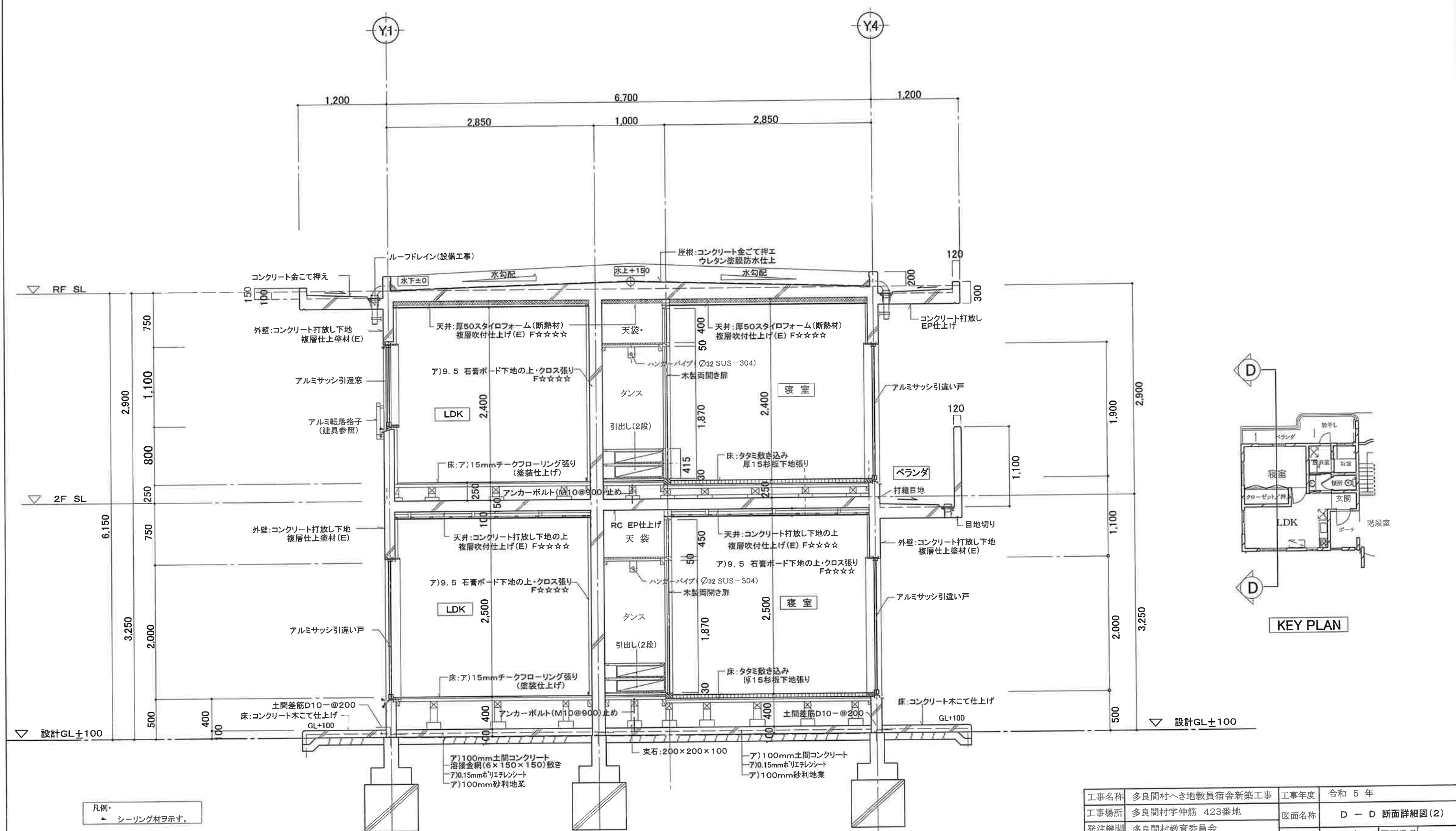


2階平面詳細図 S=1:50

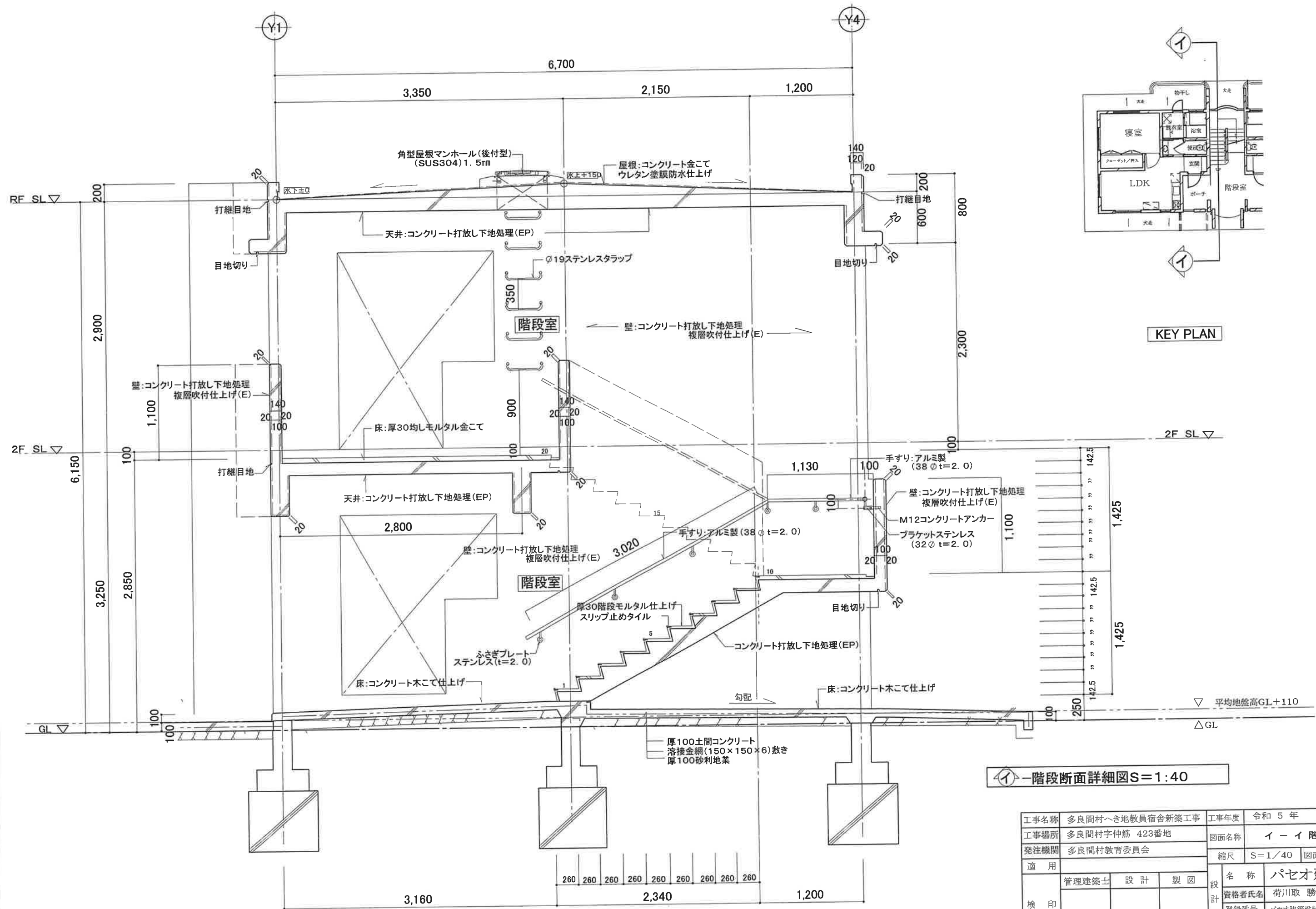
工事名称		多良間村へき地教員宿舎新築工事		工事年度		令和 6 年	
工事場所		多良間村字仲筋 423番地		図面名称		2階 平面図詳細図	縮尺 S=1/50
発注機関		多良間村教育委員会		図面番号		A - 15	
適用				設計者	名称	パセオ建築設計室	
検印	管理建築士	設計	製図		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所在地	うるま市字喜屋武311-4	



工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	C～C 断面詳細図(1)
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1/50 図面番号 A - 16
適用	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 パセオ建築設計室
検印		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4

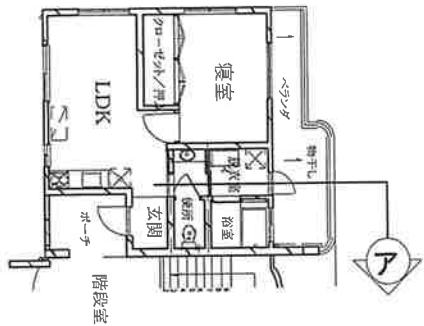


工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事			工事年度	令和 5 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423番地			図面名称	D - D 断面詳細図(2)		
発注機関	多良間村教育委員会			縮尺	S=1/50	図面番号	A - 17
適用				名称	パセオ建築設計室		
検印	管理建築士	設計	製図	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号		
				登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号		
				所在地	うるま市宇喜屋武311-4		

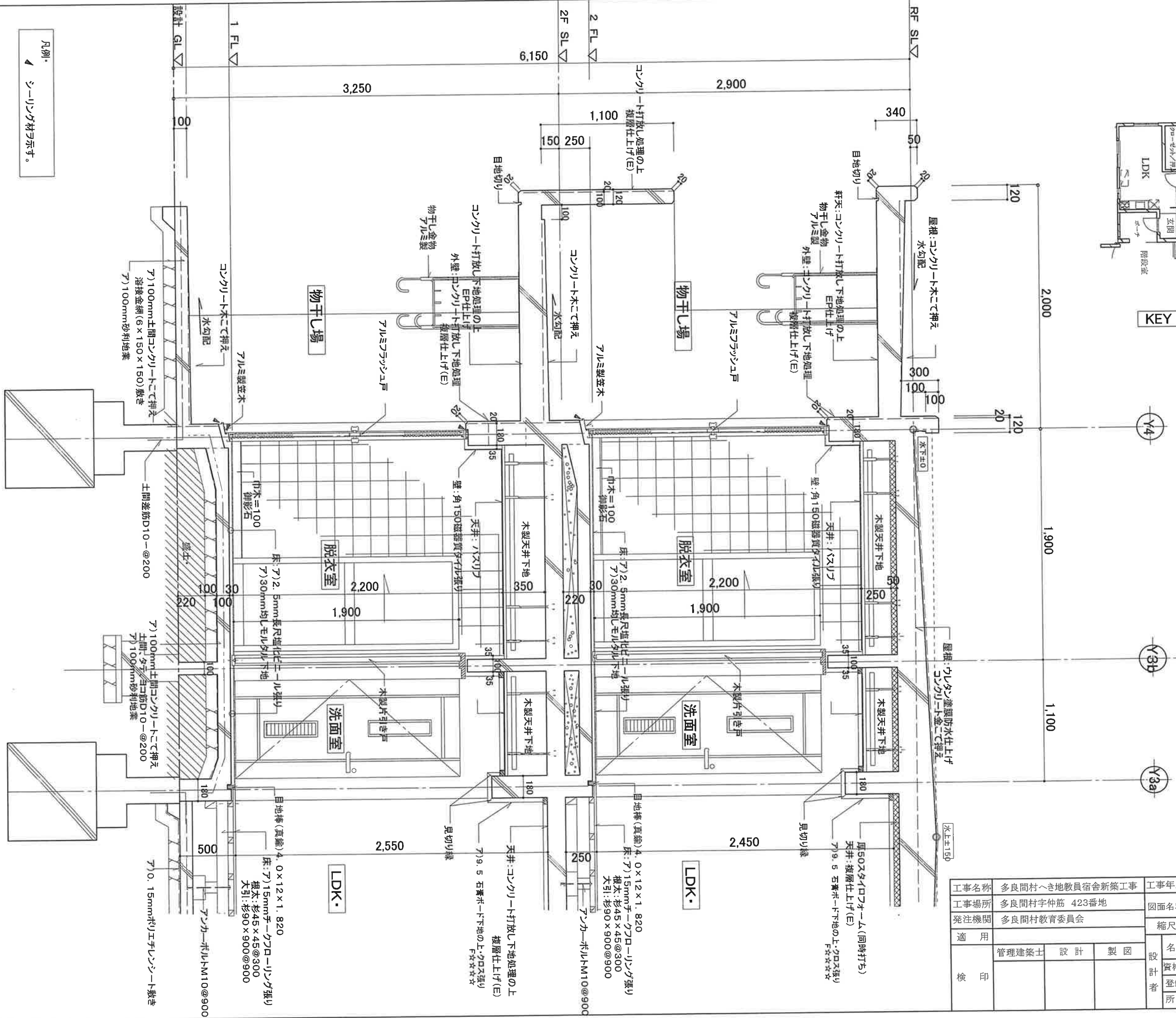


1F 階段断面詳細図 S=1:40

工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 5 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	イ イ 階段断面詳細図
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1/40 図面番号 A - 18
適用		名称	パセオ建築設計室
設計者	管理建築士 設計 製図	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
検印		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4



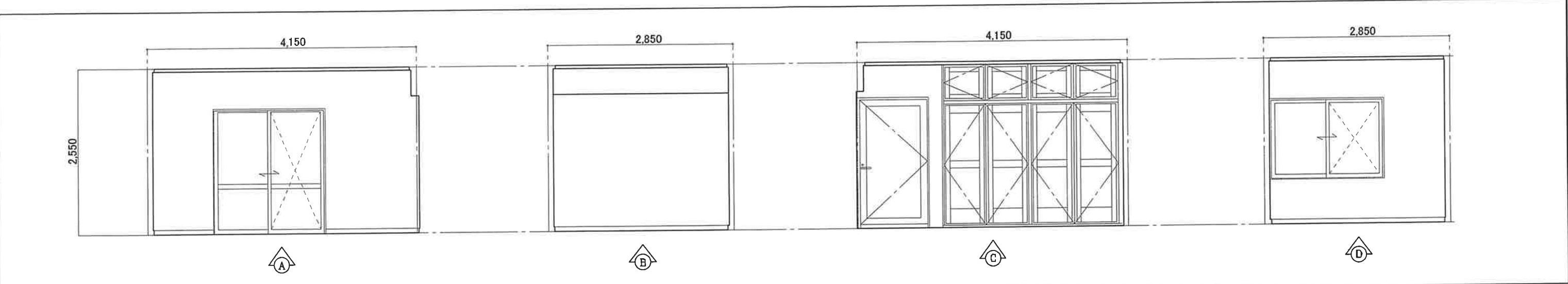
KEY PLAN



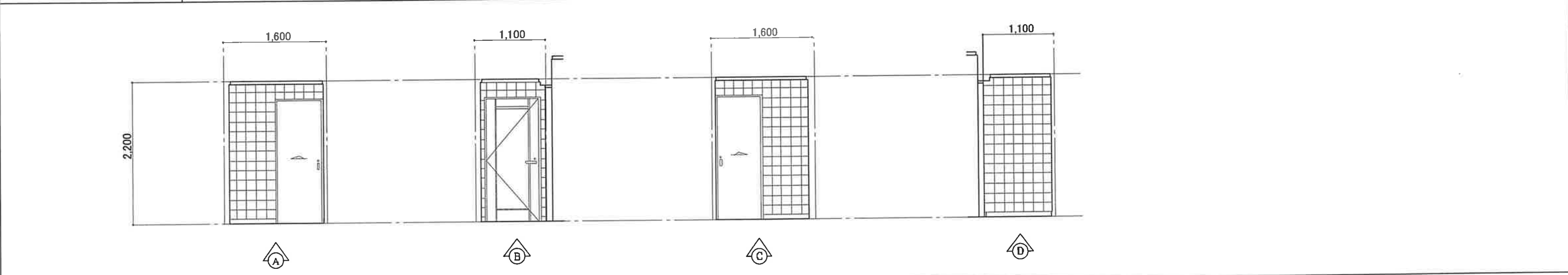
凡例・
シーリング材ヲ示す。

断面詳細図S=1:30

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 5 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	㊦ 断面図
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1/30 図面番号 A - 19
適用	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 パセオ建築設計室
検印		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市宇喜屋武311-4

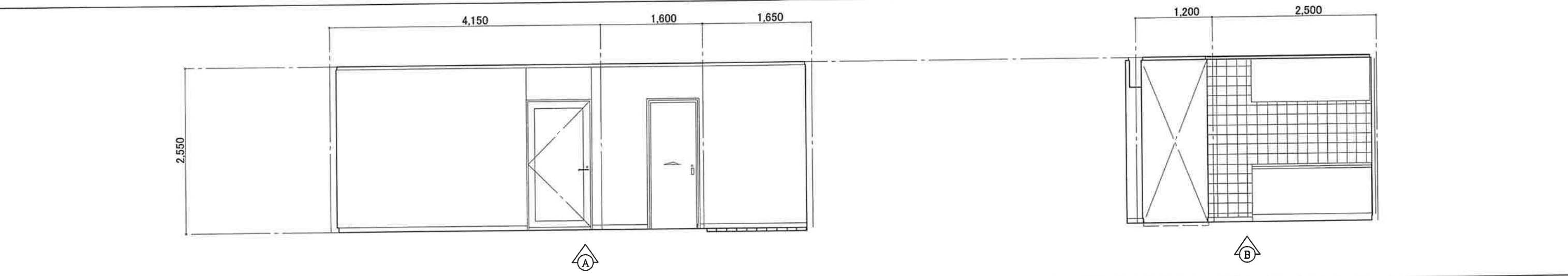


寝 室	床:ア)15チークフローリング張りF★★★★(塗装品)	巾木:H=75ヒバ CL	壁:ア)9.5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆	天井:コンクリート打ち放し下地処理の上 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆☆	廻り縁:木製 OS
-----	-----------------------------	--------------	-------------------------------	--------------------------------------	-----------

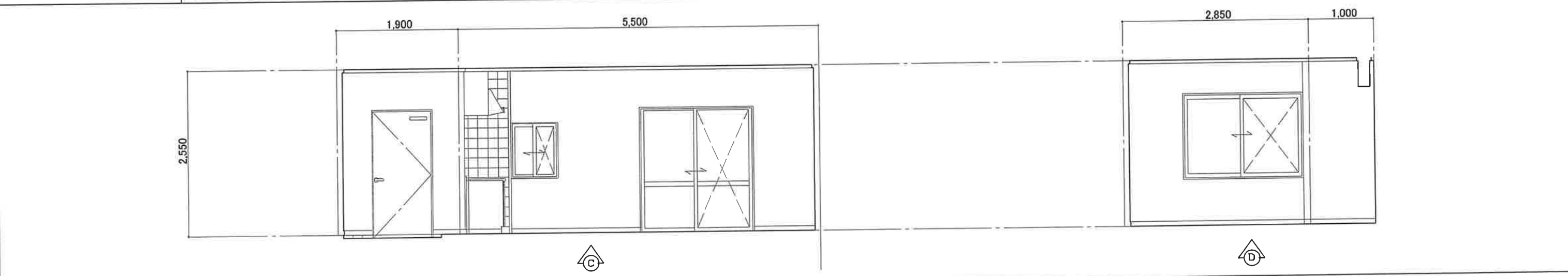


洗面室	床:厚2.5mm長尺塩化ビニール床シート張り	巾木:H=75ヒバ CL	壁:角150陶器質タイル張り	天井: 木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	廻り縁:塩ビ製
-----	------------------------	--------------	----------------	-------------------------	---------

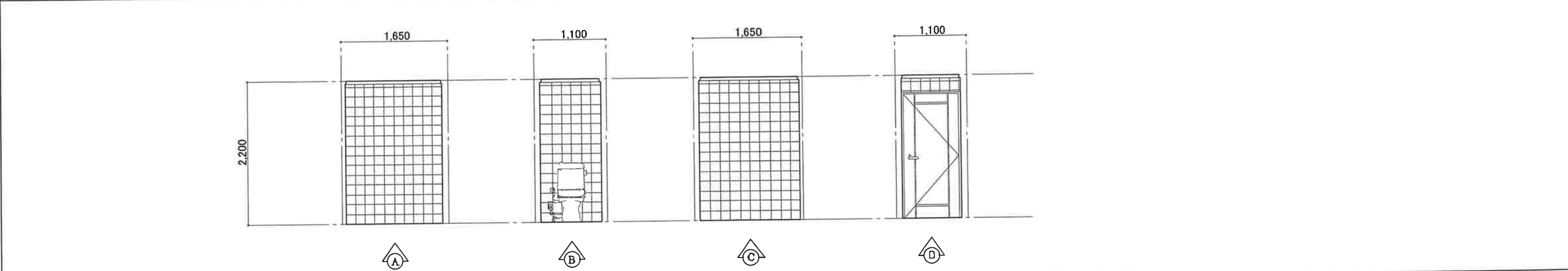
工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度	令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423番地			図面名称	展開図(1) 1F		
発注機関	多良間村教育委員会			縮尺	S=1/60	図面番号	A - 20
適 用				設 計 者	名 称	パセオ建築設計室	
検 印	管理建築士	設 計	製 図		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所 在 地	うるま市字喜屋武311-4	



LDK	玄関	床:ア)15チークフローリング張りF★★★★(塗装品) 床:磁器質タイル150角	巾木:H=75ヒバ CL	壁:ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆	天井:コンクリート打ち放し下地処理の上 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆☆	廻り縁:木製 OS
-----	----	---	--------------	--------------------------------	--------------------------------------	-----------

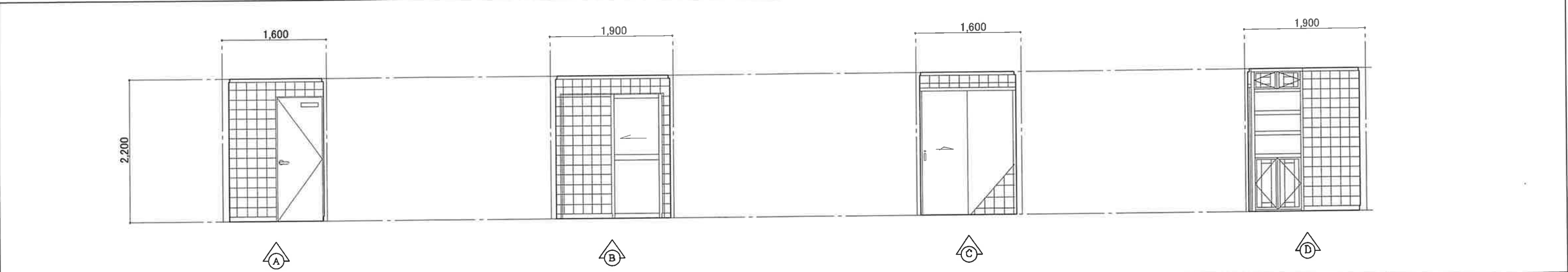


LDK	玄関	床:ア)15チークフローリング張りF★★★★(塗装品) 床:磁器質タイル150角	巾木:H=75ヒバ CL 巾木:H=50ヒバ CL	壁:ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆ 壁: 150角 磁器質タイル張り	天井:コンクリート打ち放し下地処理の上 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆☆	廻り縁:木製 OS
-----	----	---	------------------------------	--	--------------------------------------	-----------

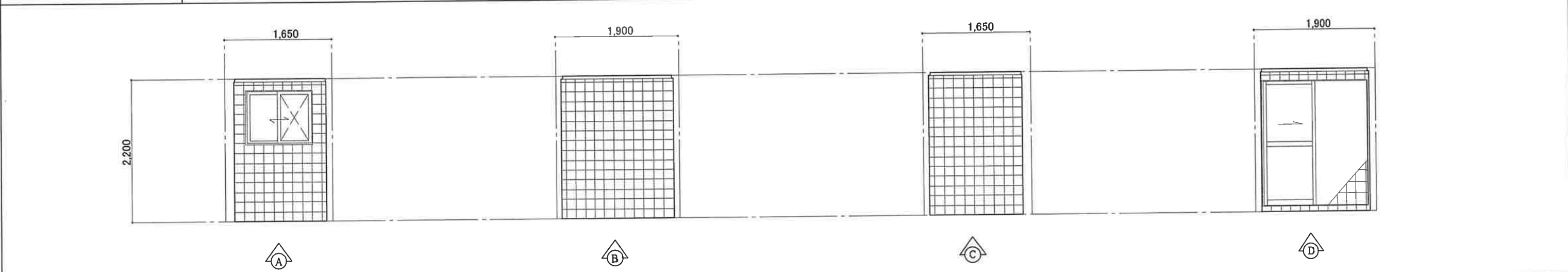


便 所	床:磁器質タイル150角	壁:陶器質タイル150角	天井: 木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	廻り縁:塩ビ製	工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
-----	--------------	--------------	-------------------------	---------	------	-----------------	------	--------

発注機関		多良間村教育委員会			縮尺		S=1/60		図面番号		A - 1	
適 用					設計者	名 称		パセオ建築設計室				
検 印	管理建築士	設 計		製 図		資格者氏名		荷川取 勝彦 第232007号				
						登録番号		パセオ建築設計室 第189-2803号				
						所 在 地		うるま市字喜屋武311-4				

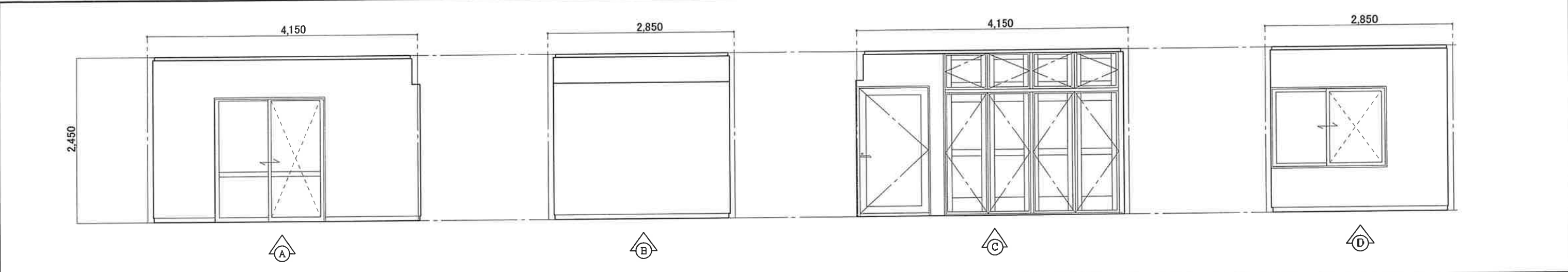


脱衣室	床:厚2.5mm長尺塩化ビニール床シート張り	巾木:H=75ヒバ CL	壁:陶器質タイル150角	天井:バスリブ天井	廻り縁:塩ビ製
-----	------------------------	--------------	--------------	-----------	---------

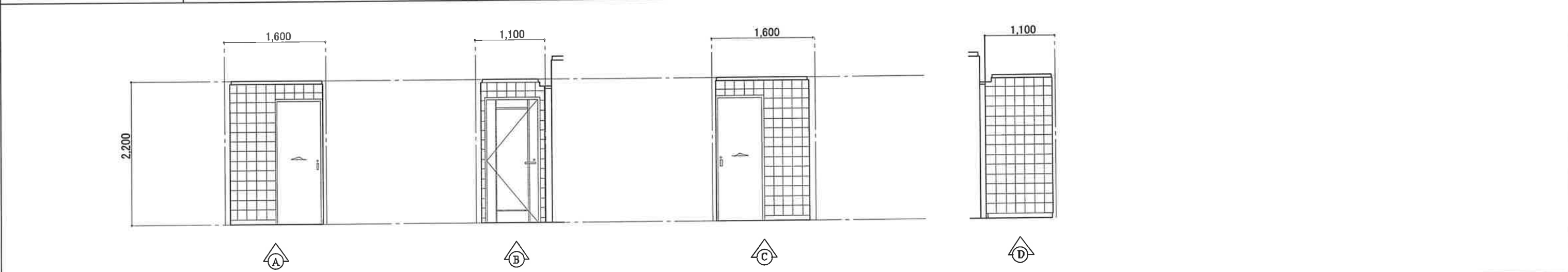


浴室	床:磁器質タイル150角	壁:陶器質タイル150角	天井:バスリブ天井	廻り縁:塩ビ製
----	--------------	--------------	-----------	---------

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度		令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423番地			図面名称		展開図(3) 1F		
発注機関	多良間村教育委員会			縮尺		S=1/60	図面番号	A - 22
適 用								
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	パセオ建築設計室		
					資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号		
					登録番号	パセオ建築設計室 第189-2803号		
					所 在 地	うるま市字喜屋武311-4		

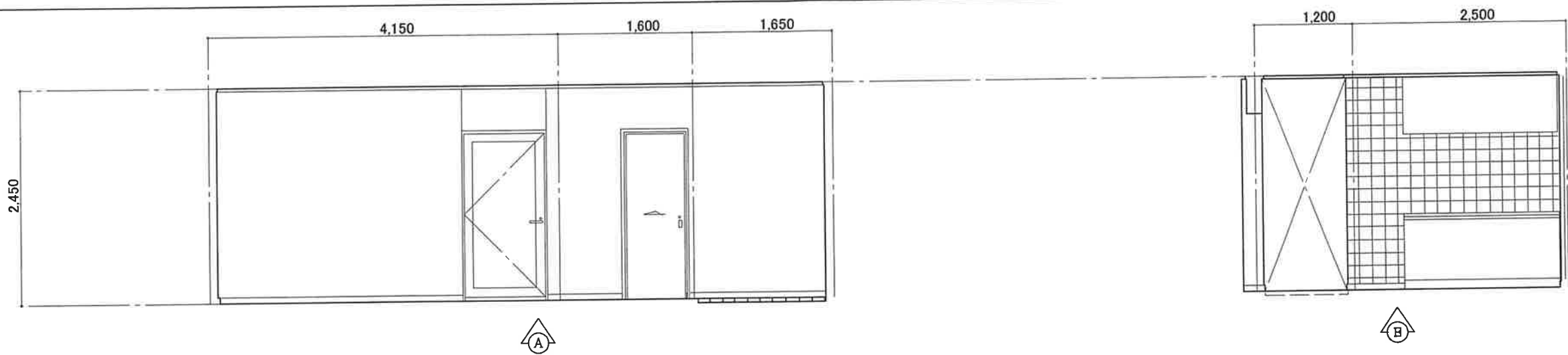


寝 室	床:ア)15チークフローリング張りF★★★★(塗装品)	巾木:H=75ヒバ CL	壁:ア)9. 5 石膏ボード下地の上・クロス張り F☆☆☆☆	天井: 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆☆	廻り縁:木製 OS
-----	-----------------------------	--------------	--------------------------------	----------------------	-----------

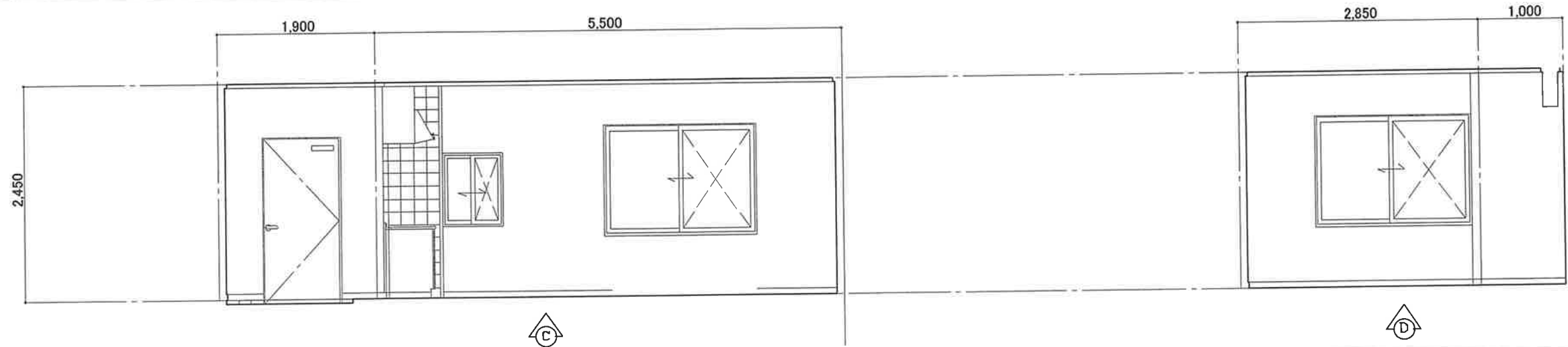


洗面室	床:厚2. 5mm長尺塩化ビニール床シート張り	巾木:H=75ヒバ CL	壁:角150陶器質タイル張り	天井: 木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆☆	廻り縁:塩ビ製
-----	-------------------------	--------------	----------------	-------------------------	---------

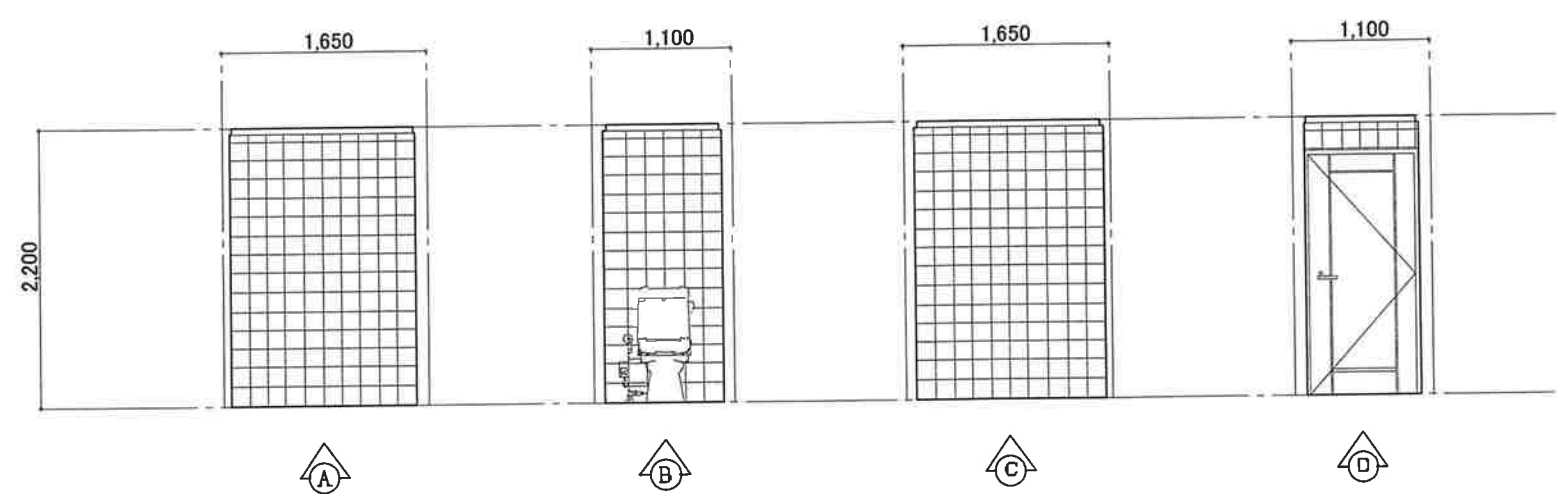
工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事			工事年度	令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423番地			図面名称	展開図(1) 2F		
発注機関	多良間村教育委員会			縮尺	S=1/60	図面番号	A - 23
適 用				設 計 者	名 称	パセオ建築設計室	
検 印	管理建築士	設 計	製 図		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所 在 地	うるま市字喜屋武311-4	



LDK	玄関	床:ア)15チークフローリング張りF★★★★(塗装品) 床:磁器質タイル150角	巾木:H=75ヒバ CL 巾木:H=50ヒバ CL	壁:ア)9.5 石膏ボード下地の上・クロス張り 150角 磁器質タイル張り	F☆☆☆☆	天井:複層吹付仕上げ(E)	廻り縁:木製 OS
-----	----	---	------------------------------	--	-------	---------------	-----------



LDK	玄関	床:ア)15チークフローリング張りF★★★★(塗装品) 床:磁器質タイル150角	巾木:H=75ヒバ CL 巾木:H=50ヒバ CL	壁:ア)9.5 石膏ボード下地の上・クロス張り 150角 磁器質タイル張り	F☆☆☆☆	天井:複層吹付仕上げ(E)	廻り縁:木製 OS
-----	----	---	------------------------------	--	-------	---------------	-----------



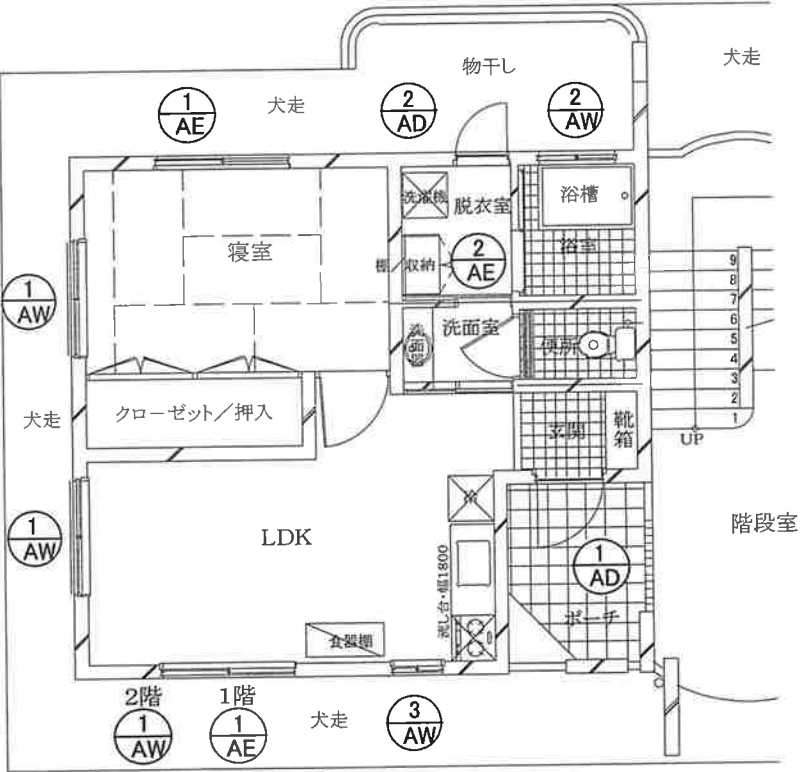
便 所	床:磁器質タイル150角	壁:陶器質タイル150角	天井:バスリブ天井	廻り縁:塩ビ製	工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
					工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	展開図(2) 2F
					発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1/60 図面番号 A - 24
					適 用		設 計 者	名 称 パセオ建築設計室
					検 印	管理建築士 設 計 製 図	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
							登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
							所 在 地	うるま市字喜屋武311-4



工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度	令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423番地			図面名称	展開図(3) 2F		
発注機関	多良間村教育委員会			縮尺	S=1/60	図面番号	A - 25
適 用							
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	パセオ建築設計室	
					資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所 在 地	うるま市字喜屋武311-4	

符号・名称	1AD TOSTEM 玄関ドア 片開き M12型 (MINIMAL STYLE)	2AD アルミ片開キフラッシュ戸	1AE アルミ引違い戸	2AE TOSTEM 浴室片引キ戸 (外引き型)	1AW アルミ引違い窓
形状・寸法					
位置・数量	玄 関4箇所	脱衣室4箇所	LDK・寝室6箇所	浴 室4箇所	寝 室 ・ L D K10箇所
見込・仕上	規格品	アルミサッシ (シルバー) 100mm	アルミサッシ (シルバー) 100mm	シルバー	アルミサッシ (シルバー) 70mm
ガ ラ ス	規格品	厚6mm型板	上部、厚5mmフロート／下部、厚6mm型板	付属品	厚5mmフロート板ガラス
金 物	規格品	付属金物一式	クレセント ×2	付属品	クレセント ×1
備 考	カラー チェリーウッド		可動スクリーン戸付		可動スクリーン戸付

符号・名称	2AW アルミ引違い窓	3AW アルミ引違い窓
形状・寸法		
位置・数量	浴室4箇所	L D K4箇所
見込・仕上	アルミサッシ (シルバー) 70mm	アルミサッシ (シルバー) 70mm
ガ ラ ス	厚6mm型板ガラス	厚6mm型板ガラス
金 物	クレセント ×1	クレセント ×1
備 考	可動スクリーン戸付	可動スクリーン戸付



KEYPLAN: NOSCALE

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	金属製建具表 縮尺 S=1:100
発注機関	多良間村教育委員会	図面番号	A - 26
適 用		設 計	名 称 パセオ建築設計室
検 印	管理建築士	設 計	資格者氏名 荷川取 勝彦 第232007号
		製 図	登録番号 パセオ建築設計室 第139-2803号
			所 在 地 うるま市字喜屋武311-4

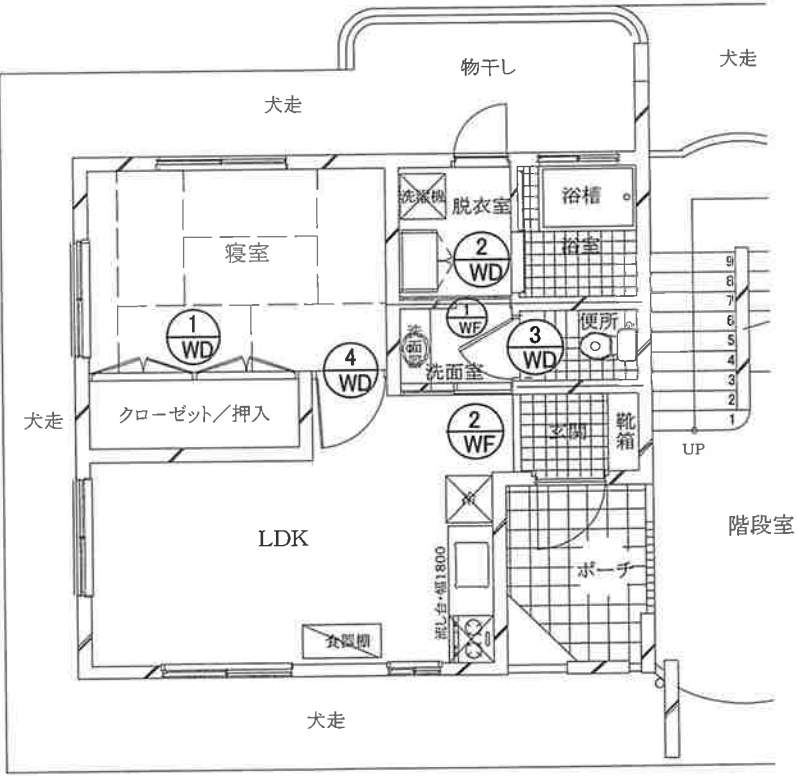
※特記仕様書・・

- 本表に記載してある建具は、総て施工図及び構造計算を提出して、係員の承諾を得た後に制作施工する事。
- 本工事に使用する金物は総て見本を提出の上承諾を得る事。
- ドア及びサッシ廻りコーキングは、変成シリコン系シーリングとする事。
- アルミサッシ及びアルミドアのアンカー (D10-400@)は溶接にて行う事。
- アルミサッシ及びガラス等の養生及び清掃を入念に行う事。
- 施工者は製品を現場搬入する際、前もって製品検査を受け、合格したもののみ現場搬入を行う事。
- ガラスは見本品を提出して、係員の承諾を受ける事。
- ガラスシーリング材 (FIX) シリコン系シーリングを使用する事。
- 錠は美和または、同等品以上とする。(その他の、金物のメーカー記入品も同じ)

- 本表にメーカー指定のある金物は係員の承諾を得て同等品以上とすることができる。
- アルミ枠のコンクリート及びモルタル面に接する部分は、絶縁塗装を行う事。
- 建具金物等の取付部分は、ビス止め用裏板補強を行う事。
- ステンレス製品は、総てSUS304を使用する事。
- (枠見込み70mm) 性能、耐風圧性 (Pa) S-5 (2400)、気密性 A-3 (2)、水密性 (Pa) W-4 (350)
(枠見込み100mm): 性能、耐風圧性 (Pa) S-6 (2800)、気密性 A-4 (2)、水密性 (Pa) W-5 (500)
- 片引き及び引違いの建具は開閉の時、手・指をはさまないように工夫する事。
- 錠前については、マスターキーを制作する事。(各3個)
- 上記以外にも共通仕様書等にならない施工する事。
- 本法の寸法は、基準を示すもので施工に際しては現場寸法を出して正確に求める事。

符号・名称	1 WD 木製両開キ戸		2 WD 木製両開キ戸		3 WD TOSTEM木製片開キ戸 (LYA)		1 WF TOSTEM木製片引キ戸 (LAA)	
形状・寸法								
位置・数量	寝 室4箇所		脱衣室4箇所		便所4箇所		脱衣室4箇所	
見込・仕上	片面銘木・ラワン合板27mm		片面銘木・ラワン合板27mm		規格品		規格品	
ガ ラ ス					カスミカ°ラス			
金 物	丁番20枚 マグネットキャッチ		丁番6枚 マグネットキャッチ		規格品		規格品	
備 考	カラークリエペール		カラークリエペール		カラークリエペール		カラークリエペール	

符号・名称	4 WD TOSTEM木製片開キ戸 (LAA)		2 WF TOSTEM木製片引キ戸 (LGC)	
形状・寸法				
位置・数量	寝室4箇所		洗面室4箇所	
見込・仕上	規格品		規格品	
ガ ラ ス			カスミカ°ラス	
金 物	規格品		規格品	
備 考	カラークリエペール		カラークリエペール	



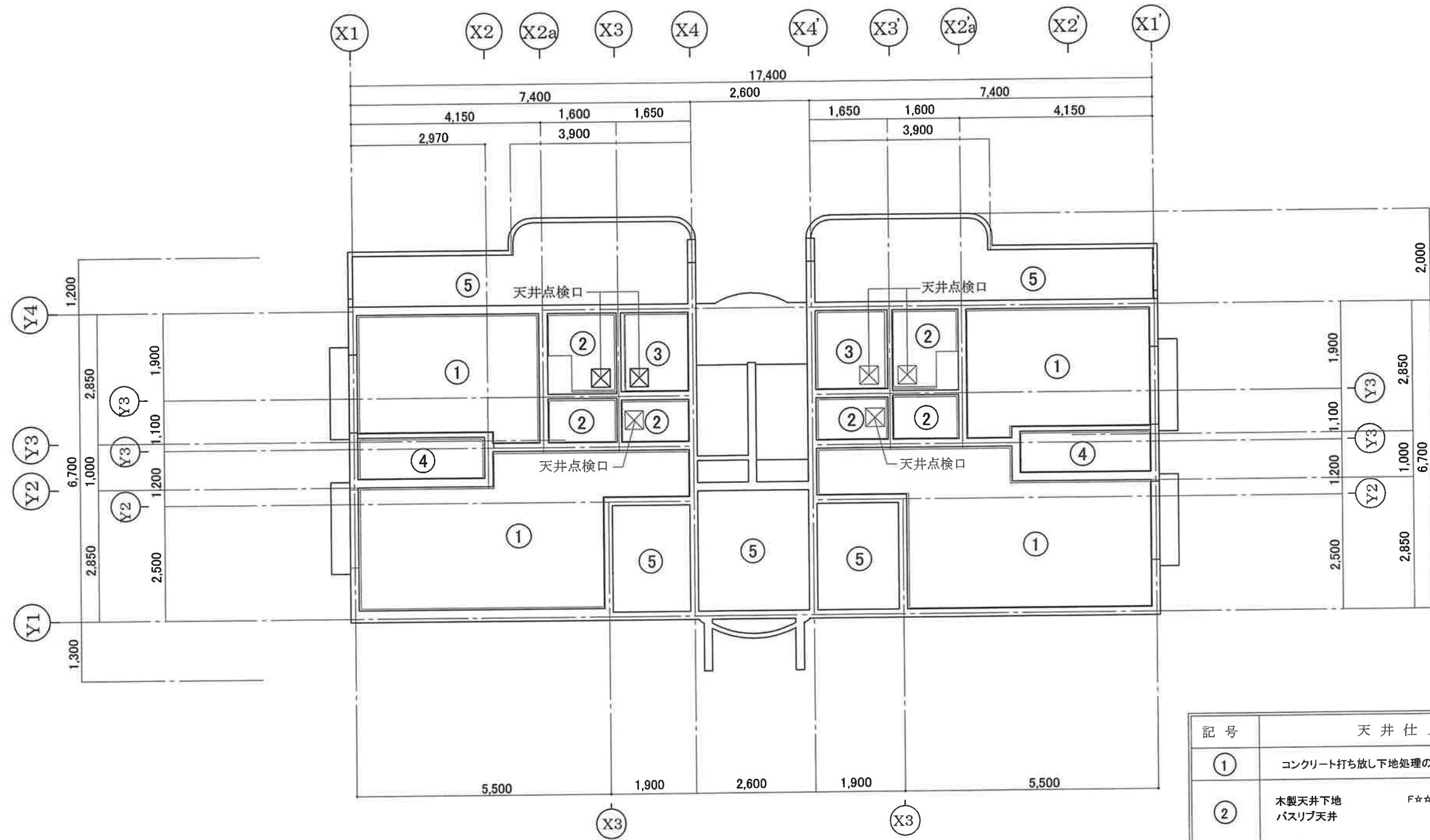
KEYPLAN: NOSCALE

※特記仕様書・・

1. 建具表姿図は特記なき限り内観図とし、各建具寸法は原則として建具枠内寸法とする。
2. 各建具製作前に各建具の施工図を作成し、監督員へ提出し承認を得る。
3. 両開きフラッシュドアの召し合せ部分は定規縁(合じゃくりを含む)とする。
4. 壁当たりとなる開きドアは、仕上げ壁面からの寸法を100mm程度とし、ドアークローザーの有無に関わらず戸当たり、又は、あおり止めを設ける。

5. 各建具に使用する金物は特記なき限りステンレス(SUS－304)とする。
6. 建具表の塗装色・柄は監督員の指示によるものとする。
7. 各建具のガラスの止め材は両面ともシリコン系コーキングを使用する事。
8. その他不明な点は、監督員の指示によるものとする。

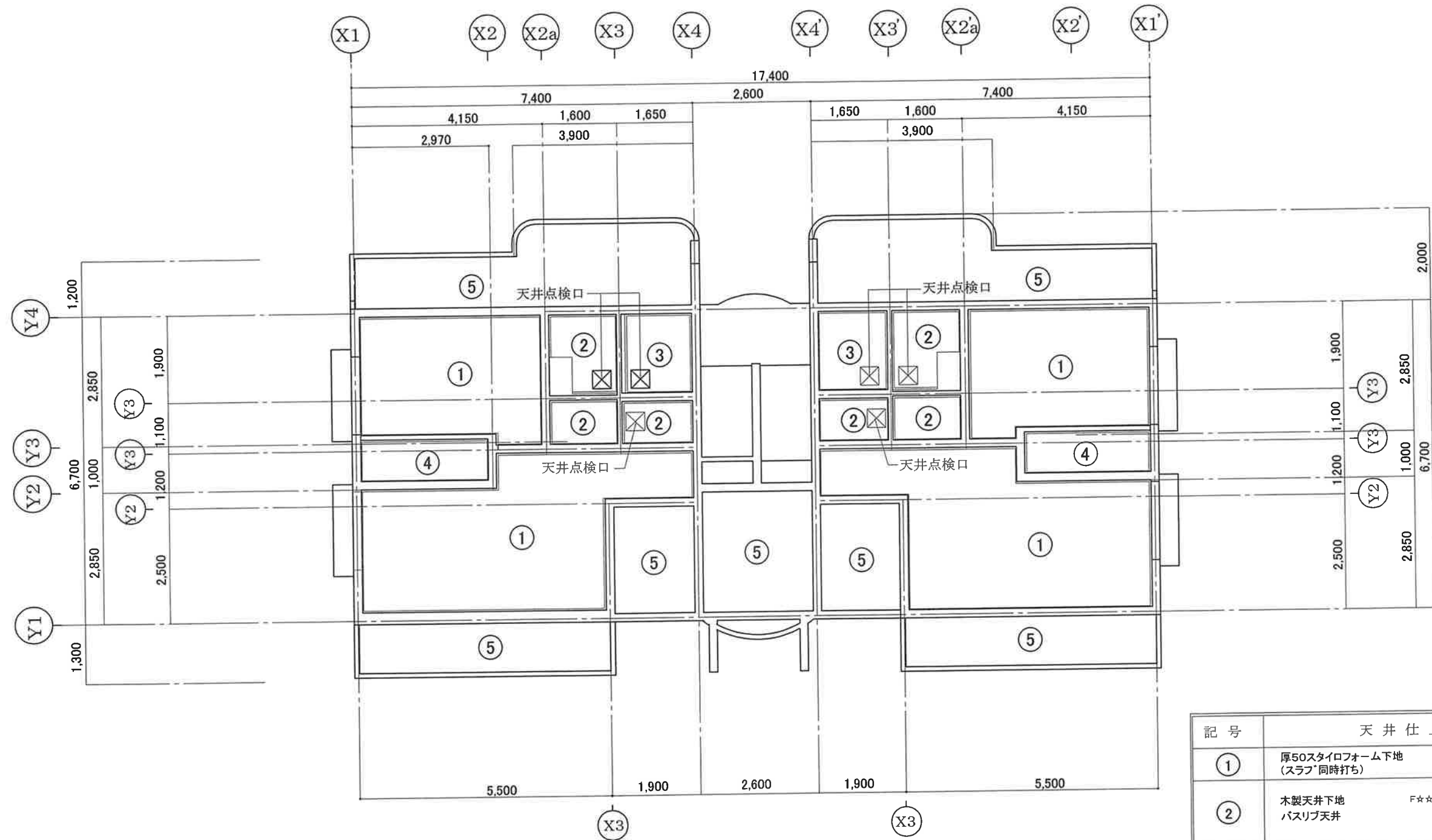
工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度	令和 6 年		
工事場所	多良間村字仲筋 423番地			図面名称	木製建具表	縮尺	S=1:100
発注機関	多良間村教育委員会			図面番号	A - 27		
適 用				設 計 者	名 称	パセオ建築設計室	
検 印	管理建築士	設 計	製 図		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
					登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
					所 在 地	うるま市宇喜屋武311-4	



1階天井伏図 S=1:100

記 号	天 井 仕 上 表
①	コンクリート打ち放し下地処理の上 複層吹付仕上げ(E) F☆☆☆
②	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆
③	木製天井下地 バスリブ天井 F☆☆☆
④	ア)5.0mmラワン合板張り
⑤	コンクリート打放し下地処理の上 EP 仕上 F☆☆☆

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	1階 天井伏図
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1/100 図面番号 A - 28
適 用		名 称	パセオ建築設計室
検 印	管理建築士 設 計 製 図	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所 在 地	うるま市字喜屋武311-4



2 階天井伏図 S=1:100

記 号	天 井 仕 上 表		
①	厚50スタイロフォーム下地 (スラブ'同時打ち)	複層吹付仕上げ(E)	F★★★★
②	木製天井下地 バスリブ天井		F★★★★
③	木製天井下地	バスリブ天井	F★★★★
④	ア) 5.0mmラワン合板張り		
⑤	コンクリート打放し下地処理の上	EP 仕上	F★★★★

工事名称		多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度		令和 6 年					
工事場所		多良間村字仲筋 423番地			図面名称		2 階 天井伏図					
発注機関		多良間村教育委員会			縮尺		S=1/100		図面番号		A - 29	
適 用												
検 印		管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	パセオ建築設計室					
						資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号					
						登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号					
						所 在 地	うるま市字喜屋武311-4					

角型屋根マンホール(後付型)

S=1:30

仕様	ステンレス後付型
材質	ステンレス鋼板(SUS304)1.5mm
寸法	開口500×500 外枠900×900
仕上	磨き

集合郵便受箱(SA型)

汲み取槽

汲み取槽容量
汲み取槽容量 4.70×2.00×2.40=22.56m3
1日当り計画汚水量 14人×0.2=2.8m3
汲み回数 22.56÷2.8=8.0日
8日に1回汲取りする

汲み取槽 平面図 S=1:50

水槽用マンホール鉄蓋(完全防水型 T-6)

断面配筋図 S=1:50

バルコニー物干金物(固定式)

S=1:20

材質:アルミA6063S
押出型材
仕上:アルマイト処理
色:シルバー

丸型フード付ガラリ

S=1:10

材質:ステンレス(SUS304)0.5mm
丸型フード付ステンレス網付

アンテナ基礎詳細図

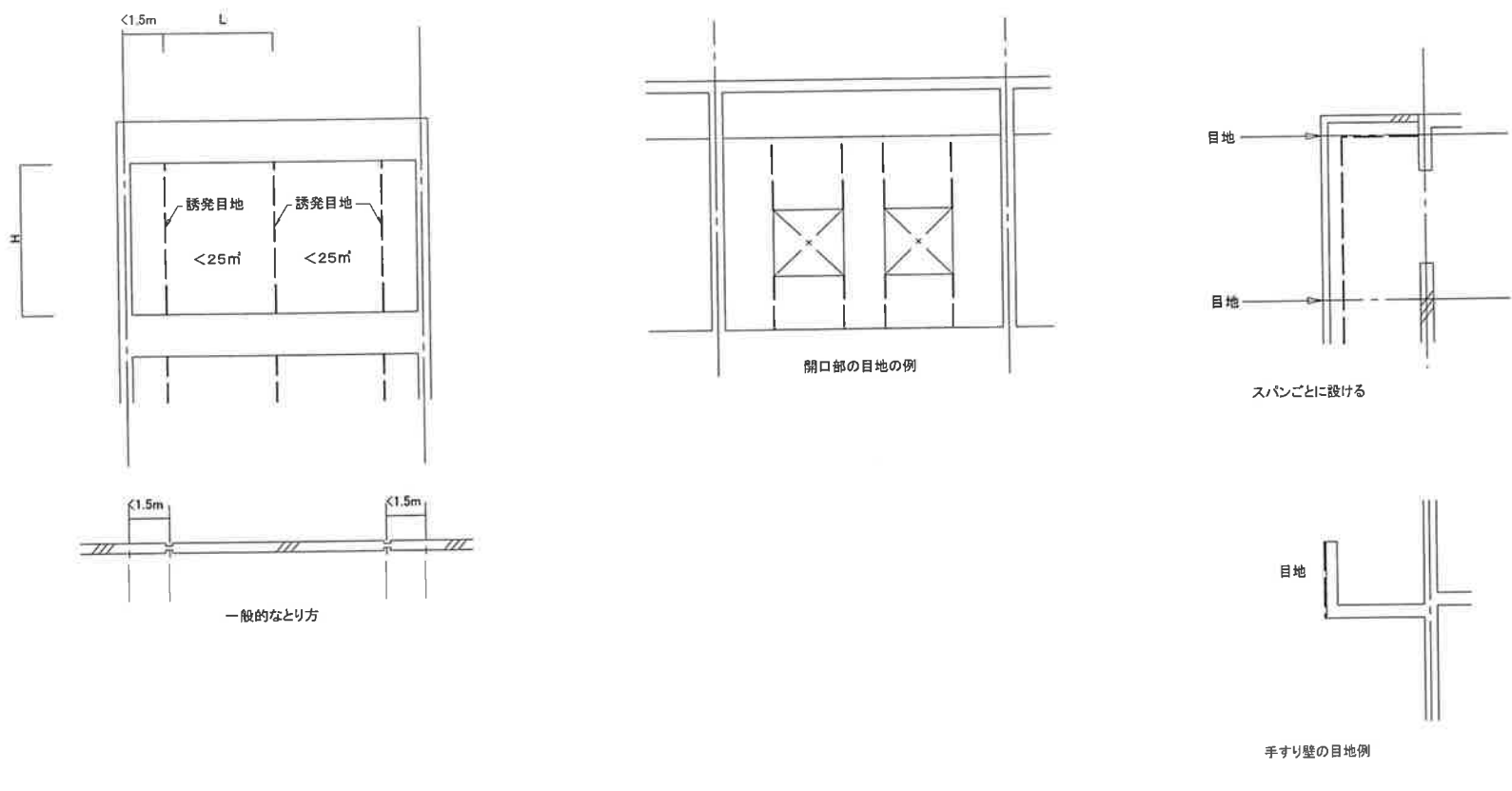
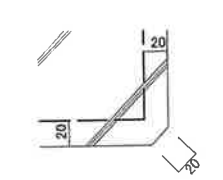
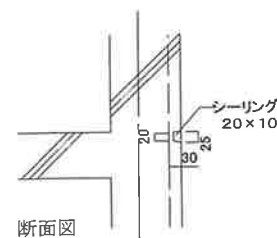
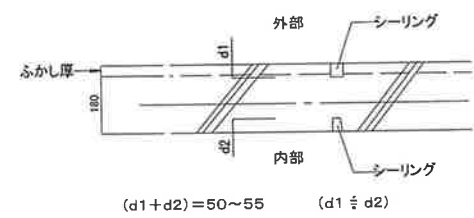
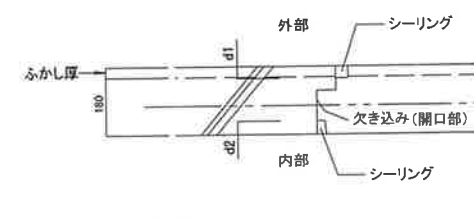
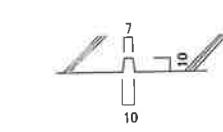
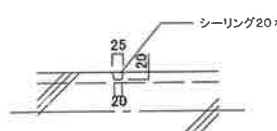
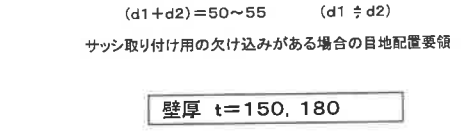
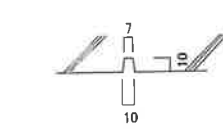
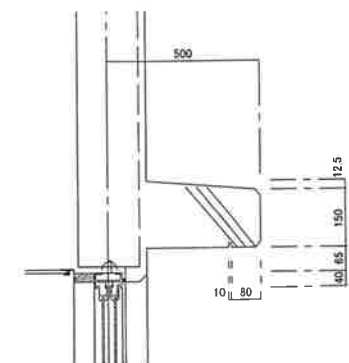
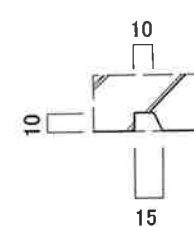
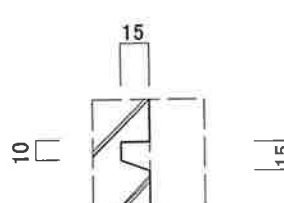
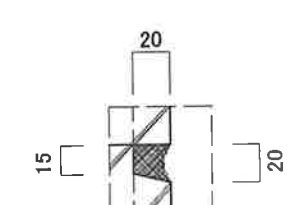
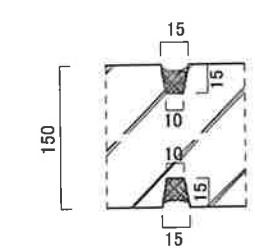
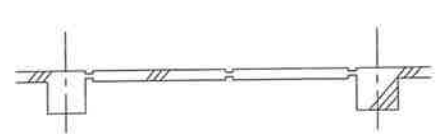
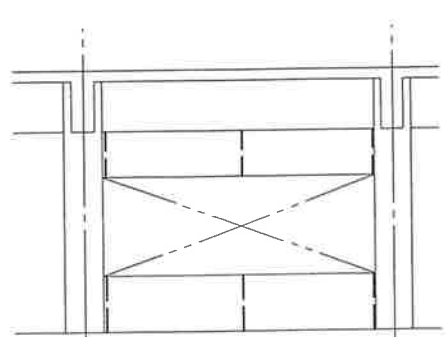
便所グレーチング詳細図

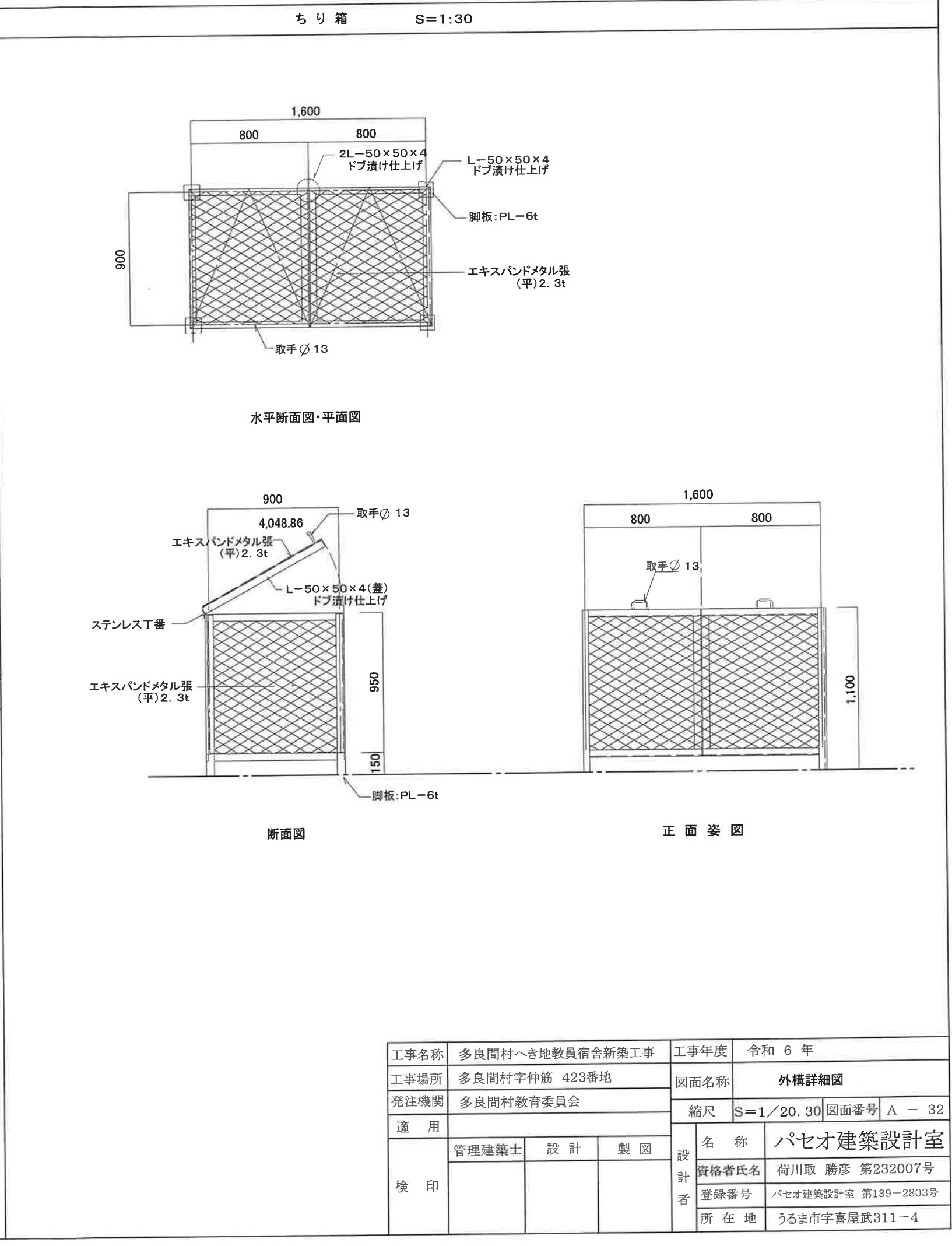
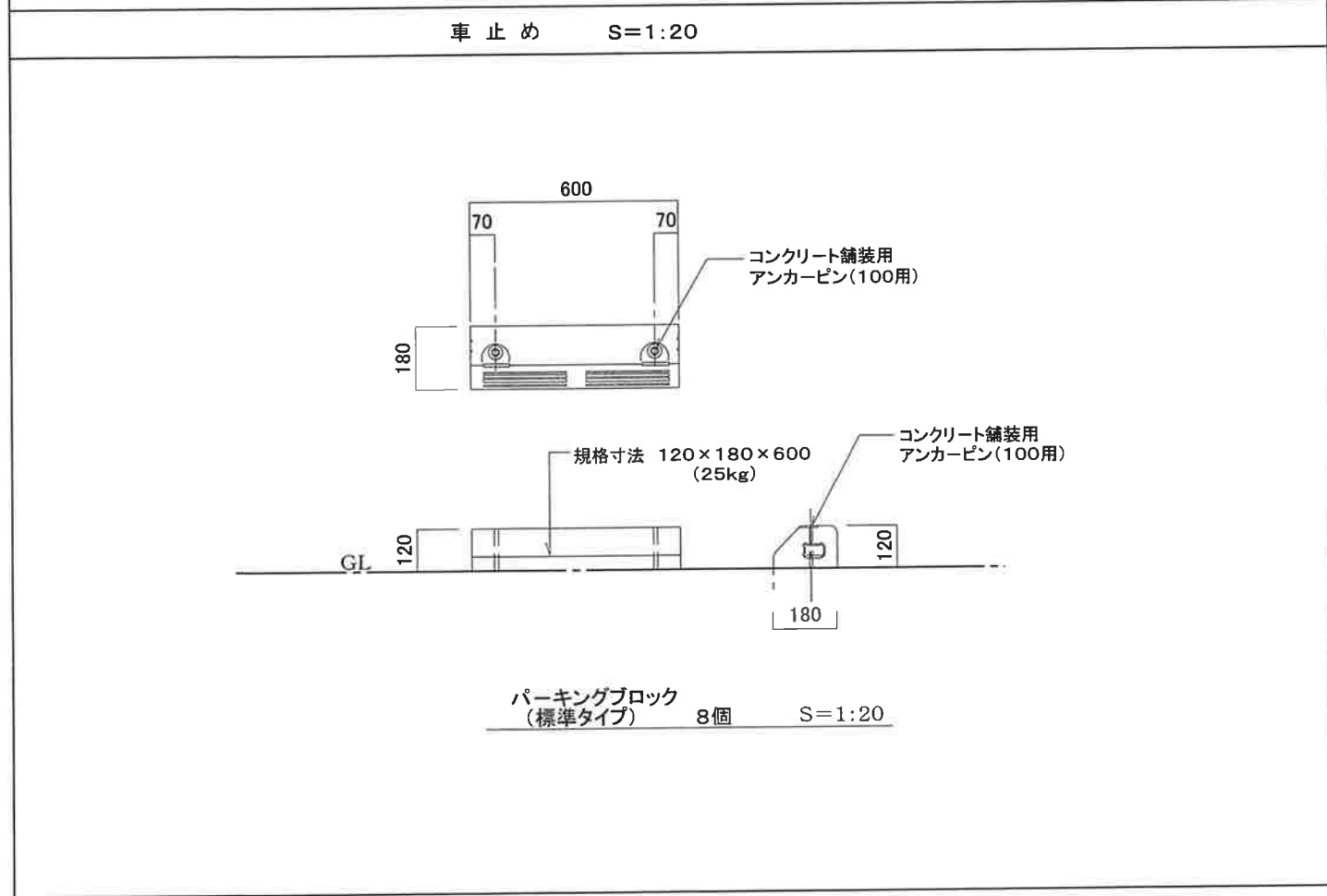
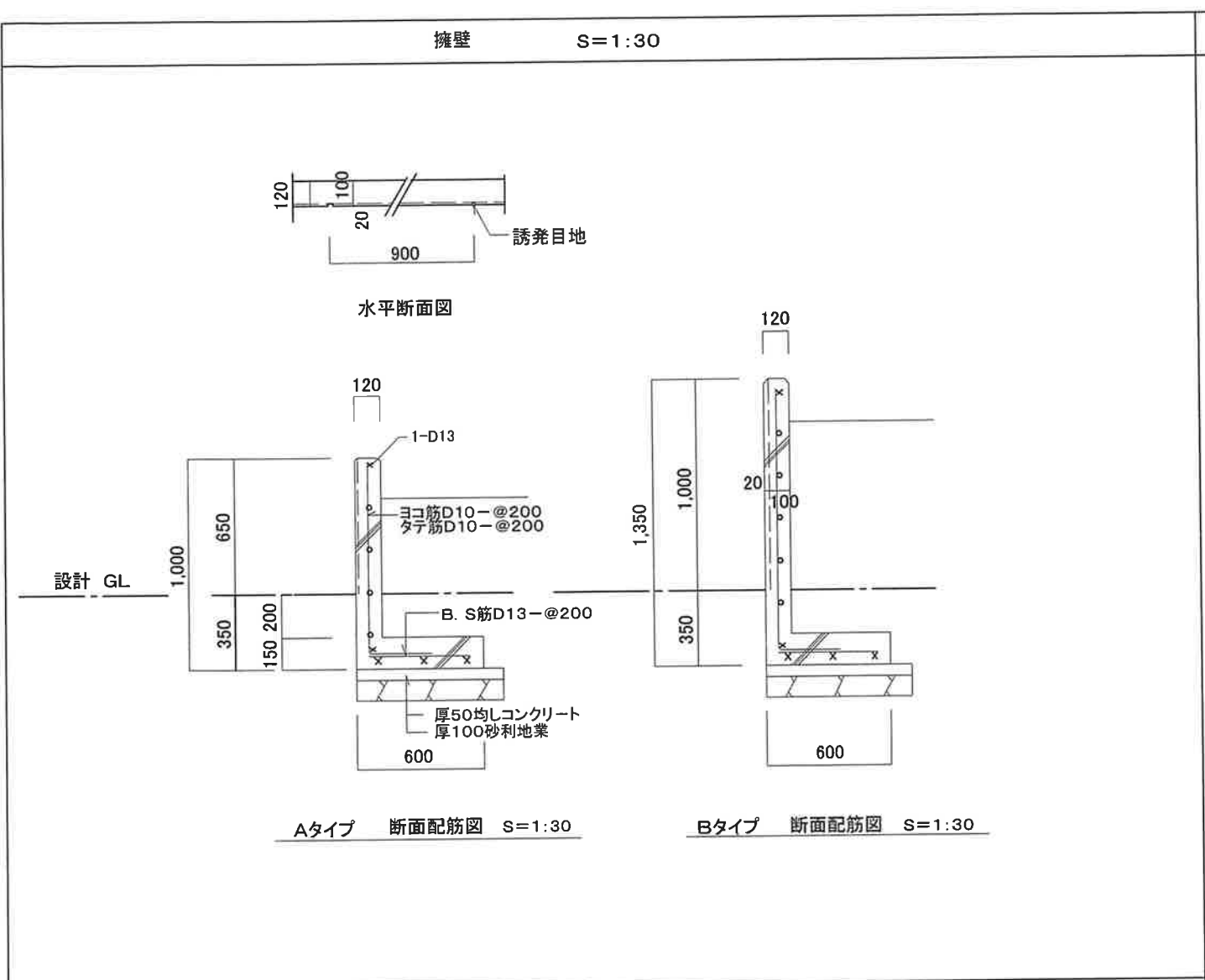
S=1:10

片開き戸部分断面図

ステンレス製タラップ

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6 年
工事場所	多良間村字仲筋 423番地	図面名称	雑詳細図 1
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1/100 図面番号 A - 30
適用			
検印	管理建築士	設計	製図
設計者	名称	パセオ建築設計室	
	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
	登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
	所在地	うるま市字喜屋武311-4	

目地詳細図		S=1/10	壁クラック誘発目地割付位置			S=1/50	外部隅角部分		S=1:3		
打継目地		クラック誘発目地									
							水切り部分		S=1:3		
断面図											
平面図											
底詳細図		S=1/10	水切り目地(断面) S=1/2		外部化粧目地(断面)S=1/2		打継目地(水平)(断面) S=1/2		シーリング無しとする。		
										※内部仕上が有る場合には、	
											
柱ぎわに目地を設ける例				※架構内壁の面積が5～6㎡以下の場合は設けなくてよい。							



構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 沖縄県多良間村字仲筋 423番地
- (2) 工事種別 ■ 新築 □ 増築 □ 増改築 □ 改築
- (3) 構造一級建築士の関与 □ 必要 ■ 必要としない
- 法第20条第一号(高さ 60 m超)
□ 法第20条第二号(RC造高さ 20 m超 □ S造 4 階建以上 □ 木造高さ 13 m超 □ その他)
注(3)構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
- (4) 構造種別
□ 木造(Ⅷ) □ 補強コンクリートブロック造(GB) □ 鉄骨造(S)
□ 鉄筋コンクリート造(RC) ■ 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) □ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(NPRC)
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC) □
- (5) 階 数
棟 地下 階 地上 2 階 塔屋 階
- (6) 主要用途 共同住宅
- (7) 屋上付属物
□ 太陽光パネル □ キュービクル KN □ 広告塔 □ 煙 突
- (8) 特別な荷重
□ エレベータ 人乗(マシナールームレス ロープ式 油圧式) □ リフト KN □ ホイスト KN
□ 倉庫積載床用 N/m² □ 受水層 KN □
- (9) 付帯工事
□ 門扉 □ 擁壁 □ 駐輪場 □ 機械式駐車場 □ □
- (10) 増築計画 □ 有() □ 無
- (11) 構造計算ルート X方向ルート1ー() Y方向ルート1ー()

2. 使用建築材料・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート (レディーミクストコンクリート JIS G 1001, JIS G 1011, JIS A 5308)					
適用箇所	種類	設計基準強度 F _c = N/mm ²	品質基準強度 F _q = N/mm ²	スランプ cm	備考
柱造コンクリート	普通	18	18+0=18	15	
土間コンクリート	普通	21	21+3=24	15	
基礎・基礎梁	普通	27	27+3=30	15	水セメント比 50%以下
梁・床・壁	普通・経年	27	27+3=30	18	水セメント比 50%以下
ラッフルコンクリート	普通・経年	18	18+3=21	15	
床スラブコンクリート	普通・経年				
絶縁材の種類	砂	山砂	人工		
絶縁材の種類	砂利	砕石	人工		
水の区分	水道水	地下水	工業用水		JIS A 5308
充填材料の種類 (JIS)	AE減水剤	高性能AE減水剤			
呼び強度を保證する材料、養生	材料() 28日	56日			
	養生() 現場封かん	現場水中	機導		

■ 単位量は、185kg/m³以下、単位セメント量は 270kg/m³以上とする。
■ 暑中コンクリート適用を受ける場合の品質基準強度は、F_c + 6 とする。

(2) コンクリートブロック (JIS A 5406)					
□ A種 □ B種 □ C種	厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190	使用箇所(□ □ □)			

(3) 鉄 筋					
種類	径	使用箇所	継手工法		
■ SD295 A	D10~D16	各面参照	■ 変ね継手		
■ SD295 B			■ ガス圧接継手		
■ SD345	D19以上	各面参照	□ 溶接継手		
■ SD390			□ 機械式継手		
材種			()		
高強度せん断補強筋	大径筋記号 MSRB-		各継手の使用詳細については		
丸 鋼(JIS G 3112)	SR235		本仕様S(2)鉄筋の項の鉄筋		
溶接金網(JIS G 3551)			継手等の ■ にて表示すること。		

(4) 鉄 骨					
種類	使用箇所	現場溶接	備考		
■ SS400 ■ SM400 ■ SH400 A,B,C		■ 有 ■ 無	JIS G		
■ STKR400	■ STKR400	■ 有 ■ 無			
■ BCP235	■ BCP235	■ 有 ■ 無	大径筋記号 筋線記号 MS1L-		
■ SH450 A	■ SH450 B ■ SH450 C	■ 有 ■ 無	JIS G		
■ SSC400		■ 有 ■ 無	JIS G		
溶接材料	JIS Z				

○ 使用箇所の詳細については別添図示とする。

- (5) ボルト
□ 高力ボルト
□ F10T(JIS B1180) □ S10T 認定番号() □ F8T 認定番号() (□ M16 □ M20 □ M22 □ M24)
□ ボルト(JIS B1180) M N □ 4, 8(4T) □
□ アンカーボルト
□ SS400 M L= mm ナット(□ シングル、□ ダブル)
□ SS400 M L= mm ナット(□ シングル、□ ダブル)
□ 頭付スタットボルト
φ= L= mm 使用箇所(□ 柱 □ 大梁 □ 小梁)
φ= L= mm 使用箇所(□ 柱 □ 大梁 □ 小梁)
- (6) 屋根、床、壁

材 種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構造
ALC (JIS A 5416)	厚	□ 壁 □ 床版	□ スライド □ ボルト止め □ ロッキング
折 板	H= 厚	□ 屋根 □ 床版	
特殊ディンプルプレート(JIS G 3352)	型式 厚	□ 床版 □	
ディンプルプレート (JIS G 3352)	型式 厚	□ 床版 □	
ギーストプレート(JIS G 3352)	型式 厚	□ 床版 □	

3. 地 盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

調査項目		資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		計測貫入試験			標準貫入試験			
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査			
試験掘(支持層の確認)			平面載荷試験			凍土化判定			
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			PS試験			

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画があるものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎、杭の位置を明記すること)

深度	土 質	N 値	標準貫入試験						備考
			10	20	30	40	50	60	
▽GL									○調査地帯
									○位置図
									○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
									○孔内水位 g L= m
									○近隣データの調査地帯と設計地帯とは約 mの距離がある
									○備考

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 □ ベタ基礎 ■ 布基礎(ラッフルコンクリート) □ 独立基礎 試験略 □ 有 □ 無
深さ GL m、支持層 長期許容支持力度 kN/m² (柱状図参照) 載荷試験 □ 有 □ 無
- (2) 地盤改良 □ 浅層混合処理工法 □ 深層混合処理工法 □
深さ GL= m、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □ 有 □ 無
注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする
- (3) 杭基礎 支持層=

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
□ RC □ PRG	PRC(□ I 種 □ II 種 □ III 種) 加種	□ 打ち込み □ 埋込み(セメントミルク工法) □ 回転貫入工法	
□ PHC □ H鋼	PHC(□ A 種 □ B 種 □ C 種)		
□ 鋼管 □ 厚板杭	鋼材 □ STK400 □ STK490		
□ SC杭	鋼材 □ JIS		
□ 場所打ちコンクリート杭	コンクリートF _c N/mm ² F _q N/mm ² スランプ cm以下 単位水量 kg/m ³ 鉄 筋 主筋 SD HOOP SD	□ オールケーシング □ 振込杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル □ ミニアース □ 圧入 □ 振動	認定 号 年 月 日

杭仕様	施工計画書承認	杭施工結果報告書
試験杭 (□ 有・□ 無) (□ 打ち込み・□ 載荷・□ 孔壁測定)	本	
杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)

※試験杭の位置および本数は監理者と協議の上決定する。

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36 N/mm²以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。

(1) コンクリート

- コンクリートは JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) に適合するJIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による。
- 耐久設計基準強度 F_d □ 一般 ■ 標準 □ 長期 □
セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 設計計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける場合には、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
- 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一資料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T - 603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が 150 m³を超える場合は 150 m³ごとまたは、その塊数ごとに一回を標準とする。一面に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の連続率からその必要本数を採取する。供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週間に3本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み経路中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25℃未満の場合は 150 分以内、25℃以上の場合は 120 分以内とする。コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下回らないようにする。乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

(2) 鉄 筋

- 鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
- 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に限定されるD種1号適合品とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
- 鉄筋継手等
- | 鉄筋継手方法 | 継手の位置等の設計条件による仕様・等級 | | 鉄筋の径 |
|---------|---------------------|--------------|-----------------------|
| | (1) 引張力最小部位 | (2) (1)以外の部位 | |
| ■ 変ね継手 | 40d □ 35d □ () d | A 級 B 級 SA級 | D (19) 以下
D () 以上 |
| ■ 圧接継手 | 告示1463号第2項各号 | | D () 以上 |
| ■ 溶接継手 | 告示1463号第3項各号 | | D () 以上 |
| ■ 機械式継手 | 告示1463号第4項各号 | | D () 以上 |
- 注) (1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取付した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準 (建築物の構造関係技術基準解説書 2007)』によって検討した部材の条件・仕様によること。
- D19 未満は、すべて変ね継手とする。
- 継手部分の施工要領は 社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事)による。
- 継手部の検査方法：・外観検査 □ 有 □ 無・引張試験 □ 有 □ 無・超音波探傷試験 □ 有 □ 無・ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は 5 本以上とする。
- (1)ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所 200 箇所程度とする)
- 柱の等級(HOOP)の加工方法は、□ H型(タガ型) □ W型(溶接型) □ S型(スパイラル型)とする。
- コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
- 試験・検査機関 (都知事登録 号)
- 代行業者名
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

(3) 型 枠

- 材料 合板厚 12 mm を標準とする。 ■ 施工 JASS 5 による。
- 型枠存置期間

セメントの種類	せ き 板		スラブ下、はり下		スラブ上		はり下
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ上	はり下	スラブ上	はり下	
■ セメント	■ 高炉セメント A種	■ 高炉セメント A種	■ 高炉セメント A種	■ 高炉セメント A種	■ 高炉セメント A種	■ 高炉セメント A種	■ 高炉セメント A種
■ ランドセメント	■ ランドセメント A種	■ ランドセメント A種	■ ランドセメント A種	■ ランドセメント A種	■ ランドセメント A種	■ ランドセメント A種	■ ランドセメント A種
■ シリカセメント	■ シリカセメント A種	■ シリカセメント A種	■ シリカセメント A種	■ シリカセメント A種	■ シリカセメント A種	■ シリカセメント A種	■ シリカセメント A種

注) 1) 片持ばり、底、スパン 9.0 m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2) 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはり下の場合も原則として行わない。
注) 3) 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4) 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを用いる。
注) 5) 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6) 直上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛りかえを行わないこと。
注) 7) 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
- 日本建築学会「JASS G」「鉄骨構造検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 社)日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
- 製作工事 □ 製作要領書 □ 工作図 □ 施工計画書
■ 認定または登録工場(大臣認定 S H M R J グレード 都登録 T1 T2 T3 ランク)
■ 材料規格証明書※。または試験成績書
■ 鋼材 □ 高力ボルト □ 特殊ボルト □ 頭付スタット
※社)日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法。またはミルシート。
- 社内検査表 □
- (3) 工事監理者が行う検査項目
- (印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
- 現地検査 □ 確立・開先検査 □ 製品検査 □ 建方検査 □
- (4) 接合部の溶接は下記によること
- 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
□ 日本建築学会「溶接作業規程、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」
- (5) 接合部の検査
- 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	
完全溶込み溶接部 (突合せ溶接)	外観検査(※)	100%	100%	100%	平成12年建設省告示第1464号第二号による(目視及び計測)
	超音波探傷試験	100%	100%	100%	(注) 東京都の要綱に基つき必要となる建築物の場合に実施する
	内質検査	100%	100%	100%	
	硬さ試験	100%	100%	100%	
	溶接材料表示	100%	100%	100%	
	マクロ試験・その他	100%	100%	100%	
	外観検査(※)	100%	100%	100%	

第三者検査機関名 (都知事登録 号)

第三者検査機関とは、建築士、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

- 注1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
- 注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正に対応策を建築主事等に報告すること
- 高力ボルトの検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)
- 耐力導入試験 □ 有 □ 無 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否
□ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
□ トルシヤ高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗装

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合部の厚板面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、□ JIS K 5621、□ JIS K 5625、□ 、□ を使用して、4 層 2 回塗りを標準とするが、突状に応じて決定すること。
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2 回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

□

7. 設備関係

- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防錆のための有効な措置を講じること。
- 建築物に設ける屋上からの突出する水櫃・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5 cm以上とした鉄筋コンクリート造とする。
- 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
- 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以下かつ5 cm以上を原則とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を機り保管すること。

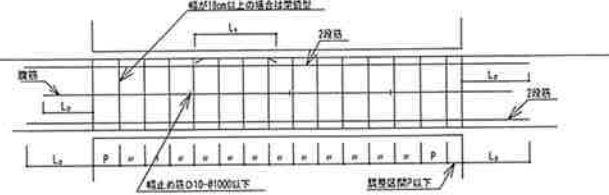
工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6.7年度
工事場所	宮古郡多良間村字仲筋 423番地	図面名称	構造設計標準仕様書
発注機関	多良間村教育委員会	図面番号	S - 1
適用		名 称	パセオ建築設計室
検 印	管理建築士 設 計 製 図	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市宇喜屋敷311-4

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2) (WRC造)

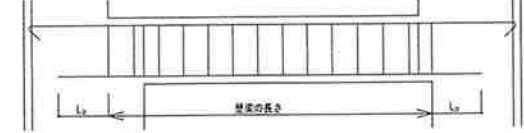
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 壁梁、小梁

(1) 壁梁の標準配筋図

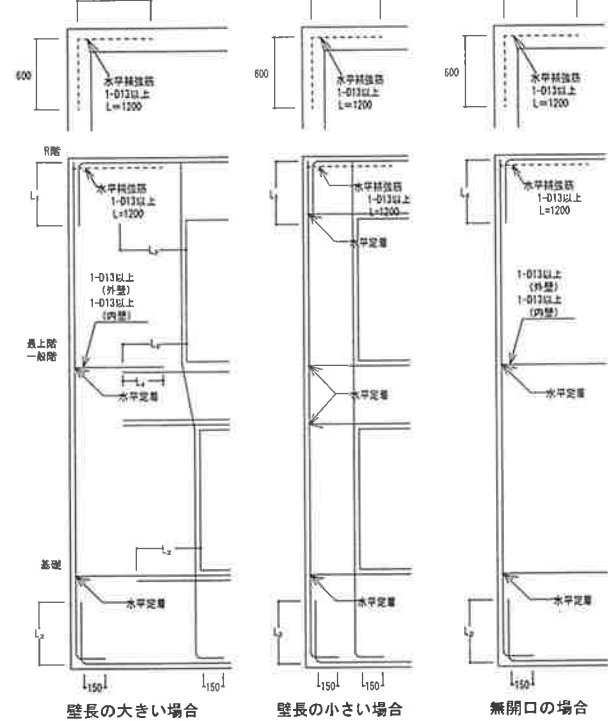


(2) 壁梁の範囲

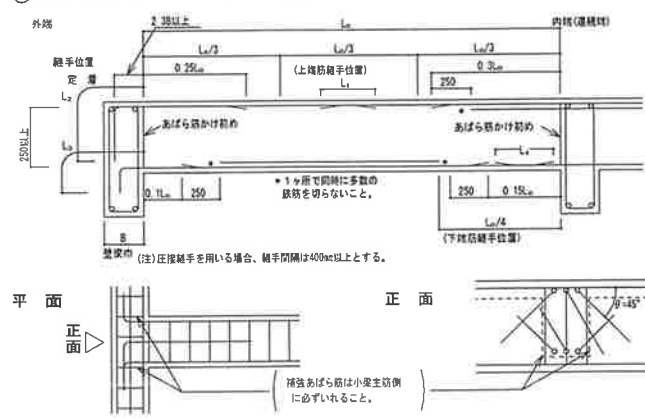


(3) 定着

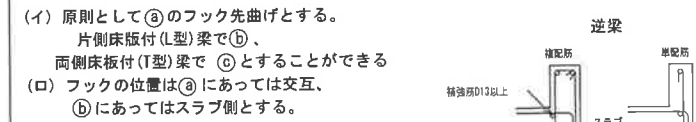
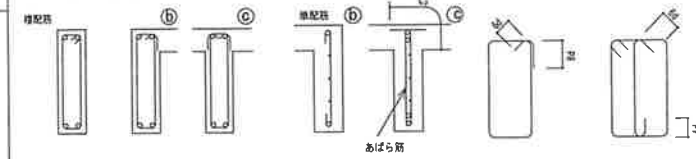
① 壁梁



② 小梁の定着・継手位置およびトップ長さ



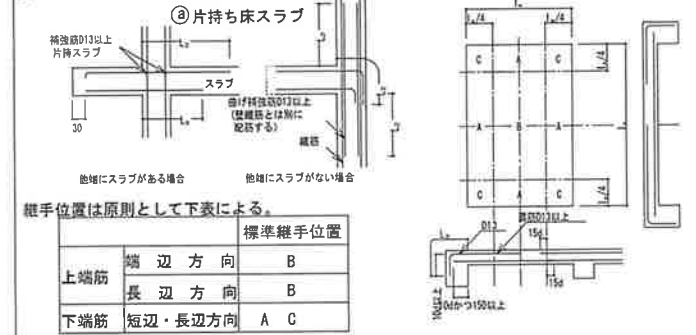
(4) あばら筋の型



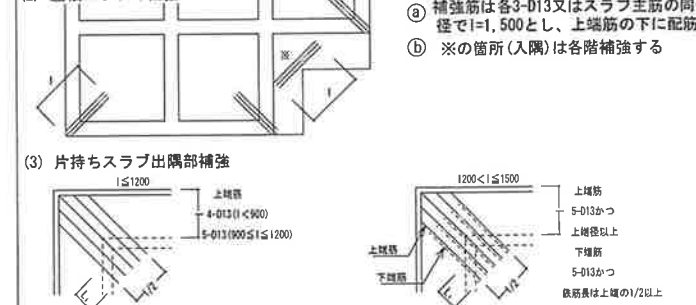
壁シングル配筋		壁ダブル配筋		はり幅の最小寸法(構造寸法)	
おさまり	曲げ補強筋	おさまり	曲げ補強筋	おさまり	曲げ補強筋
D13	D16	D13	D16	D13	D16
D13	180	D13	180	D13	180
D16	180	D16	180	D16	180
D19	180	D19	180	D19	180

8. 床板

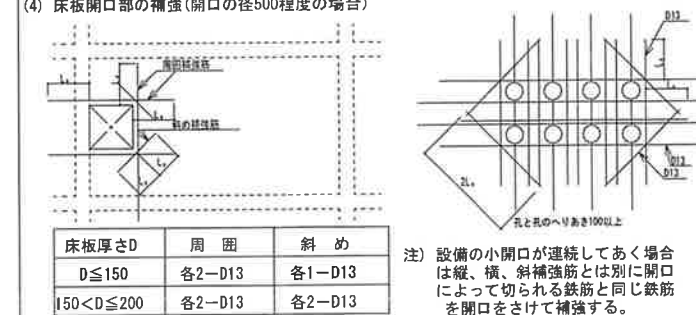
(1) 定着および継手



(2) 屋根スラブの補強

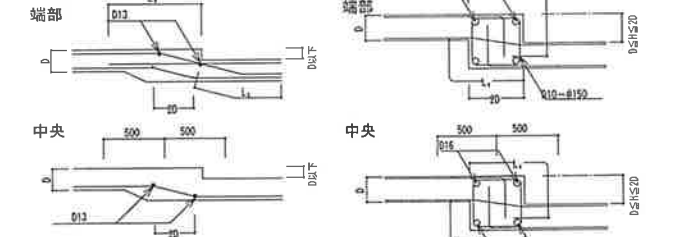


(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)

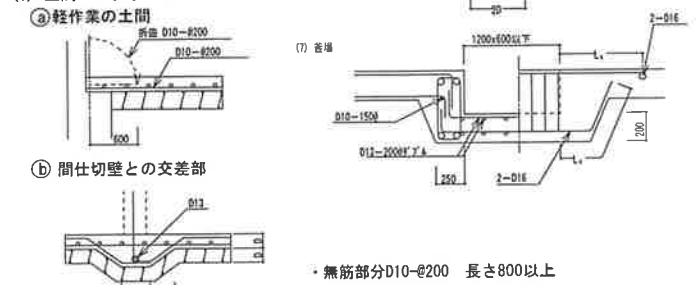


注) 設備の小開口が連続してあく場合は、縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさせて補強する。

(5) 床板段差

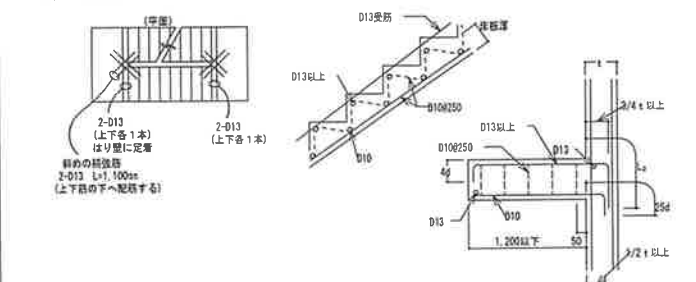


(6) 土間コンクリート



9. 階段

片持ち階段

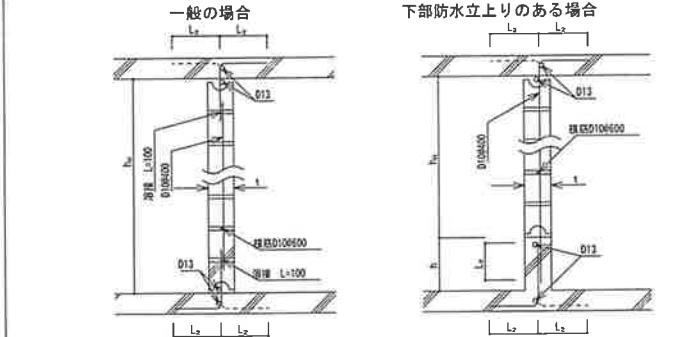


10. その他

(1) 手摺、パラペット



(2) コンクリートブロック積壁



注) $h_0 \leq 25t$ かつ 3500以下とする。但し直交方向 $25t$ 以内に壁、又は柱がある場合は除く。
注) h はコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、 $200 \leq h \leq 400$
注) 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

11. 梁貫通孔補強

(3) 既製品(使用するとき、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

☐ リング型 ☐ パイプ型 ☐ 金網型 ☐ プレート型 ☐

(2) 鉄筋標準配筋 但し、 $\phi \leq D/3$ とする

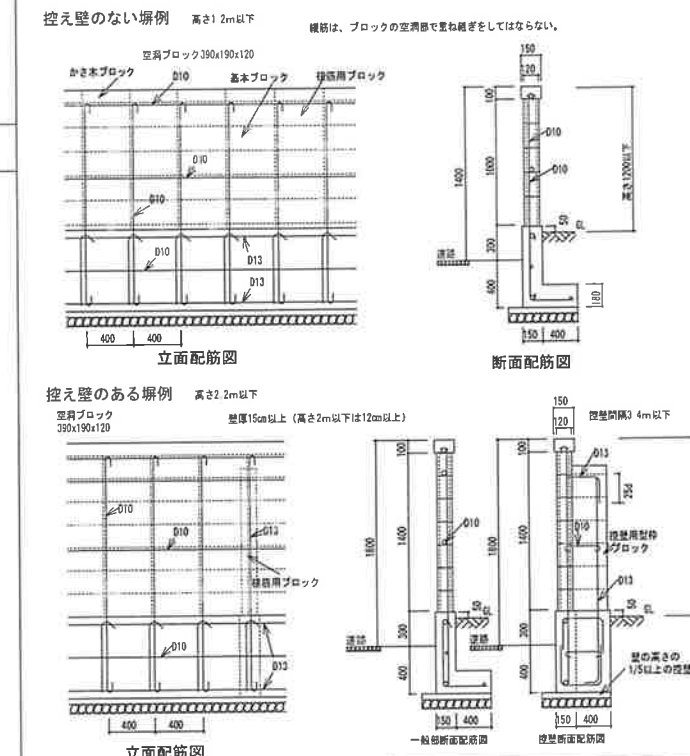
設置可能範囲(スパン/10以内かつ20以内)は避ける

80 ≤ $\phi \leq 100$ 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13	100 < $\phi \leq 150$ 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-100@ 横筋 2-(2-D13)	150 < $\phi \leq 250$ 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-100@ 横筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13
$\phi > 250$ 鉄筋の有効範囲と 定着長さのとり方 ※ 部分について計算で 確認された場合は右 記の位置、寸法によ らなくて良い。 (スターラップ補強範囲)		

12. コンクリートブロック塀

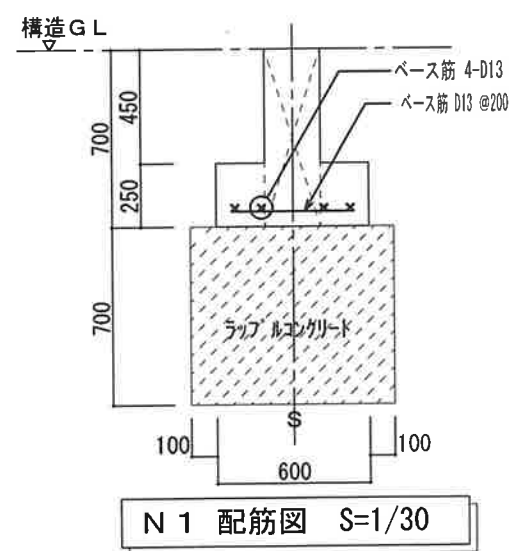
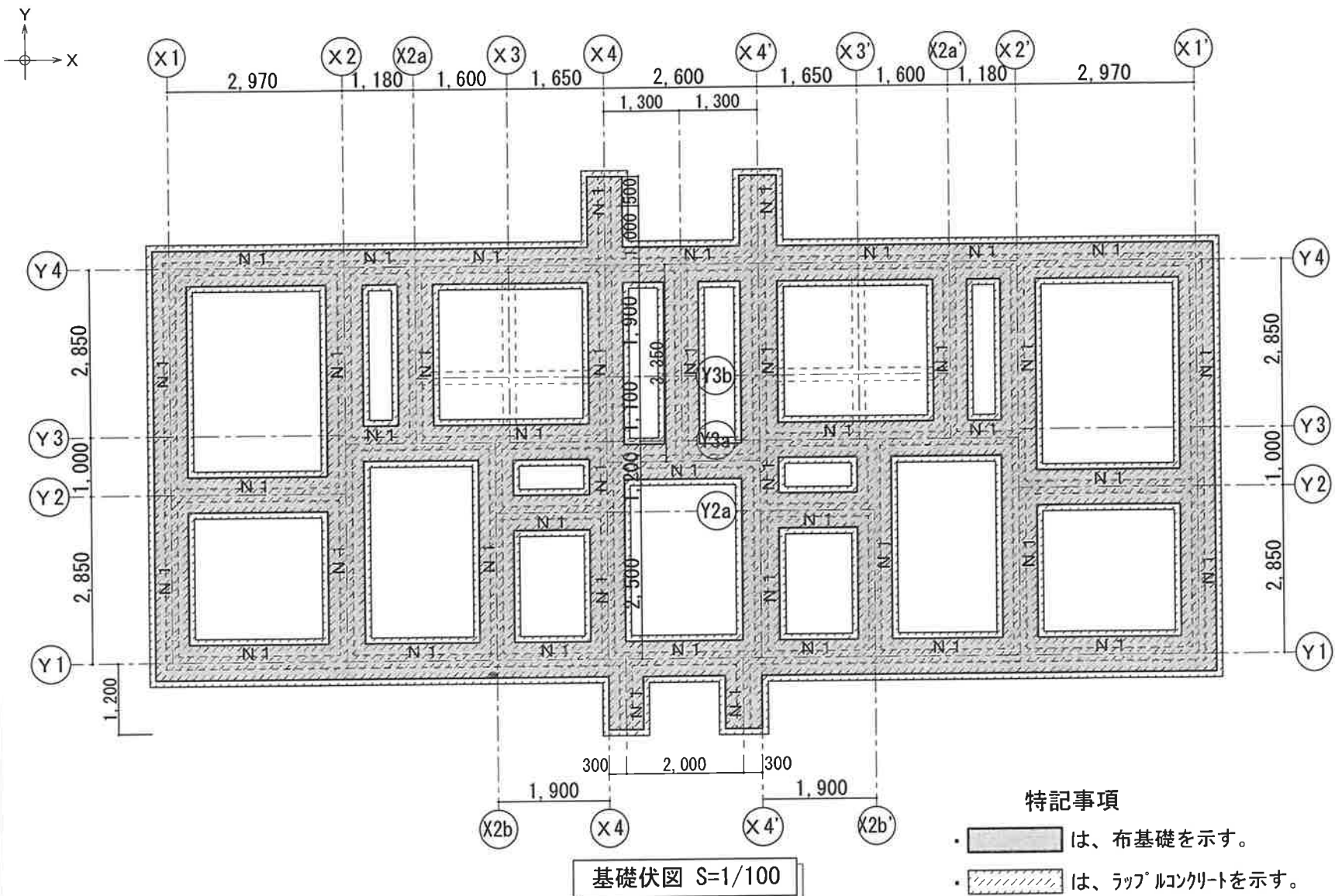
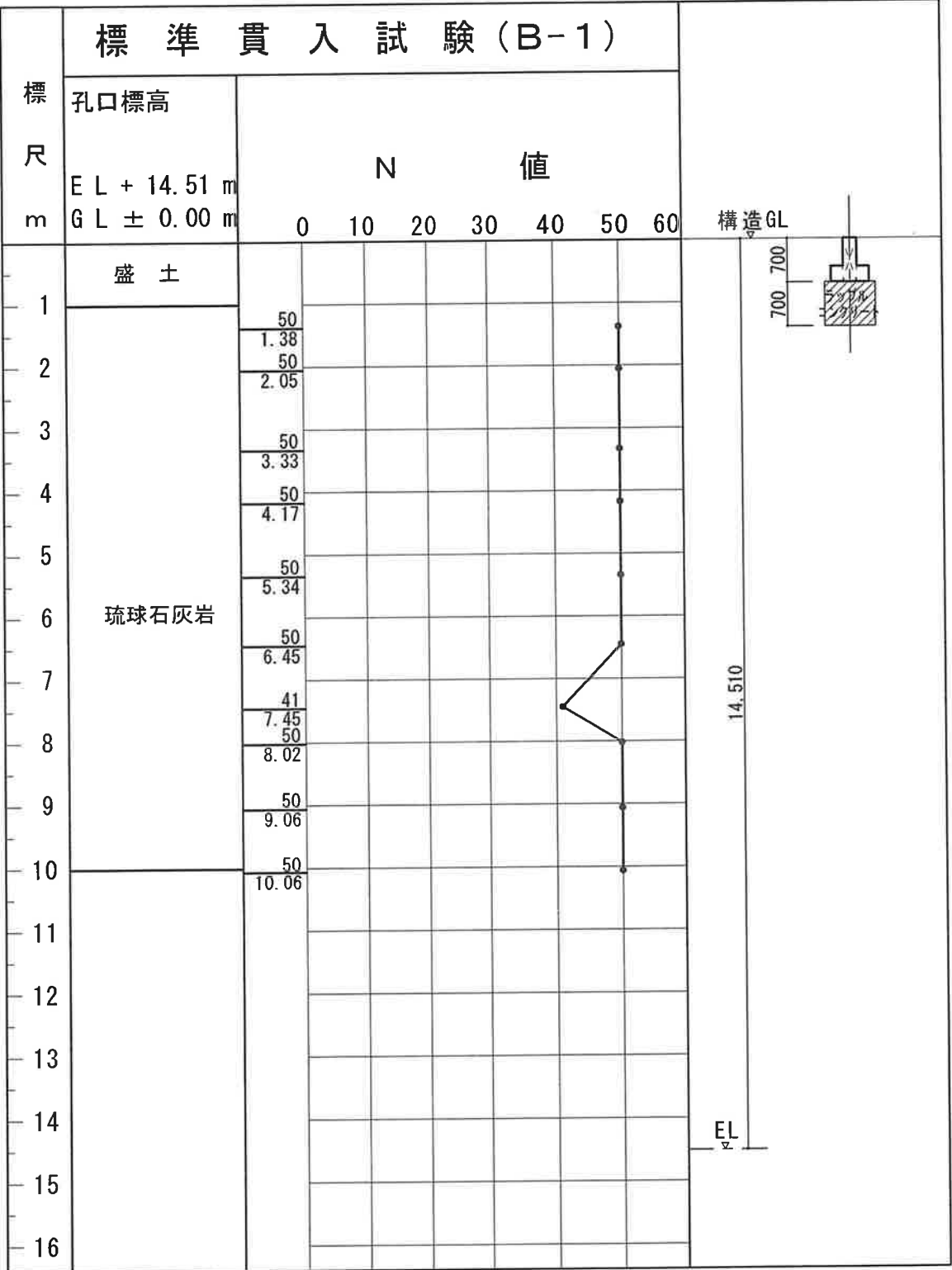
(1) ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

- a. 塀の高さ(地盤面に高低差がある場合は低い方による)は2.2m以下。
- b. 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合は12cm以上、2mを超える場合は15cm以上。
- c. 地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は別途検討する。
- d. 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。



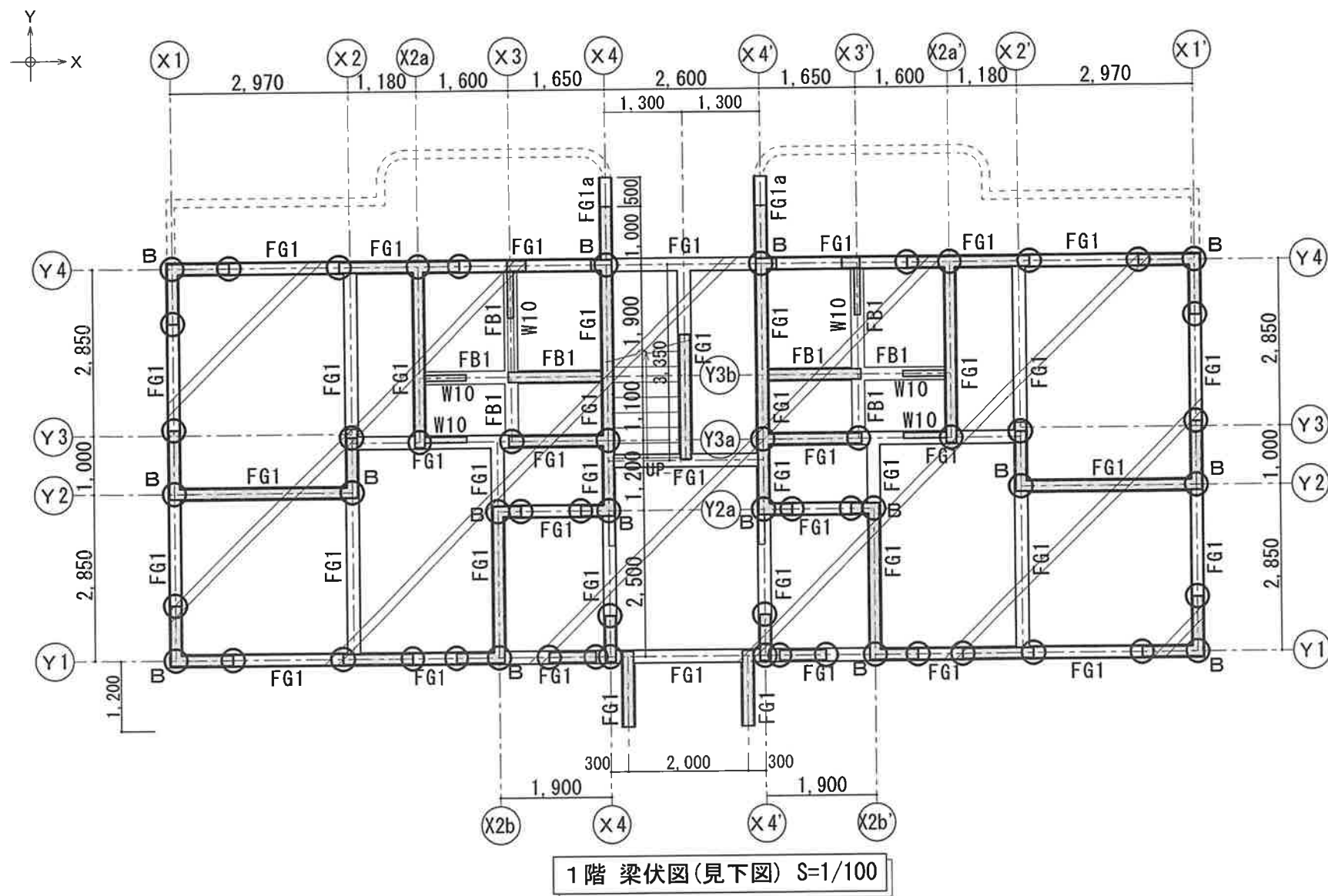
株式会社 創設計
伊波 克之
一級建築士 第224803号
構造設計一級建築士 第9039号

工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6.7年度
工事場所	宮古郡多良間村字仲筋 423番地	図面名称	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	
適用		図面番号	S - 3
検印	管理建築士 設計 製図	名称	バセオ建築設計室
		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	バセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市宇喜屋武311-4



長期許容支持力度: 200 KN/m²

工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6.7年度
工事場所	宮古郡多良間村字仲筋 423番長	図面名称	柱状図、基礎伏図、基礎詳細図
発注機関	多良間村教育委員会	縮 尺	
適 用		図面番号	S - 4
検 印	管理建築士 設 計 製 図	設 計 者	パセオ建築設計室
		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4

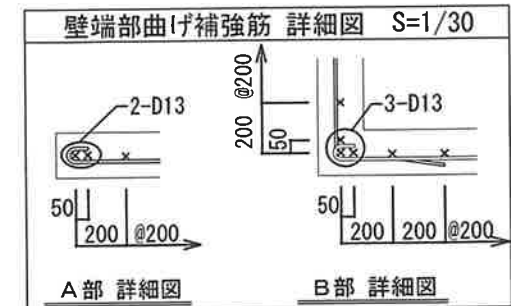


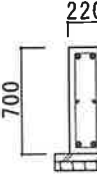
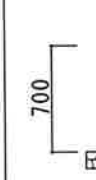
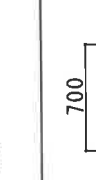
1階 梁伏図 (見下図) S=1/100

特記事項

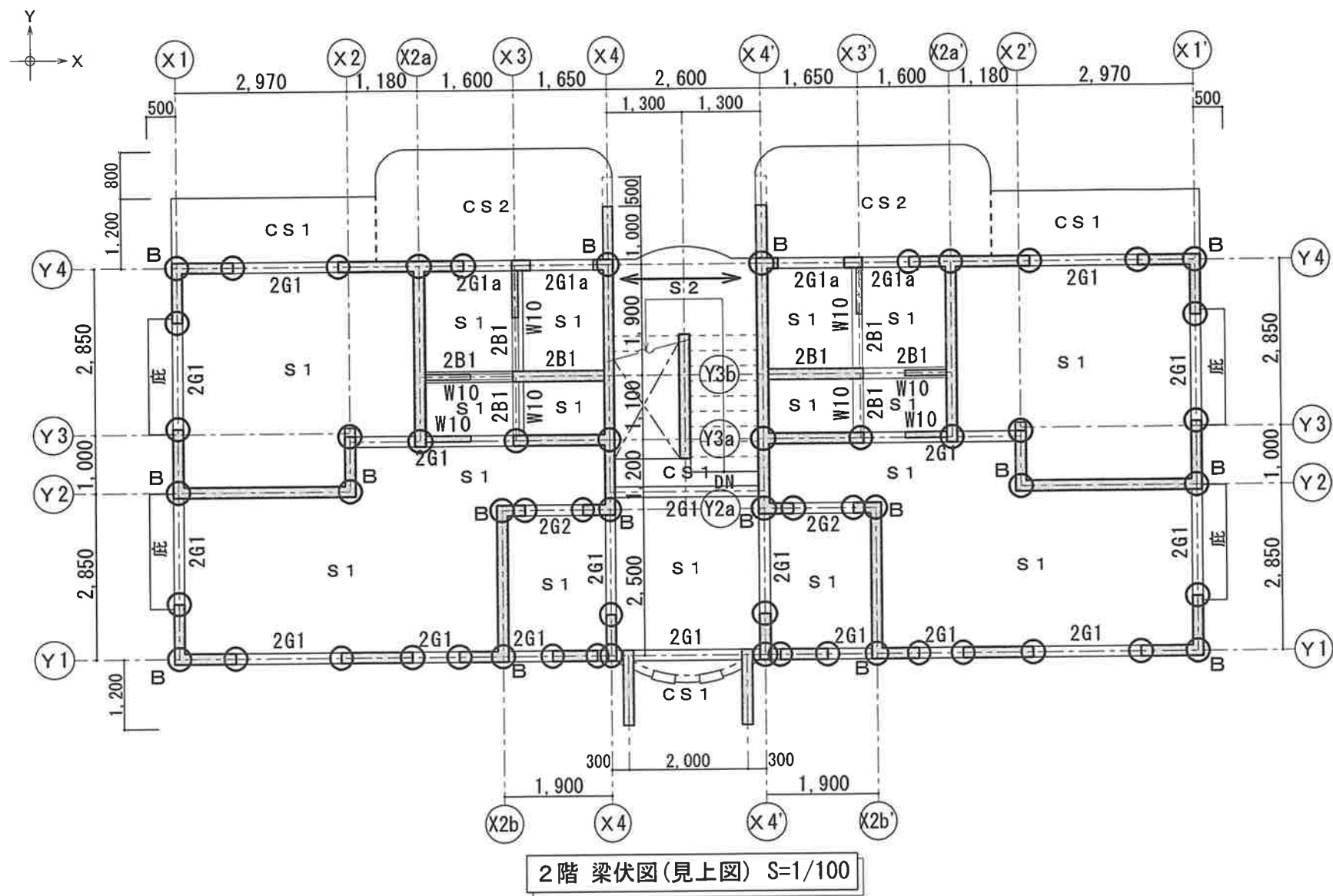
- は、土間コンクリートを示す。
(t=100, 溶接金網6x100x100 土間差筋:D10 @200)
- は、RC部とし、特記なき壁は、W18を示す。
- 特記なき○は、壁端部曲げ補強筋詳細図Aを示す。

壁リスト S=1/50		
符号	W10	W18
縦断面	全断面	全断面
		
	100	180
	シングル配筋	シングル配筋
縦筋	D10@200	D13@200
横筋	D10@200	D13@200
開口補強筋	縦	1-D13
	横	1-D13
	斜め	1-D13
幅止め筋	—	—



地中梁 断面リスト S=1/50				
符号	FG1	FG1a	FB1	
位置	全断面	全断面	全断面	
断面				
	220	220	220	
	700	700	700	
上端筋	1段筋 2-D19	2-D19	2-D16	
	2段筋 —	—	—	
下端筋	1段筋 2-D19	2-D19	2-D16	
	2段筋 —	—	—	
あばら筋	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	
幅止め筋	D10-@1000	D10-@1000	D10-@1000	

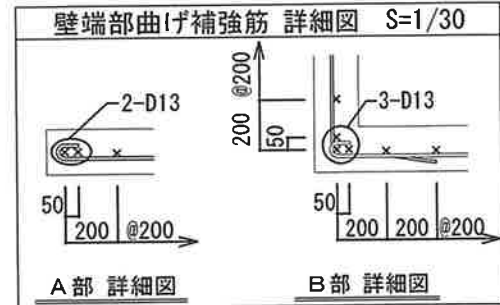
工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6.7年度
工事場所	宮古郡多良間村字仲筋 423番長	図面名称	1階 梁伏図 (見下図)
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	
適用		図面番号	S - 5
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	パセオ建築設計室
		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4



特記事項

- は、RC部とし、特記なき壁は、W18を示す。
- 特記なきスラブの主筋は、Y方向とする。
- 特記なき○は、壁端部曲げ補強筋詳細図Aを示す。

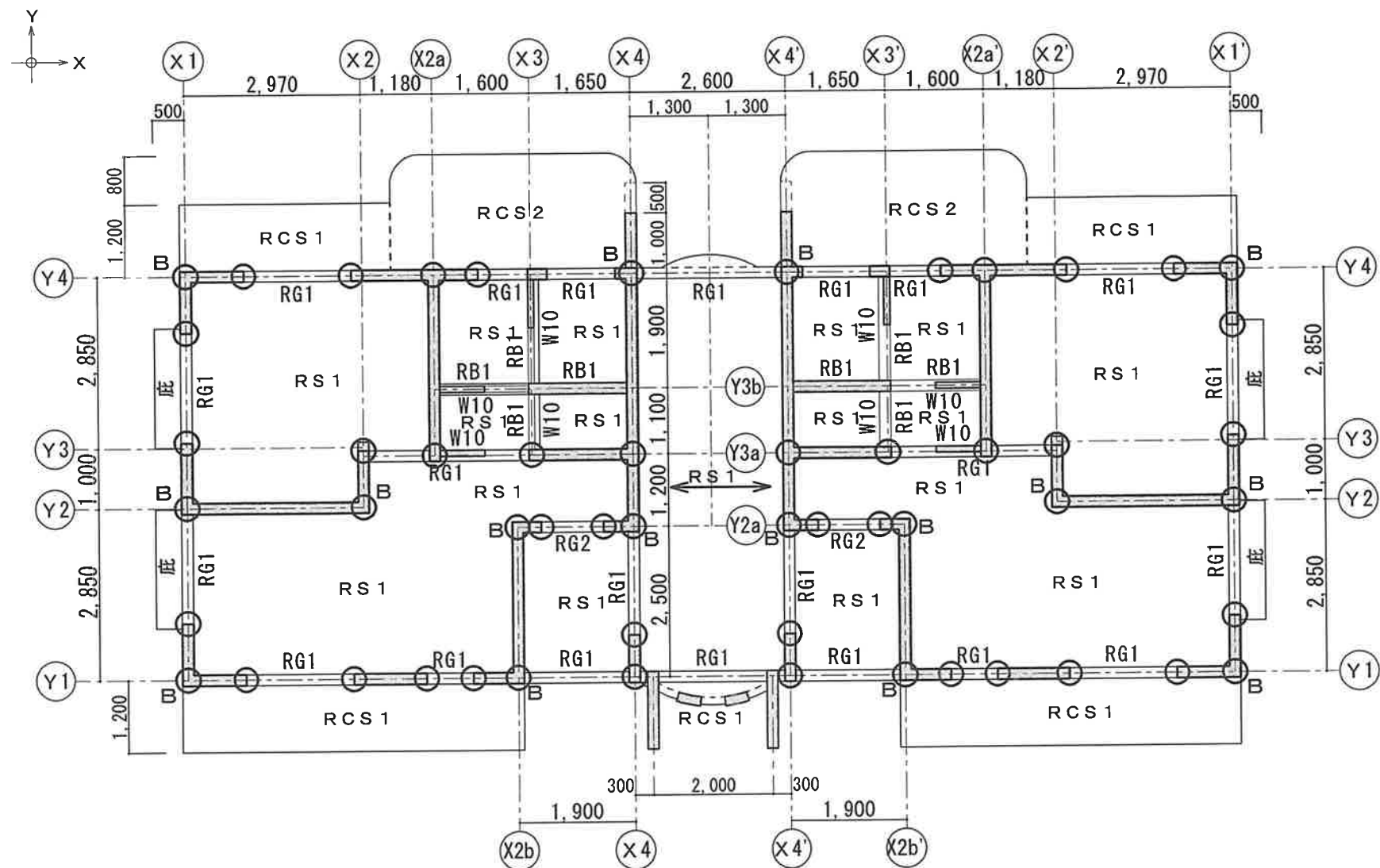
壁リスト S=1/50		
符号	W10	W18
	全断面	全断面
縦断面		
	100	180
	シングル配筋	シングル配筋
縦筋	D10@200	D13@200
横筋	D10@200	D13@200
開口補強筋	縦	1-D13
	横	1-D13
	斜め	1-D13
幅止め筋	—	—



梁断面リスト S=1/50					
符号	2G1	2G1a	2G2	2B1	
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	
断面					
上端筋	1段筋	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
	2段筋	2-D13	2-D13	—	1-D13
下端筋	2段筋	2-D13	2-D13	—	1-D13
	1段筋	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
あばら筋	□-D10-@200	□-D10-@100	□-D10-@200	□-D10-@125	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	1-D10	
幅止め筋	D10-@1000	D10-@1000	D10-@1000	—	

スラブリスト S=1/50					
符号	スラブ厚	方向	短辺 (主筋)	長辺 (配力筋)	備考欄
S1	150mm	上端筋	D13 @200	D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
S2	150mm	上端筋	D13 @200	D10 @200	一方向版
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS1	150mm	上端筋	D13 @200	D10 @200	片持板
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS2	基端: 200mm 先端: 150mm	上端筋	D13 @150	D10 @200	片持板
		下端筋	D10 @150	D10 @200	
		上端筋			
		下端筋			

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事	工事年度	令和 6.7年度
工事場所	富古郡多良間村字仲筋 423番長	図面名称	2階 梁伏図 (見上図)
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	
適用		図面番号	S - 6
設計 者 印	管理建築士	設計	製図
	名	称	パセオ建築設計室
	資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号	
	登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号	
所在地	うるま市字喜屋武311-4		

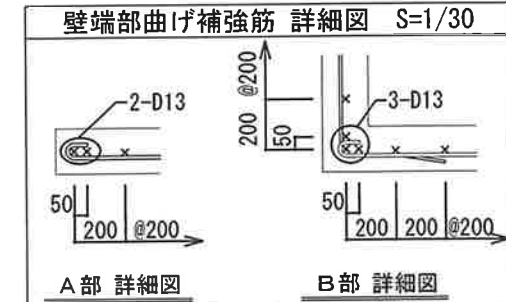


R階 梁伏図 (見上図) S=1/100

特記事項

- は、RC部とし、特記なき壁は、W18を示す。
- ・ 特記なきスラブの主筋は、Y方向とする。
- ・ 特記なき○は、壁端部曲げ補強筋詳細図Aを示す。

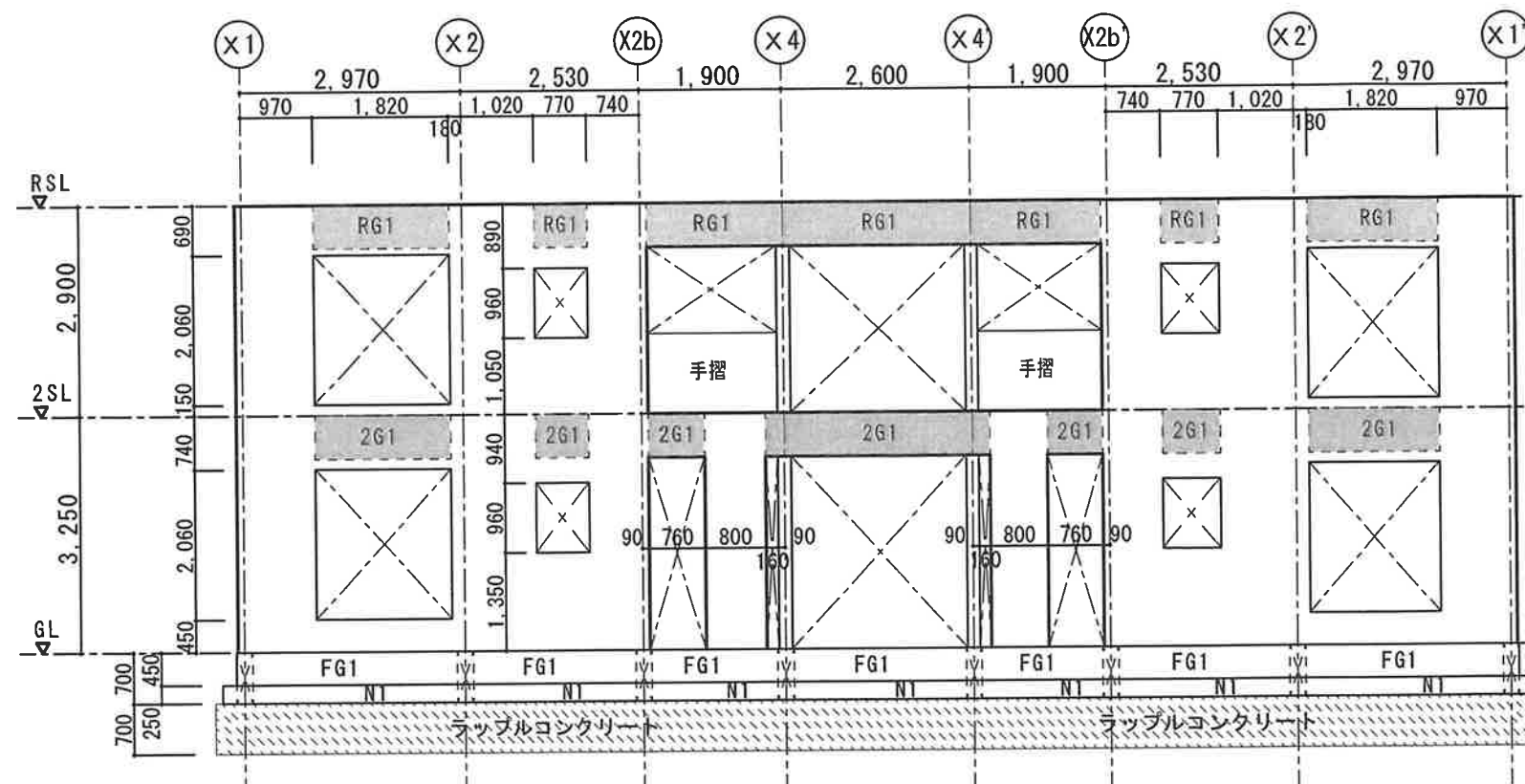
壁リスト S=1/50		
符号	W10	W18
縦断面	全断面	全断面
開口補強筋	縦筋	D10@200
	横筋	D10@200
	縦	1-D13
	横	1-D13
幅止め筋	縦	2-D13
	横	2-D13
幅止め筋	縦	1-D13
	横	2-D13
幅止め筋		



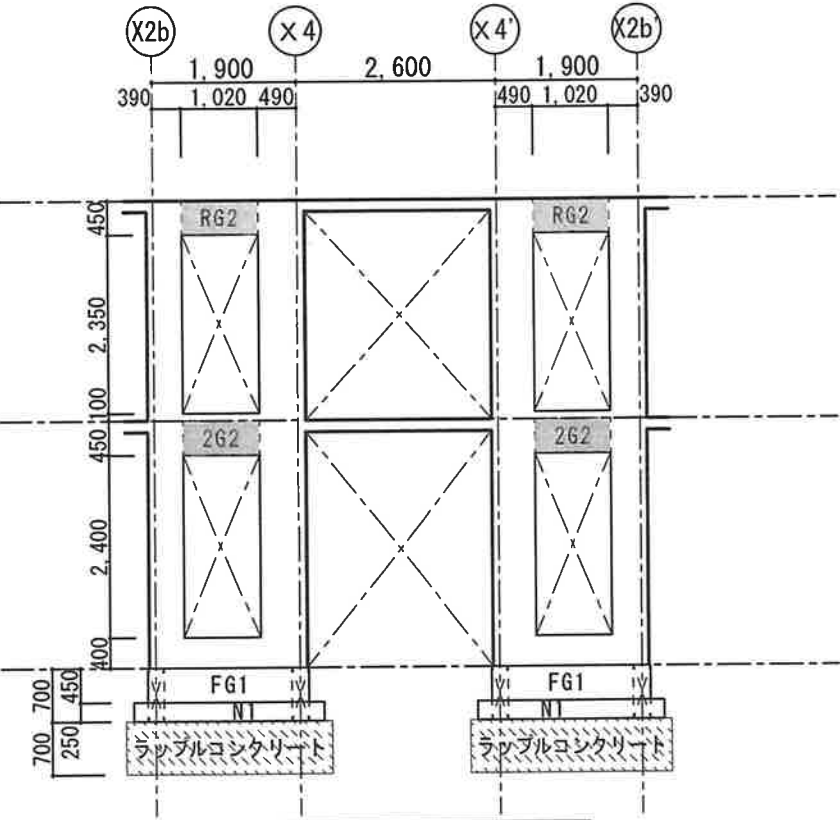
梁断面リスト S=1/50				
符号	RG 1	RG 2	RB 1	
位置	全断面	全断面	全断面	
断面				
上端筋	1段筋 2-D13	2-D13	1-D13	
2段筋	2-D13	—	1-D13	
下端筋	2段筋 2-D13	—	1-D13	
1段筋	2-D13	2-D13	1-D13	
あばら筋	□-D10-@200	□-D10-@200	[-D10-@125	
腹筋	2-D10	2-D10	1-D10	
幅止め筋	D10-@1000	D10-@1000	—	

スラブリスト S=1/50					
符号	スラブ厚	方向	短辺 (主筋)	長辺 (配力筋)	備考欄
RS 1	150mm	上端筋	D13 @200	D13, D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
RCS 1	150mm	上端筋	D13 @200	D10 @200	片持板
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
RCS 2	200mm	上端筋	D13 @200	D10 @200	片持板
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
		上端筋			
		下端筋			

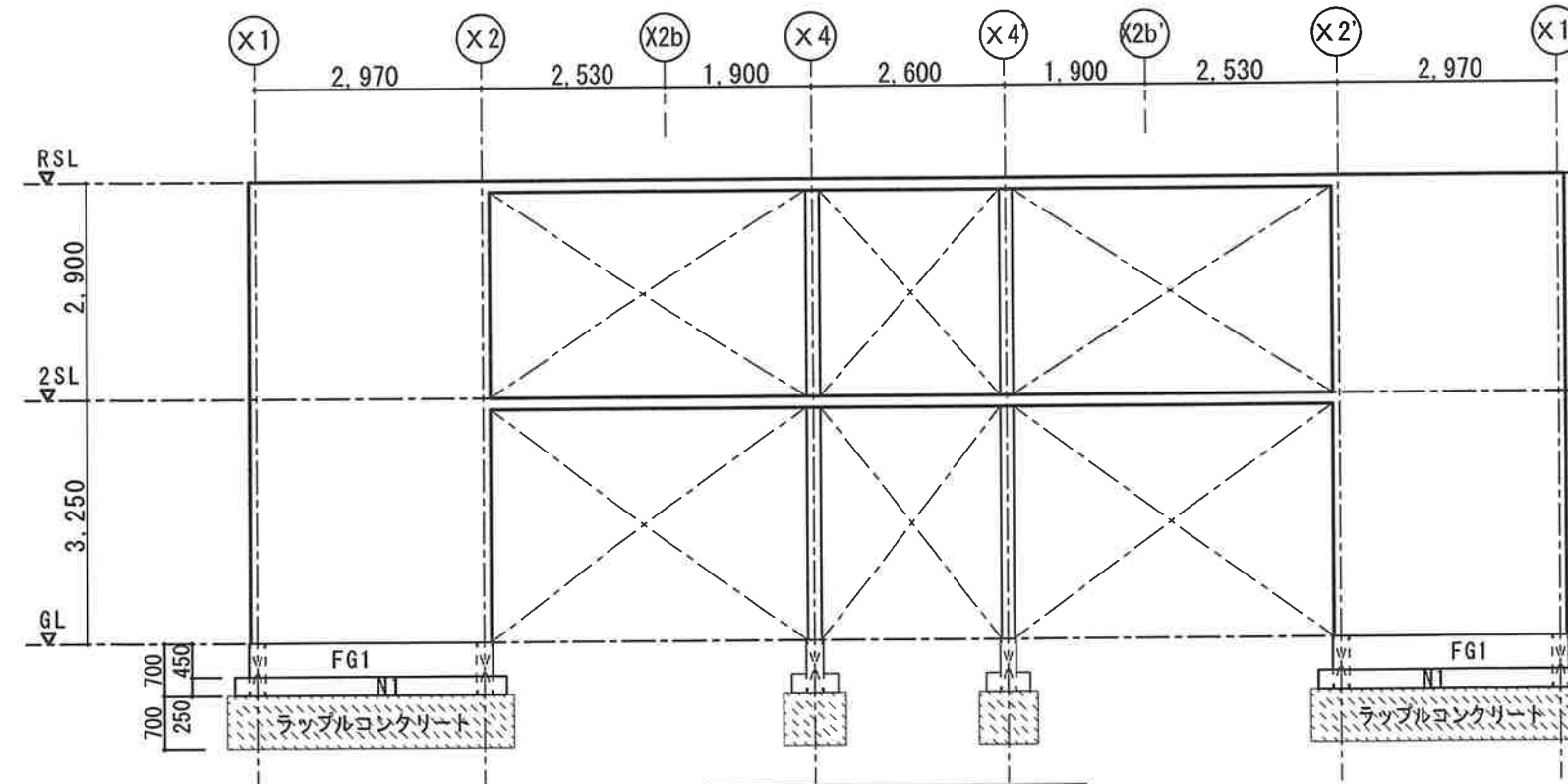
工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6.7年度
工事場所	宮古郡多良間村字仲筋 423番長	図面名称	R階 梁伏図 (見上図)
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	
適用		図面番号	S - 7
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	パセオ建築設計室
		資格者氏名	河川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4



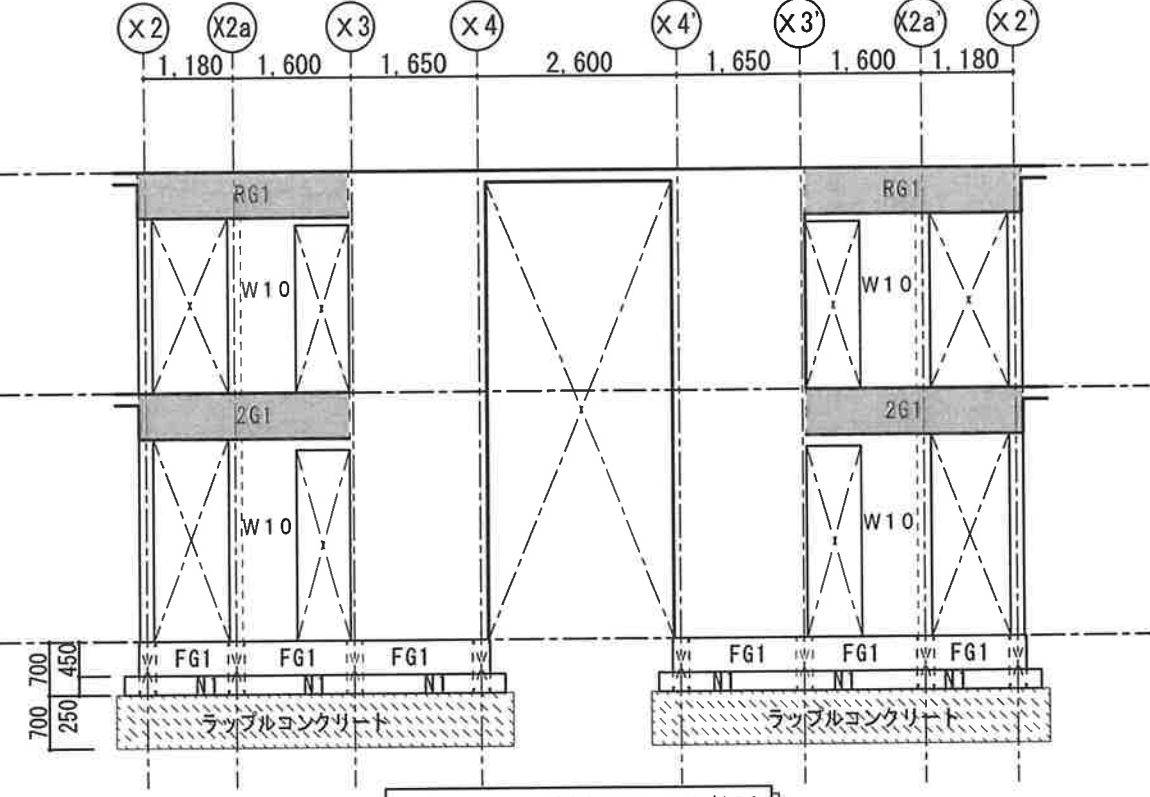
Y1通り 軸組図 S=1/100



Y2a通り 軸組図 S=1/100



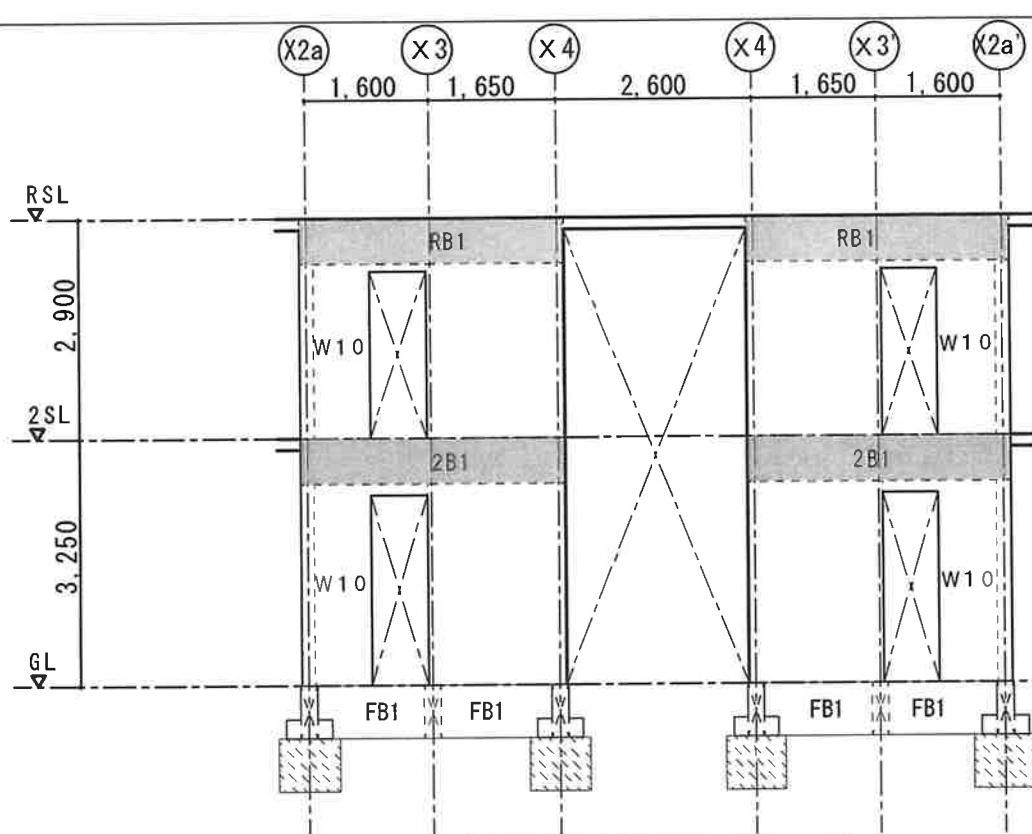
Y2通り 軸組図 S=1/100



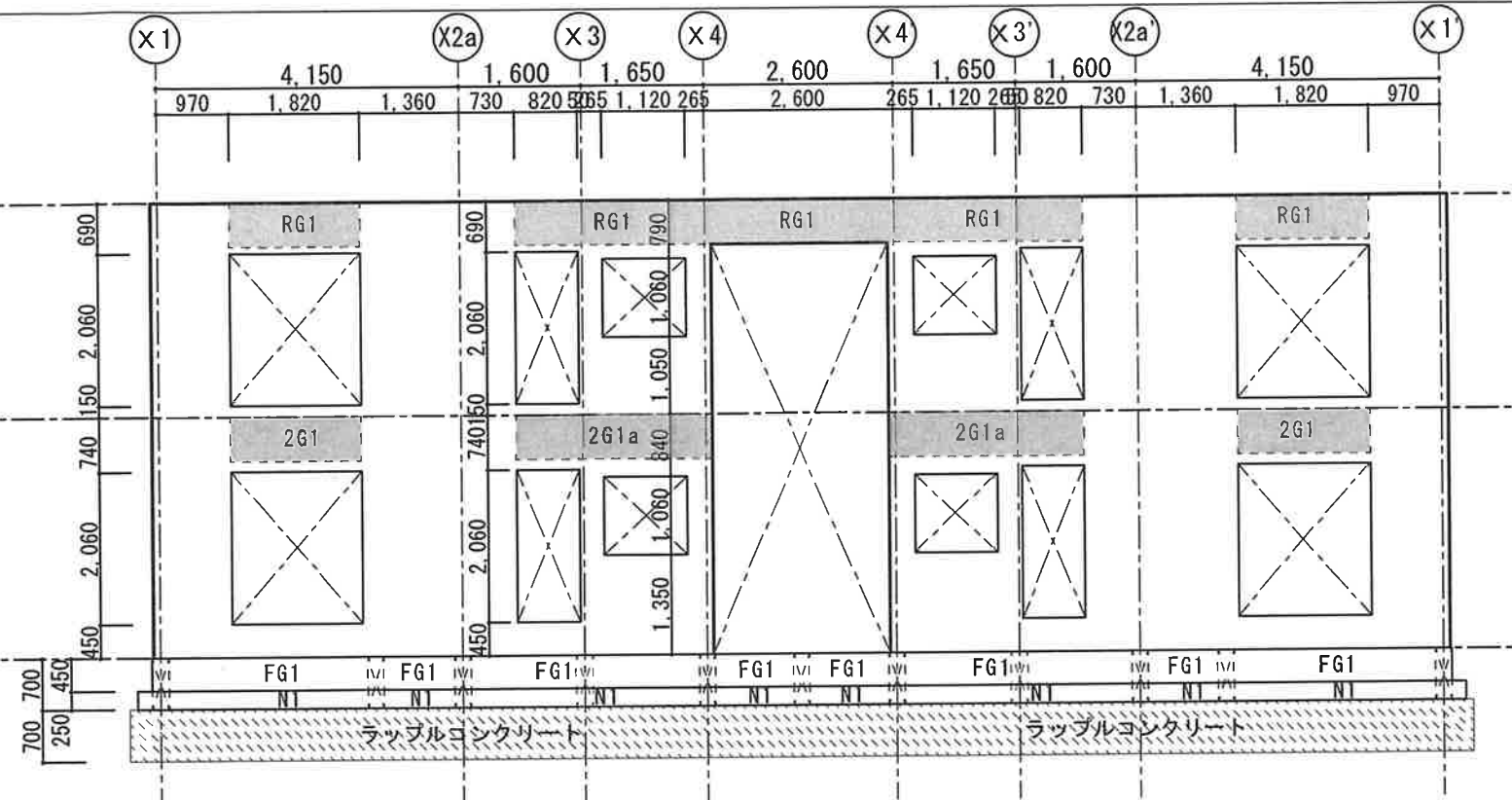
Y3a通り 軸組図 S=1/100

特記事項
・特記なき壁は、W18を示す。

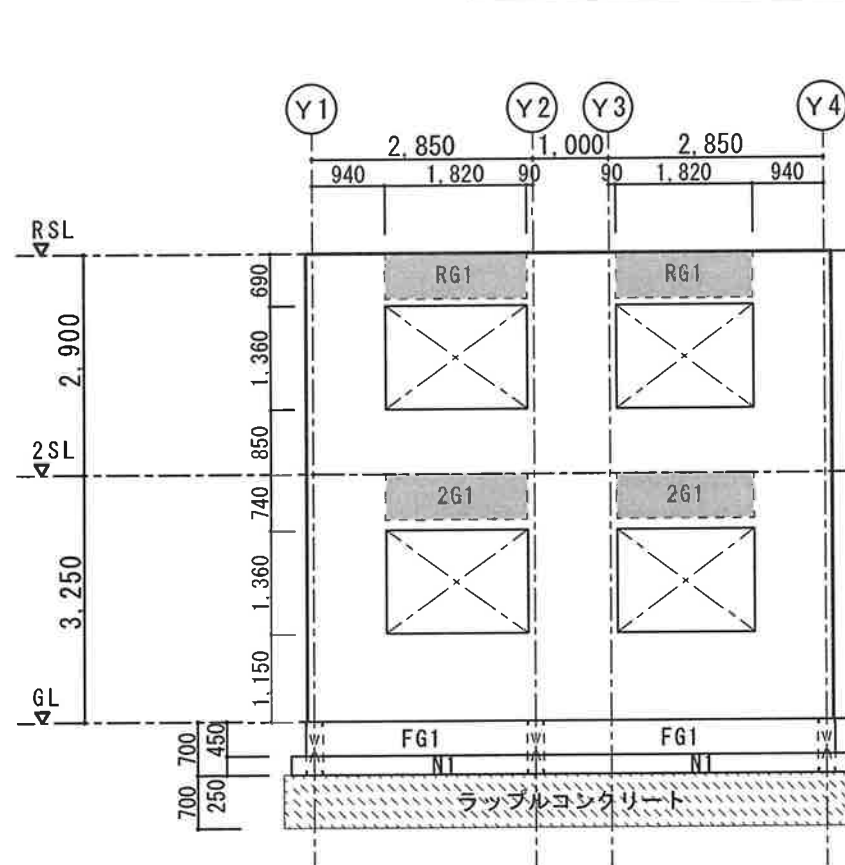
工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6.7年度
工事場所	宮古郡多良間村字仲筋 423番長	図面名称	軸組図 (1)
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1:100
適用		図面番号	S-8
検印	管理建築士	設計	製図
		名	称 パセオ建築設計室
		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
		登録番号	パセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4



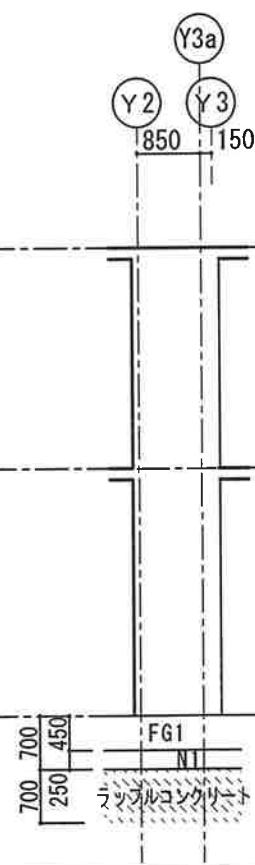
Y3b通り 軸組図 S=1/100



Y4通り 軸組図 S=1/100



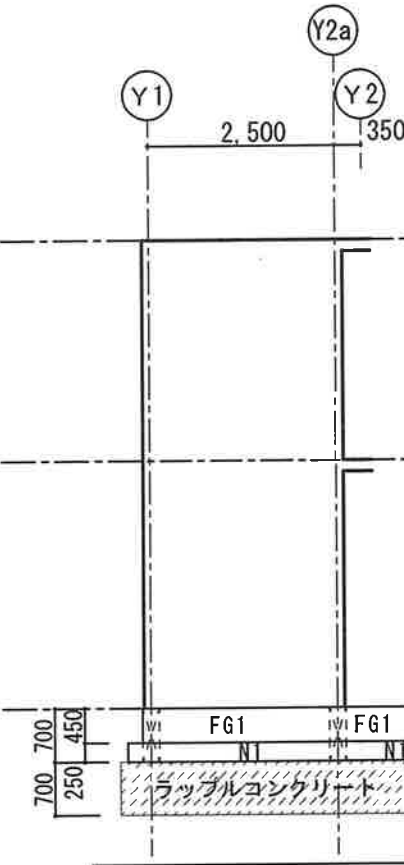
X1-X1' 通り 軸組図 S=1/100



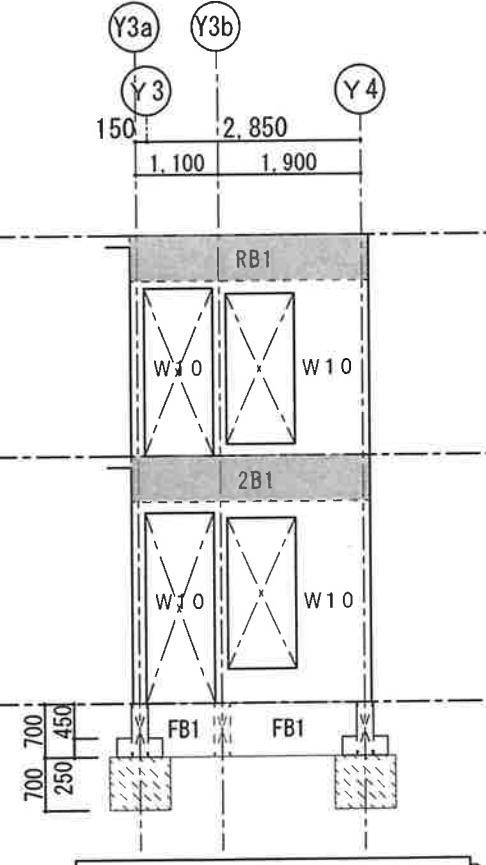
X2-X2' 通り 軸組図 S=1/100



X2a-X2a' 通り 軸組図 S=1/100



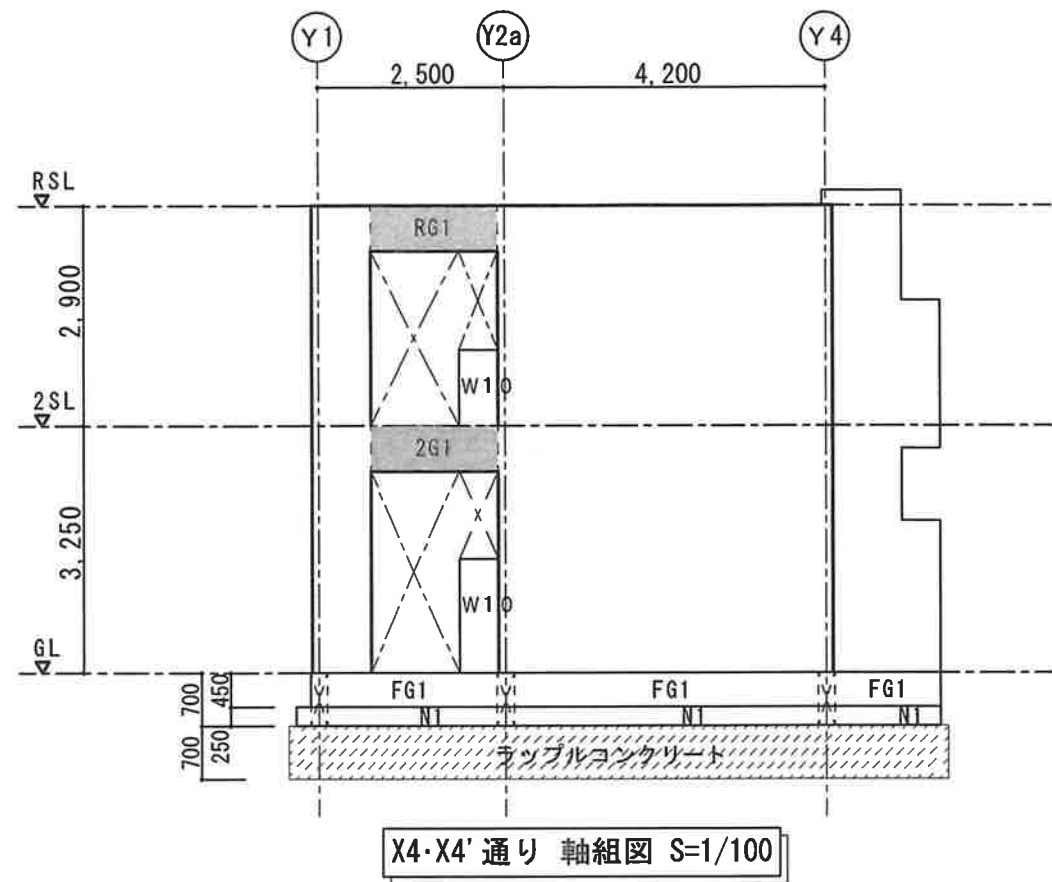
X2b-X2b' 通り 軸組図 S=1/100



X3-X3' 通り 軸組図 S=1/100

特記事項
・特記なき壁は、W18を示す。

工事名称	多良間村へき地教員宿舎新築工事	工事年度	令和 6,7年度
工事場所	富古郡多良間村字仲筋 423番長	図面名称	軸組図 (2)
発注機関	多良間村教育委員会	縮尺	S=1:100
適用		図面番号	S-9
検印	管理建築士	設計	製図
		名称	バセオ建築設計室
		資格者氏名	河川取 勝彦 第232007号
		登録番号	バセオ建築設計室 第139-2803号
		所在地	うるま市字喜屋武311-4



特記事項
・特記なき壁は、W18を示す。

工事名称	多良間村へき地教員宿舍新築工事			工事年度	令和 6.7年度	
工事場所	宮古郡多良間村字仲筋 423番長			図面名称 縮 尺	軸組図 (3) S=1:100	
発注機関	多良間村教育委員会			図面番号	S - 10	
適 用				設 計 者	名 称	パセ才建築設計室
検 印	管理建築士	設 計	製 図		資格者氏名	荷川取 勝彦 第232007号
					登 録 番 号	パセ才建築設計室 第139-2803号
					所 在 地	うるま市字喜屋武311-4